

2019年度 医学部 IR 報告書

—2019年度 学生生活・学修実態調査—



藤田医科大学 | IR推進センター
医学部 | IR分室

2019年 12月 23日

藤田医科大学 IR推進センター
医学部 IR分室

2019年度 医学部 IR報告書

—2019年度 学生生活・学修実態調査—

1. 2019年度 学生生活・学修実態調査概要
2. 学生生活・学修実態調査の集計結果
3. 学生生活・学修実態調査の分析結果概要
4. 調査各項目の分析記載部分一覧
5. 自由記載分について
6. 調査アンケート内容
7. 集計結果と各項目に対する分析

2019年度 学生生活・学修実態調査について

学生生活・学修実態調査の目的は、学生が医療職の professional になるための基礎づくりとして、学生生活や学習状況等について学生を対象としてアンケートを実施し実態を把握することであり、本学のカリキュラム等教育に関する問題を検討するための資料とするものです。本学の教育内容（カリキュラム、授業方法、実習指導等）および学生生活環境（教育設備、アメニティ、部活環境等）、建学の理念やポリシーについても調査しています。医学部における今回の調査対象は 2019 年度の 2 年生、4 年生、6 年生全員です。分析結果をご報告いたします。

2019 年 12 月 23 日

2019 年度 藤田医科大学 I R 推進センター 医学部 I R 分室

飯塚成志、鈴木茂孝、古澤彰浩、一瀬千穂、鏡裕行、若月徹、
川戸美由紀、藤江里衣子、山本正樹、中村早紀、近藤宏美

1. 2019 年度 学生生活・学修実態調査概要

1-1) 目的

本アンケート調査の目的は、学生が医療職の professional になるための基礎づくりとして、学生生活や学修状況等について設問し実態を把握することで、本学のカリキュラム等教育に関する問題を検討する資料とするものである。本学の教育内容（カリキュラム、授業方法、実習指導等）および学生生活環境（教育設備、アメニティ、部活環境等）のほか、建学の理念やポリシーについても調査する。

医学部における本調査の対象は 2019 年度の全 2 年生、全 4 年生、全 6 年生である。学生の調査への参加は任意とし、オンラインによるアンケート調査を実施した。解析結果は本学のカリキュラム・設備等の改善を通じ、本学学生のよりよい学生生活・学修に資することが期待される。

1-2) 実施方法

アンケート調査は e ラーニングシステムである Moodle のフィードバック機能を利用したオンライン調査である。調査アンケート内容を 6. に示す。回答の確認のため調査票サイトへのログインには学籍番号が使用されるが、回答結果は完全に匿名化した後に集計を行った。

2. 学生生活・学修実態調査の集計結果

2-1) 実施状況

調査の実施状況を示す。

対象者： 医学部 2 年生・4 年生・6 年生（2019 年 7 月 1 日時点在籍者） 370 名

調査日時： 2019 年 8 月 1 日（木）～11 月 28 日（木）

回答者： 2 年生 116 名（128 名中、回答率 90.8 %）

4 年生 115 名（124 名中、回答率 92.7 %）

6 年生 69 名（118 名中、回答率 58.5 %）

2-2) 集計結果と分析結果

調査アンケート内容・調査集計結果と各項目に対する分析を 7. に示す。各項目についての調査分析の記載部分のみを集めたものを 4. に、自由記載部分の要約を 5. に示す。

3. 学生生活・学修実態調査の分析結果概要

回答数は対象者 370 名中 300 名 (81.1%) であった。対象となる各学年で半数を超えており、全体の傾向をみるには十分と考えられる。大勢としてはどの学年でも講義・実習出席率は極めて高く、総合的にみて充実していると回答する学生も 61.0% あり、学生の充実度は比較的高いと判断できる。しかし詳細にみれば、改善の余地は残る。以下分析結果の概要を記す。カッコ内の番号は別冊 pdf 資料の項目番号に対応している。

3-1) 入試・入学

全体の 78.3% が一般入試、12.7% が推薦入試での入学者である (1)。全体の 40.7% の学生は「希望の大学に入学できた」と回答しており、一昨年度調査の 33.7%、昨年度調査の 41.5% から傾向は大きく変わらない (2)。

3-2) 講義・実習の出席状況と学生生活の充実度

76.6% は講義出席率が 90% 以上と回答していた (3)。学修面で充実している～普通と答えた学生は全体の 91.0% (4)。クラブ活動等が充実している～普通と答えた学生は全体の 90.6% で (5)、学修面・クラブ活動面では概ね多数の学生では問題がないと考えられる。総合的にみて充実していると回答する学生も 61.0% を占めている (6)。

学修面で充実していると回答した学生のほうが高い出席率を示す傾向があったものの (3x4)、出席状況と学習充実度は、通学時間・アルバイト日数・予習復習時間・講義実習満足度との間に明確な相関を認めなかった (3x9, 3x13, 3x20, 3x21, 3x25, 4x9, 4x20, 4x21)。特筆すべきは「講義・実習に不満」とする学生でも 67.6% が学修面は充実していると回答したこと (4x25) で、オンライン教材などを使用して自主学習を進めている学生が多いことを反映している可能性が考えられる。

学生生活の総合満足度では「総合的に見て充実している」と回答した学生が 61.0% で、いずれの学年でも半数を超えていた (6)。こうした学生では学修面・クラブ活動のいずれでも充実度が高い傾向にあり、両面での充実が学生生活の充実にかかせないものと考えられる (6x4, 6x5)。

3-3) 通学時間・金銭面・クラブ活動・ボランティア活動

自宅生の比率は全体の 40.7% (7) であり、51.3% の学生が自動車で通学していると回答し (8、複数回答可)、64.0% の学生は通学時間 20 分以内 (9) としていた。自由記載では駐車場が混雑していて停められないことがある・学舎から遠い、などの意見があり、自動車通学する学生では家から駐車場までの通学時間を回答しているものと考えられる。通学時間は出席率・学修充実度・クラブ活動・学外活動には影響していない (3x9, 4x9, 5x9)。

金銭面では、70.0% の学生はお小遣いが 3 万円未満と回答している (10)。奨学金を利用している学生は 76.0% で、低学年での奨学金利用率がやや高い (11)。アルバイトをしている学生は全体の 38.3% で (12)、うち 79.1% が日数は週 2 日以内と回答している (13)。時間・職種はさまざまである (14, 15)。

アルバイトの有無や時間は出席率・学修充実度・クラブ活動充実度に影響はなく (3x13, 4x13, 5x13)、アルバイトをしている学生でも学生生活に無理のない範囲で行っていることが読み取れる。

クラブ活動については全体の 83.4% が参加しており (16) きっかけは「活動内容が好きまたは興味がある」が最多、「交友関係を広げるため」も半数である (17)。クラブ活動不参加学生については不参加

理由はさまざまだが「勉学の妨げになる」との回答が全体の42.0%、「拘束されたくない」が36.0%であった(18)。

ボランティア活動に参加する学生は全体の11.0%、参加経験のある学生まで含めても全体の25.0%にすぎない(19)。

3-4) 1日の平均予習・復習時間

全体の59.3%が予習時間は「ほとんどなし」と回答していた(20)。復習時間は予習時間よりも長いものの、1時間以上との回答は全体の37.7%であった(21)。

ただし各学年で学生数名にこの結果の解釈を尋ねると、普段勉強していないということではなく、多くの学生が「翌日の予習、その日の復習」という学修方法を取っていないため回答しにくく、普段の講義外での自主学修時間を回答しているわけではない、ということであった。1日の講義・実習以外の学修時間を問うほうが実態を反映するのではないか、そうであれば4時間以上と回答する学生は相当数いるはずだ、との意見があった。今後アンケートの質問項目を検討する必要がある。

3-5) 自主学修の場所・方法

自主学修の場所としては「学内で自主学修」との回答が52.3%と半数以上を占め、自宅との回答は32.0%であった(22)。自分のノートを中心に学修すると回答した学生が38.3%の一方、同級生、先輩が作成した資料を中心に学修すると回答した学生が43.7%で上回っており(23)、自身の作成したノートよりも他者の作成した資料を用いる学生の方が多く傾向が読み取れる。

学修相手は主にひとりで学習するという回答が64.3%で、学年により大きな差は認められなかった(24)。

3-6) 講義実習満足度

全体、学年別のいずれでも講義・実習に満足している・まあまあ満足していると回答した学生が77.4%で、一昨年(61.8%)、昨年(70.7%)と比して全体として満足度は向上している(25)。

3-7) 教育で不十分な点・キャンパス設備改善要望点

教育で不十分な点はカリキュラムと教務情報に回答が集中していた(26)。自由記載と合わせて解析すると、カリキュラムについては詰め込みすぎ・無駄が多い・試験が厳しい、という意見に集約される。教務情報については試験結果・成績の開示方法が挙げられている。

キャンパス設備については、駐車場改善(45.3%)、食堂(43.3%)、教室・実習室(42.7%)に改善を要望する学生が多く、これは昨年までの傾向と変わらない(27)。

3-8) 睡眠時間・食事

睡眠時間は6時間前後とする回答が全体の72.0%を占めた(29)。

食事については朝食を取らない学生が22.0%、学内食堂で昼食をとる学生が46.3%であった(30)。夕食は自宅・下宿での自炊との回答が全体の60.7%の一方、外食や店舗での弁当を挙げる学生も35.3%おり(30)、自由意見では平日昼食以外の食事を学内でとれるようにしてほしい、との意見が特に高学年を中心に目立った。良質な食生活は健康な学生生活を送るのに不可欠であり、改善が望まれる。

3-9) 悩み事と相談相手

悩み事としてはが学修面が最多で全体の 44.7%、次いで金銭面が 41.0%となっており、学年ごとに大きな差はみられない(31)。相談相手は親(62.3%)・同級生(61.7%)が多数であった(32)。悩み事の内容として学修面が最多であったことを考慮すると、大学側の関与の仕方に改善の余地があると考えられる。

3-9) 自由記載

「教育内容(カリキュラム、授業方法、実習指導等)」「学生生活環境(教育設備、アメニティ、部活環境等)」「建学の理念、ポリシー等」の3点については自由記載欄を設けている。

教育内容(カリキュラム、授業方法、実習指導等)では「休みが少ない」「講義実習に無駄がある」に意見が集中していた。他に試験に関し、答案の開示と解説・PCCOSCEでのフィードバック・マークシート化・4年生期末試験とCBT間の試験日程調整・疑義照会期間の延長について要望が挙がった。

学生生活環境(教育設備、アメニティ、部活環境等)では駐車場が遠く止めにくいこと、食堂・コンビニの拡充や利便性の改善を希望する声が多い。他に自習室現症に対する対処・コピー機充実・部活環境改善で複数の要望が見られ、他に書店拡充、エレベータ混雑緩和、Wifi環境拡大、録画講義改善などを求める声があった。

建学の理念、ポリシー等については意見の記載は10件のみで、肯定的・否定的な意見が概ね半々であった。

3-10) 分析結果から得られた課題

講義・実習出席率は極めて高く、総合的にみて充実していると回答する学生も61.0%おり、大勢としてはどの学年でも学生の充実度は比較的高いと判断できる。しかし詳細にみていけば、改善の余地はここに残っている。

キャンパス設備では駐車場・食堂の改善を求める声が多く、一昨年・昨年の調査結果と大きく変化していない。学生食堂は昨年までに整備されたところであるが、昼の営業に限られており、医学部では土日祝日を含めて朝から夜まで学内で勉強する学生が多いことに対応できていない。特に下宿生では食事の場に困り、夕食ですらインスタント麺やコンビニ弁当で済ませている姿も散見される。学生の健康面への配慮からも、朝食・夕食を提供する方法を検討する必要があると考えられる。駐車場については大学付近への違法・迷惑駐車問題と合わせて考えると、駐車場運営を改善するだけでなく、公共交通機関の利用推進や通学用バス導入での対応など、大局的な対応が急がれる。

講義実習については出席の厳しさと詰め込み、休みが少ないことに苦慮している学生が多いと考えられる一方、講義の重複で無駄が多い・臨床実習で放置されることが多いことなどが指摘されている。医学部ではカリキュラム委員会に学生が参加するようになり、こうした学生の意見を随時汲むことができるようになっているが、無駄や不備がないか、改善へ向けさらなる検討を続けるべきである。

部活動は施設面での不備、補修要望への対応の遅れなどが指摘されている。部活動参加率も高く、学生生活の満足度に直結する問題であり、可能な範囲での十分な対応が必要である。

4. 調査各項目の分析記載部分一覧

A-01～A-04. 【基本属性】

2年生、4年生、6年生を対象に実施。対象者370名中300名から回答がありました（回収率81.1%）。

1. 入試区分

全体の78.3%が一般入試での入学者。

全体の78.3%が一般入試、12.7%が推薦入試での入学者です。

2. 入学時希望順位

40.7%の学生は「希望の大学に入学できた」と回答。

一昨年度調査では33.7%、昨年度調査では41.5%で、大きな傾向は変わりません。

3. 授業出席率

全体の76.6%は講義出席率が90%以上と回答

全体の76.6%は出席率が90%以上と回答していました。一昨年度は73.1%、昨年度は77.9%で、傾向は大きく変わりません。

4. 学生生活充実度…学修面

学修面で充実している～普通と答えた学生は全体の91.0%。

学修面が充実している～普通と答えた学生は全体の91.0%に達します。一昨年度の83.0%、昨年度の87.5%よりも増加傾向です。

5. 学生生活充実度…クラブ等

クラブ活動等が充実している～普通と答えた学生は全体の90.6%。

学生生活（クラブ活動等）が充実している～普通と答えた学生は学修面同様全体の9割以上（90.6%）に達します。一昨年度の83%、昨年度の89.0%よりも増加傾向です。

6. 学生生活充実度…総合

総合的にみて充実していると回答する学生が6割以上を占める。

学年別に見ても学生生活が総合的に充実していると回答した学生は61.0%と、全体としては学生生活が充実しているとみられます。いずれの学年でも51.7%～68.1%と、一昨年度（42%～52%）昨年度（45.7%～62.4%）よりも増加傾向です。

7. 通学形態

自宅生の比率は全体の40.7%。

全体では自宅生が40.7%を占めており、昨年度の41.2%よりと同様の傾向です。これは特に4年生での自宅生割合が46.1%と最も多くなっていますが、これは昨年度も4年生は50.5%で同様の傾向です。一方6年生で比率が減少する（30.4%）のも昨年度までと同様の傾向で、臨床実習や大学の勉強部屋での長時間学修のため、大学に近い下宿に移行する学生が増えるものと考えられます。

8. 通学手段（複数回答） - 性別

51.3%の学生が自動車通学。

全体の51.3%の学生が通学手段として自動車を挙げており、昨年度（51.6%）と同一傾向です。

9. 通学時間

64.0%の学生の通学時間は20分以内。

全体として97.7%の学生が通学時間は1時間程度までと回答しており、20分以内とする回答も64%にのびります。

10. お小遣い

7割の学生のお小遣いは3万円未満。

お小遣いは3万円未満との回答が全体の7割を占め、学年ごとに大きな差はみられません。この傾向は昨年度と同様です。

11. 奨学金（複数回答） - 性別 -

奨学金を利用していない学生は76.0%。

奨学金を受けていない学生が全体の76.0%で、一昨年度（82.5%）・昨年度（80.3%）から微減傾向となっています。性差は認められません。

11. 奨学金（複数回答） - 学年別 -

低学年で奨学金利用率がやや高い。

昨年度と同様2年生での「その他」の奨学金利用率が高くなっています。これは大学からの成績優秀者の奨学金・および地域枠によるものと考えられます。

12. アルバイト有無と目的

アルバイトをしていない学生は全体の61.7%。

アルバイトをしていない学生は全体の61.7%でした。昨年度の75.8%からみると大きく減少していますが、今回回答対象となっている学生が2年前に回答した結果では56.1%で、大きな傾向の変化はありません。

13. アルバイト日数

アルバイト日数は週2日以内が79.1%。

アルバイトをしている学生の79.1%が日数は週2日以下と回答しており、学生生活への大きな影響はなさそうです。

14. アルバイト時間

アルバイト時間はさまざま。

アルバイト時間については2時間未満から6時間以上までさまざまで、学年ごとの傾向差も認められません。

15. アルバイト職種

アルバイト時間はさまざま。

アルバイト職種については全体の59.3%が教育となっていますが、学年が上がるにつれて他の職種の種類が増えています。これは昨年度までと同一の傾向です。

16. クラブ活動参加有無

全体の83.4%がクラブ活動に参加。

全体で83.4%が1つ以上のクラブ活動に参加しており、昨年度の79.1%から微増となっています。

17. クラブ活動参加きっかけ（複数回答） - 性別 -

クラブ活動参加のきっかけは「活動内容が好きまたは興味がある」が最多。「交友関係を広げるため」も半数。

クラブ活動に参加したきっかけとしては77.6%が「活動内容が好きまたは興味がある」を、50.0%が「交友関係を広げるため」を挙げています。

17. クラブ活動参加きっかけ（複数回答） - 学年別 -

クラブ活動参加の理由は学年により大きな差は見られない。

参加の理由は昨年までと同様、学年により大きな差はみられません。クラブ活動の実態がこの数年で

大きく変化していないことを反映しているものと思われます。

18. クラブ活動参加しない理由

クラブ活動不参加の理由はさまざま。

クラブ活動不参加学生の理由はさまざまですが、「勉学の妨げになる」との回答が全体の 42.0%、「拘束されたくない」が 36.0%でした。

19. ボランティア活動参加有無

ボランティア活動の参加者は 11.0%。

ボランティア活動を現在行っている学生は全体の 11.0%で、参加経験のある学生まで含めても全体の 25.0%にすぎず、昨年までと傾向は変化していません。活動するチャンスと時間の提供、ボランティア精神の涵養が課題です。

20. 予習時間

全体の 59.3%が予習時間は「ほとんどなし」。

全体の 59.3%が予習時間は「ほとんどなし」と回答しており、1 時間以上との回答は 17.0%に過ぎません。

21. 復習時間

予習時間よりも復習時間が長い。

復習時間は予習時間よりも長い傾向にあります。それでも復習の時間が 1 時間以上との回答は全体の 37.7%です。講義・実習に対しては予習や復習に時間をかけていない学修スタイルが読み取れますが、一方でオンライン教材で CBT や国家試験の勉強をする学生も多く、そうした学修時間が今回の調査では反映されないため自己学修時間が過小評価されているとも考えられます。

22. 自主学修場所

52.3%の学生が学内で自主学修。

自主学修の場所として自宅と回答したのは全体の 32.0%で、昨年度の 33.7%と大きな変化はありません。学生ホール・オープンスペース・学生食堂・図書館を挙げた学生が全体の 52.3%で、半数以上の学生が学内を自主学修場所としています。

23. 自主学修方法

同級生・先輩の作成資料を使用する学生が 43.7%。

自分のノートを中心に学修すると回答した学生が 38.3%でしたが、同級生、先輩が作成した資料を中心に学修すると回答した学生が 43.7%いました。

24. 誰と自主学修

64.3%の学生がひとりで学修している。

主にひとりで学修する学生は全体の 64.3%で、学年ごとの差はほとんどありません。

25. 講義実習満足度

77.4%の学生が講義・実習に満足。

全体、学年別のいずれでも講義・実習に満足している・まあまあ満足していると回答した学生が 7割を超え、全体として満足度は向上しています（77.4%、一昨年度 61.8%、昨年度 70.7%）。

26. 教育制度不十分点（複数回答 3 つ） - 性別 -

教育で不十分な点はカリキュラムと教務情報に回答が集中。

教育面・制度面で不十分と感じる点については、昨年度までと同様カリキュラムと教務情報に回答が集中していました。自由記載と合わせて解析すると、カリキュラムについては詰め込みすぎ・無駄が

多い・試験が厳しい、という意見に集約されます。昨今の医学教育に求められる膨大で多様な内容を考えると致し方ないところですが、改善の余地がないか見直しが必要です。

教務情報については試験結果・成績の開示方法が挙がっています。27.7%の回答があったクラブ活動等については、設備や部室などの面で指摘がありました。

26. 教育制度不十分点（複数回答3つ） - 学年別 -

学年によらずカリキュラムと教務情報に不十分な点があるとの回答。

教育制度の不十分な点としては、調査した各学年でカリキュラムと教務情報に回答が集中していました。

27. キャンパス設備改善要望点(複数回答3つ)- 性別 -

設備改善の要望では駐車場が最も多い。

設備の充実を求める点では、駐車場が最も多い結果となり、これは昨年までと傾向は変わりません、ついで食堂、教室・実習室が挙がっており、学修環境の整備・学生生活の改善の両面から対策が必要です。詳細を精査した上で充実・改善が求められます。

27. キャンパス設備改善要望点（複数回答3つ） - 学年別 -

設備改善の要望で学年の大きな差はみられない。

改善要望は学年による大きな差はみられず、学年によらない共通の項目であることが窺えます。

28. 睡眠時間

睡眠時間は6時間前後が多数。

睡眠時間は5～6時間との回答が38.3%、6～7時間との回答が33.3%でした。一方で少数ながら10時間以上、もしくは4時間以下との回答も散見され、学生指導の際に注意すべき一項目と考えられます。

29-1. 食事について…朝食

朝食をとらない学生が全体の22.0%。

朝食については全体の54.3%が自宅・下宿での自炊と回答しており、昨年度の46.3%から微増となっている一方、2割以上の学生が朝食を食べないと回答しています。

29-2. 食事について…昼食

学内の食堂で昼食をとる学生が46.3%。

全体の46.3%の学生が昼食を学内の食堂でとると回答しており、昨年度の43.3%から微増となっています。

29-3. 食事について…夕食

外食・弁当中心の学生が35.3%。

夕食については自宅・下宿での自炊との回答が全体の60.7%であった一方、外食や店舗での弁当を挙げる学生も35.3%います。自由意見では平日の昼食以外の食事を学内でとれるようにしてほしい、という意見が特に高学年を中心に目立ちました。良質な食生活は健康な学生生活を送るのに不可欠であり、改善が望まれます。

30. 悩み事（複数回答） - 性別 -

男女とも学修面の悩みが最多。

悩み事としては学修面が最多で全体の44.7%、次いで金銭面が41.0%となっており、昨年度と同一の傾向です。

30. 悩み事（複数回答） - 学年別 -

悩み事については学年ごとに大きな差はみられない。

悩み事についてはいずれの学年でも学修面・金銭面が多く、学年ごとの大きな差はみられません。

31. 相談相手（複数回答） - 性別 -

相談相手は同級生と親が多数。

相談しやすい相手としては同級生・親を挙げる回答が多数でした。悩み事の内容として学修面が最多であったことを考慮すると、大学側の関与の仕方に改善の余地があると考えられます。

31. 相談相手（複数回答） - 学年別 -

相談相手で学年ごとに大きな差はみられない。

学年別に相談しやすい相手をみると、学年ごとに大きな差は認められません。

3. 授業出席率 × 9. 通学時間別

通学時間の長さは出席率の障害にならない。

通学時間別に出席率をみると、通学時間が長い学生のほうが出席率がよい傾向がみられました。家族のいる実家から通学している学生が多いことを反映していると考えられます。

3. 授業出席率 × 13. アルバイト日数別

アルバイト日数は出席率に大きな影響はない。

週3日以上アルバイトをしていると回答した学生でも「出席率90%以上」と回答する学生が79.2%となっており、アルバイトが出席に対する障害にはなっていないと考えられます。

3. 授業出席率 × 20. 予習時間別

授業出席率と予習時間の長さの間に明確な相関はない。

予習時間をほとんどなしとする学生でも半数以上は出席率98%と回答しており、出席率と予習時間の間には明確な相関は認められません。

3. 授業出席率 × 21. 復習時間別

復習時間と出席率の間にも明確な相関は認められない。

昨年度は復習時間が長い学生のほうが出席率がやや高い傾向が認められましたが、今年度は明確な相関は認められませんでした。

3. 授業出席率 × 4. 学修面での充実度別

学修面で充実している学生のほうが出席率が高い傾向。

学修面で充実している学生のほうが出席率が高い傾向が認められます。

3. 授業出席率 × 25. 講義実習満足度別

講義実習の満足度と学生の出席率の間に明確な相関は認められない。

昨年度は講義・実習に満足していると回答した学生で出席率が高い傾向にありましたが、今年度は明確な相関は認められませんでした。

4. 学修面での充実度 × 9. 通学時間別

通学時間は学修充実度に大きな影響はない。

通学時間と学修充実度との間に明確な相関は認められません。少数の遠距離通学者でも、充実度はむしろ高くなっているようです。

4. 学修面での充実度 × 13. アルバイト日数別

アルバイトは学修充実度に大きな影響はない。

アルバイトをしているかどうか、あるいはアルバイトの日数と学修充実度との間に明確な相関は認められません。

4. 学修面での充実度 × 20. 予習時間別

学修面での充実度と予習時間の間に明確な相関を認めない。

学修面での充実度と予習時間の間に明確な相関は認められません。

4. 学修面での充実度 × 21. 復習時間別

学修面での充実度と復習時間の間に明確な相関を認めない。

学修面での充実度と復習時間の間に明確な相関は認められません。

4. 学修面での充実度 × 3. 授業出席率別

よく出席する学生のほうが学修充実度は高い。

よく出席する学生のほうが学修充実度が高い傾向が認められました。

4. 学修面での充実度 × 25. 講義・実習満足度

講義・実習に不満な学生でも 67.6%が学修面は充実

講義実習にやや不満・不満と回答した学生 68 名中 46 名 (67.6%) が学修面では充実していると回答しています。オンライン教材などで自主学習を進めている学生が多いことを反映していると考えられます。

5. クラブ学外充実度 × 9. 通学時間別

通学時間とクラブ活動・学外活動の充実度に明確な相関を認めない。

通学時間が長い学生でもクラブ活動・学外活動は充実していると回答した学生が多数を占めており、通学時間は活動への大きな障害にはなっていないことは読み取れます。

5. クラブ学外充実度 × 12. アルバイト有無目的別

クラブ活動充実度とアルバイト有無目的間に明確な相関を認めない。

クラブ活動の充実度とアルバイト有無の間には相関を認めず、またアルバイトをしている学生でもアルバイトの目的とクラブ活動充実度との間に明確な相関は認められません。

5. クラブ学外充実度 × 13. アルバイト日数別

アルバイト日数とクラブ活動の充実度間に明確な相関を認めない。

アルバイト日数とクラブ活動の充実度との間に明確な相関は認められません。

5. クラブ学外充実度 × 10. お小遣い額別

クラブ学外活動充実度とお小遣い額間に明確な相関を認めない。

クラブ学外活動充実度とお小遣いの金額との間の関連性ははっきりとしません。金銭面がクラブや学外活動にどの程度影響するかはその活動内容によっても様相が異なると考えられます。

5. クラブ学外充実度 × 16. クラブ活動参加有無別

参加しているクラブ活動数が1つか複数かは充実度に大きな影響はない。

参加しているクラブ活動数は活動の充実度との間に明確な相関は認められません。一方クラブ活動に参加していないとした学生でも 42.0%が大変充実、40.0%が充実しているとしており、学内のクラブ活動以外の学内外の活動が充実していると考えられます。

5. クラブ学外充実度 × 19. ボランティア活動参加有無

ボランティア活動とクラブ・学外活動充実度の相関は明確でない。

ボランティア活動を行っている学生は少ないですが、そうした学生についてクラブ・学外活動の充実度との相関は認められません。

6. 総合満足度 × 4. 学修面での充実度別

学修面での充実度と総合満足度は高い関連性がある。

一昨年度・昨年度調査の際と同様、学修面での充実度と総合満足度はかなり高い関連性が認められました。学生生活の満足度向上には学修面での充実が欠かせないことが読み取れます。

6. 総合満足度 × 5. クラブ等での充実度別

クラブ等での充実度と総合満足度は強い相関がある。

クラブ等での充実度と総合満足度の間には強い相関が認められ、学生生活の満足度向上にはクラブ等での充実も欠かせないことが読み取れます。

25. 講義実習満足度 × 3. 授業出席率別

出席率の低い学生でも8割以上は講義実習に満足している。

出席率が高いことと講義実習満足度が高いことは必ずしも相関がありあせん。出席率の低い学生でも8割以上は満足している・満足しているものが多いと回答しています。必ずしも講義実習への不満が低出席率につながるわけではないことを読み取れます。

25. 講義実習満足度 × 20. 予習時間別

予習時間の少ない学生は講義満足度が低い傾向にある。

予習時間の少ない学生は講義満足度が低い傾向が読み取れますが、そもそも予習時間を十分に取っている学生が少なく、有意性ははっきりしません。

25. 講義実習満足度 × 21. 復習時間別

講義実習満足度と復習時間との間に明確な関連性は認められない。

講義実習満足度と復習時間との間にはっきりとした関連性は認められません。

25. 講義実習満足度 × 4. 学修面での充実度別

講義実習満足度と学修面での充実度は不明確。

昨年度は学修面での充実度が高いほど講義実習満足度が高い傾向にあり、かなり高い相関を示しましたが、今年度は明確な相関は認められません。オンライン教材による学修が低学年まで広がったことと関係があるかもしれません。

5. 自由記載分について

「教育内容（カリキュラム、授業方法、実習指導等）についての要望」「学生生活環境（教育設備、アメニティ、部活環境等）についての要望」「建学の理念、ポリシー等についての意見」の3項目については自由記載欄を設け、意見を得た。いずれかの自由記載欄で何らかの回答を行ったのは300人中81名で、すべての学生の意見を反映したものとは言えず、また記載された内容から正確な現状を把握することはできないが、目立った意見・検討すべきと考えられる意見を以下に記載する。今後各項目にさらなる検討を加え、改善につなげていくことが必要である。

5-1) 教育内容（カリキュラム、授業方法、実習指導等）について

- ・ 休みが少ない。

まず「休みが少ない」という意見、が多く、帰省や海外旅行の他、病院見学やボランティア参加、他校との交流に支障をきたしている、とのことであった。「講義が多すぎる」「詰め込みすぎ」「実習・出席が厳しい」「6年生での出席確認は不要」「進級が厳しすぎる」という意見もこれに類するものと考えられる。

- ・ 講義・実習に無駄がある。

一方で、講義にダブリがあり無駄が多い、臨床実習で学生が放置されることが多い、講義の質向上・アクティブラーニング導入など講義・実習内容の改善と充実を求める意見があった。「詰め込みで基礎が身につかない」「求められている水準がわからない」という指摘もあった。

- ・ 試験 — 答案開示・フィードバック・試験形式・試験日程・疑義照会時期 —

試験については、答案の開示（答案と解説を配布している大学もあるとの指摘）、PCCOSCE 試験でのフィードバック・試験形式のマークシート化や、試験の実施時期に関する再検討を求める意見があった。疑義照会については期間が短すぎる・電子媒体からでもできるようにしてほしい、との声があった。

- ・ その他

さまざまな学科があるのに合同授業が形だけで、部活サークルも医学部だけ分離している、との指摘があった。講義実習の変更が直前で困る、との指摘もあった。

5-2) 学生生活環境（教育設備、アメニティ、部活環境等）について

- ・ 学生駐車場が遠くとめにくい。

回答した半数以上の学生が通学手段に自動車を挙げていることを反映し、学生駐車場に関する意見が多い。遠い・学生以外も止めていて満杯になる、という意見が多かったが、工事による通行止めの通知をなるべく早く出してほしいとの声もあった。

- ・ 食堂・コンビニの拡充と利便性、電子レンジ設置をもとめる声

食堂やコンビニの拡充・利便性を求める意見が多い。土日や夜間も大学で勉強していることを反映し、健康面での心配もあってか、「土日祝日・夜間に食事できる場所」を求める意見がある。一方電子レンジの設置を求める声もあった。

- ・ 自習室が減った。

自習スペースが減ったこと・勉強する場所が少ないことを指摘する声があった。また試験期間中教室が開放されているが、夕方セミナー等で使用できないことが多いという指摘もあった。

- ・ コピー機の充実を。

パソコンに接続したコピー機の充実や、コピー機の無料化を求める声があった。

- ・ 部活環境の改善を。

部活備品や設備の補修要望を出しても対応されないという指摘があった。テニス部から、は防風ネットの修繕・テニスコート照明の無償化（他の部活の照明代が無料のため）学部に近い場所への移転を求める声があった。プールの設置を求める声もあり、東海地域で医学部を持つ大学のうち、プールがないのは本学だけとのことである。その他、「人工芝グラウンド」「部室がほしい」「部室にエアコンがほしい」「クラブ活動場所で使える wifi」などの声があった。

- ・ その他

（患者さんも使えるような）書店の拡充、エレベータの混雑緩和、Wifi 環境の拡大（図書館の一部で使用できない）、録画講義の黒板の文字（小さい・一部暗い）などについて改善を求める声があった。一方、「毎日掃除して下さってとても綺麗で満足」という肯定的な意見もあった。

5-3) 建学の理念、ポリシー等について

意見の記載は 10 件のみで、肯定的・否定的な意見が概ね半々であった。「卒業の時に配られる人形を卒業後に使えるものに」「岩田医学部長の話を新年度ガイダンス以外にもしてほしい」などの具体的な要望もあった。

6. 調査アンケート内容

6-1) 事前揭示文

本年度の学生生活・学修実態調査は下記の案内文を学生に対して事前に揭示の上、次ページからのアンケートをオンライン（Moodle）により実施した。

「2019年度 藤田医科大学 学生生活・学修実態調査の実施について」

この調査は、医療職を目指している本学の学生の皆さんの日常生活の状況や学修状況に関して、学部又は学科ごとに選定した学年の方々に実施するものです。調査の目的は、皆さんが将来、医療職の professional になるための基礎づくりとして、学生生活や学修状況等について約 50 項目の設問により実態を把握し、本学のカリキュラム等教育に関する問題を検討する資料とするものです。また、設問の終盤では、本学の教育内容（カリキュラム、授業方法、実習指導等）及び学生生活環境（教育設備、アメニティ、部活環境等）のほか、建学の理念やポリシーについても、学生の皆さんから率直なご意見を頂きたいと思っております。

本調査への参加は強制ではありません。また、参加・不参加は成績等の評価に影響することはありません。しかし、出来る限り多くの意見を頂きたいと思っています。入力いただいた回答並びにご意見等は、本調査の目的以外に使用することはありませんので、皆さんのご協力をお願い致します。

2019年7月

藤田医科大学
学 長 才 藤 栄 一

6-2) 学生生活・学修実態調査（アンケート）の回答方法

図1. は学生に提示した Moodle によるアンケート回答方法である。
学内外のスマートフォン・タブレット端末・パソコンのいずれからでも回答可能となっている。

学生生活・学修実態調査（アンケート）の回答方法

学生生活・学修実態調査（アンケート）は匿名で実施され、誰がどんな回答をしたかはわかりません。結果は結果をご覧ください。なお、アンケートサイトへのログイン、回答内容は開示は行っておりません。

1. アンケートサイトにアクセスし、ログインする。

1-① 学内外のインターネットに接続されているスマートフォン、タブレット端末、パソコンで、ブラウザを起動し、<https://moodle.tu.ac.jp/moodle> にアクセスします。

1-② 画面右上、または、下の[ログイン]をクリックします。



1-③ ログイン画面が表示されます。ユーザー名、パスワードとともに学籍番号を入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。



2. アンケートに回答する

2-① 選択されるコース（所属の学部、学科、または、専攻名）をクリックします。



2-② アイコンが赤いアイコンがいた、学生生活・学修実態調査をクリックします。



2-③ 「質問に回答する。」をクリックします。
（アンケートを中絶した場合は「質問への回答を続ける。」と表示）

2-④ 質問をよく読み、回答してください。

【注意事項】

- ※ アンケートは【本学版】からご利用ください。
- ※ 質問に「？」がついているものは必須項目です。
- ※ 回答数を制限している質問があります。回答が完了した後は、回答していただき、

回答制限と回答済み状態は、必ず回答制限の回数を超えていない限り、

- ① 回答制限の回数を超えていない
- ② 回答制限の回数を超えている
- ③ 回答制限の回数を超えている
- ④ 回答制限の回数を超えている
- ⑤ 回答制限の回数を超えている
- ⑥ 回答制限の回数を超えている
- ⑦ 回答制限の回数を超えている
- ⑧ 回答制限の回数を超えている
- ⑨ 回答制限の回数を超えている
- ⑩ 回答制限の回数を超えている

1. 回答を送信する

1-① 最後の質問以下に、回答のようなボタンが表示されます。左側の[戻る]を押せば戻ります。[済ませる]を押せば送信して回答を送信します。



1-② 回答が問題ごとく送信されましたら、回答のようなメッセージが表示されます。



2. アンケート完了の確認

2-① 画面右上部のダッシュボードをクリックし、確認の画面が表示されます。



2-② 完了している場合は、画面右下のバナーが表示されます。これでアンケート完了です。ご協力ありがとうございました。



図1. 学生へのアンケート回答方法の通知

6-3) アンケート調査項目

Moodle で実施したアンケート調査の項目を表1に示す。

表1. 2019年度学生生活・学修実態調査 アンケート調査項目

<p>【基本属性】</p> <p>(A-01) どの学部・学科に所属していますか。</p> <p>1. 医学部医学科 2. 医療科学部臨床検査学科 3. 医療科学部看護学科 4. 医療科学部放射線学科 5. 医療科学部リハビリテーション学科 理学療法専攻 6. 医療科学部リハビリテーション学科 作業療法専攻 7. 医療科学部臨床工学科 8. 医療科学部医療経営情報学科 9. 看護専門学校</p> <p>(A-02) 何学年ですか。</p> <p>1. 1年生 2. 2年生 3. 3年生 4. 4年生 5. 5年生 6. 6年生</p> <p>(A-03) 本年度(今年3月31日時点)の満年齢を教えてください。 ()歳</p> <p>(A-04) 性別は</p> <p>1. 男 2. 女</p> <p><大学全体について> (または看護専門学校について)</p> <p>(1) 大学(または看護専門学校)へはどのような選抜方法で入学しましたか。</p> <p>1. 推薦入試 2. 一般入試 3. センター試験利用(大学のみ) 4. その他(具体的に記述してください)</p> <p>(2) 希望の大学(または看護専門学校)へ入学できましたか。</p> <p>1. はい 2. いいえ 3. どちらでもない</p> <p>(3) 授業の出席状況について、当てはまるものを1つ選んでください。</p> <p>1. よく出席する(出席率98%以上) 2. 出席する方である(出席率90%以上) 3. どちらともいえない(出席率80%程度) 4. あまり出席しない(出席率70%程度) 5. ほとんど出席しない(無資格科目が散見)</p> <p>(4) 大学(または看護専門学校)の学修面は充実していますか。</p> <p>1. 充実している 2. まあまあ充実している 3. どちらともいえない 4. あまり充実していない 5. 全く充実していない</p> <p>(5) 大学(または看護専門学校)のクラブ活動や学外での活動などは充実していますか。</p> <p>1. 充実している 2. まあまあ充実している 3. どちらともいえない 4. あまり充実していない 5. 全く充実していない</p> <p>(6) 大学(または看護専門学校)の学生生活は、総合的にみて満足していますか。</p> <p>1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない</p> <p><通学について></p> <p>(7) どこから通学していますか。</p> <p>1. 自宅から通学 2. 自宅外(下宿)から通学 3. その他(具体的に記述してください)</p>

(8) どのように大学（または看護専門学校）まで通っていますか。（複数選択可）

1. 公共交通機関（バス・電車等）
2. 自転車
3. バイク
4. 車
5. 徒歩
6. その他（「自動車での送り迎え」など具体的に記述してください）

(9) 通学（片道）に何時間くらいかかりますか。

1. 30分未満
2. 30分～1時間未満
3. 1～1時間30分未満
4. 1時間30分～2時間未満
5. 2時間以上

<経済面について>

(10) 趣味や娯楽等に1か月間でいくらぐらい費やしますか。

1. 1万円未満
2. 1～2万円未満
3. 2～3万円未満
4. 3～4万円未満
5. 4～5万円未満
6. 5～10万円未満
7. 10万円以上

(11) 奨学金を受けていますか。（複数回答可）

1. 受けていない
2. 日本学生支援機構の奨学金を受けている
3. 地方公共団体の奨学金を受けている
4. 民間育英団体等の奨学金を受けている
5. その他の奨学金（具体的に記述してください）

<アルバイトについて>

(12) 現在、アルバイトをしていますか。アルバイトをしている人は、アルバイトの主な目的は何ですか。

（「ある」と回答した場合は最も多い理由を2～8から1つ選んでください）

ない→1. していない（したことがない）

ある→2. 学費を得るため

3. 生活費・教養費を得るため

4. クラブ活動費を得るため

5. 旅行等レジャー・洋服などの資金を得るため

6. 耐久消費財（電化用品、家具など）を購入するため

7. 貯金をするため

8. その他（具体的に記述して下さい）

(13) 1週間に何日、アルバイトしますか。

※注：(12)で「ある」を回答した人への設問（2～8を選択した人のみ回答）

1. ごくたまに
2. 1～2日
3. 3～4日
4. 4～5日
5. 5～6日
6. 7日（毎日）

(14) 1日あたり何時間ぐらい、アルバイトしますか。

※注：(12)で「ある」を回答した人への設問（2～8を選択した人のみ回答）

1. 2時間未満
2. 2～3時間未満
3. 3～4時間未満
4. 5～6時間未満
5. 6時間以上

(15) アルバイトの主な職種は何ですか。

1. フード・飲食
2. 各種販売
3. アミューズメント
4. 事務・デスクワーク
5. 警備・清掃・土木・建築
6. 製造系作業員
7. 医療・介護・福祉
8. 教育（家庭教師・塾講師等）
9. その他（具体的に記述してください）

<クラブ活動/ボランティア活動等について>

(16) 現在、クラブ活動に参加していますか。

1. はい、1つのクラブ活動に参加しています。
2. はい、2つ以上のクラブ活動に参加しています。
3. いいえ、参加していません。

(17) クラブ活動に参加している人は、きっかけや理由を3つまで選んでください。

※注：(16)で「はい」と回答した人への設問（1, 2を選択した人のみ回答）

1. 活動内容が好きまたは興味がある
2. 教養・知識、技術の向上
3. 健康のため
4. 友人を得るため
5. 交友関係を広げるため
6. 免許・資格取得のため
7. 社会貢献
8. 誘われて何となく
9. その他（具体的に記述してください）

(18) クラブ活動に参加しない理由を3つまで選んでください。

※注：(16)で「いいえ」と回答した人への設問（3を選択した人のみ回答）

1. 勉学の妨げになる
2. 健康上の理由
3. 自分の関心に合うものがない
4. アルバイトや通学等で時間がない
5. 拘束されたくない
6. 経済的な負担が大きい
7. 対人関係が面倒
8. 練習が苦痛
9. 活動を行う施設・設備がない
10. 特に理由はない
11. その他（具体的に記述してください）

(19) 現在、ボランティア活動（学内美化、社会奉仕、親切運動、福祉活動等の無償奉仕）をしていますか。

1. 定期的に参加している。
2. 不定期（ときどき）だが、参加している。
3. 以前は参加していたが、現在はしていない。
4. 参加したことがない。
5. 参加したいが、時間や機会がない。

<学修及び学校生活について>

(20) 1日の平均予習時間は何時間ですか。

1. ほとんどなし
2. 1時間未満
3. 1～2時間未満
4. 2～3時間未満
5. 3～4時間未満
6. 4時間以上

(21) 1日の平均復習時間（課題、レポート等の作成時間を含む）は何時間ですか。

1. ほとんどなし
2. 1時間未満
3. 1～2時間未満
4. 2～3時間未満
5. 3～4時間未満
6. 4時間以上

(22) どこで自主学修することが多いですか。

1. 自宅
2. 友人宅
3. 教室
4. 研究室
5. 学生ホール・オープンスペース
6. 学生食堂
7. 図書館
8. PC室
9. 学外の飲食店
10. その他（具体的に記述してください）

(23) 自主学修をどのようにしますか。よく行う方法を3つ（必須）選んでください。

1. 自分のノートを中心に学修
2. 講義用教材を中心に学修
3. 教科書・参考書を中心に学修
4. 同級生、先輩が作成した資料を中心に学修
5. 視覚材料を利用
6. eラーニングを利用
7. インターネット検索を利用
8. SNSを利用
9. その他（具体的に記述してください）

(24) 誰と学修することが多いですか。

1. 自分一人で
2. 友人と一緒に
3. 教員と一緒に
4. その他（具体的に記述してください）

(25) 講義・実習には満足していますか。

1. 満足している
2. まま満足している
3. やや不満である
4. 不満である

(26) 教育や制度に関して、整備・充実してほしいものを3つ（必須）選んでください。

1. カリキュラム
2. 授業・試験・成績などの教務情報
3. 資格取得講座（対策授業）
4. 就職支援・進路相談
5. 奨学金制度の新設や増額
6. 留学制度・海外研修プログラム
7. 勉学・海外との交流
8. クラブ活動・ボランティア活動支援
9. 学生自治活動（学友会）支援
10. その他（具体的に記述してください）

(27) キャンパス内の施設・設備について、整備・充実してほしいものを3つまで、選んでください。

1. 教室・実習室
2. 図書館
3. PC教室など情報系教室
4. インターネット環境
5. 体育館等スポーツ施設
6. クラブ活動の設備・施設
7. 食堂
8. 駐輪場
9. 駐車場
10. 学生ホール・ラウンジ
11. その他（具体的に記述してください）

<健康について>

(28) 平平均睡眠時間はどれくらいですか。

1. 4時間未満
2. 4～5時間未満
3. 5～6時間未満
4. 6～7時間未満
5. 7～8時間未満
6. 8～9時間未満
7. 9～10時間未満
8. 10時間以上

(29-1) 朝食はどのようにしていますか。

1. 自宅・下宿での自炊
2. 持参したおにぎりや弁当
3. 学内の食堂
4. 学外の飲食店等
5. コンビニやファーストフード等で弁当などを購入
6. ほとんど食べない
7. その他（具体的に記述してください）

(29-2) 昼食はどのようにしていますか。

1. 自宅・下宿での自炊
2. 持参したおにぎりや弁当
3. 学内の食堂
4. 学外の飲食店等
5. コンビニやファーストフード等で弁当などを購入
6. ほとんど食べない
7. その他（具体的に記述してください）

(29-3) 夕食はどのようにしていますか。

1. 自宅・下宿での自炊
2. 持参したおにぎりや弁当
3. 学内の食堂
4. 学外の飲食店等
5. コンビニやファーストフード等で弁当などを購入
6. ほとんど食べない
7. その他（具体的に記述してください）

<その他悩み事>

(30) 現在、悩んでいることを3つまで選んでください。

1. 金銭面
2. 学修面
3. クラブ関係
4. 健康上の問題
5. 性格や能力について
6. 就職・将来の進路
7. 友人関係
8. 異性問題
9. 性の問題
10. 家庭の問題
11. 特に悩んでいない
12. その他（具体的に記述してください）

(31) 学生生活上の悩みや不安、困ったときに相談し易いのはどなたですか（複数回答可）

1. 親
2. 兄弟
3. 同級生
4. 先輩・後輩
5. 学外の友人
6. 恋人
7. 教員
8. 職員
9. 保健室（カウンセラーを含む）
10. 相談する人がいない
11. その他（具体的に記述してください）

【自由記載】

(1) 本学の教育内容（カリキュラム、授業方法、実習指導等）について何かご要望はありますか？

(2) 本学の学生生活環境（教育設備、アメニティ、部活環境等）について何かご要望はありますか？

(3) 本学の建学の理念、ポリシー等について何かご意見をお持ちですか？

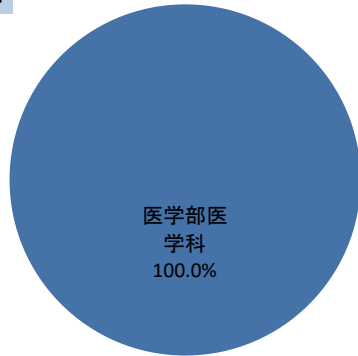
以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

7. 集計結果と各項目に対する分析

A-01～A-04. 【基本属性】

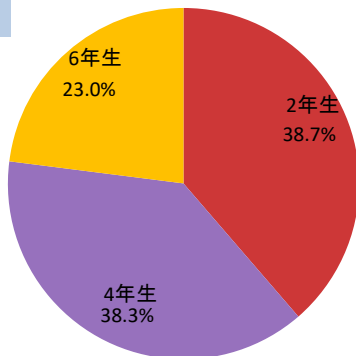
2年生、4年生、6年生を対象に実施。対象者370名中300名から回答がありました（回収率 81.1%）。

所属



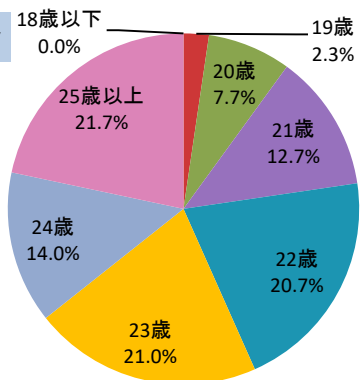
F1：所属	件数	割合
医学部医学科	300	100.0%
臨床検査学科	0	0.0%
看護学科	0	0.0%
放射線学科	0	0.0%
理学療法専攻	0	0.0%
作業療法専攻	0	0.0%
臨床工学科	0	0.0%
医療経営情報学科	0	0.0%
合計	300	100.0%

学年



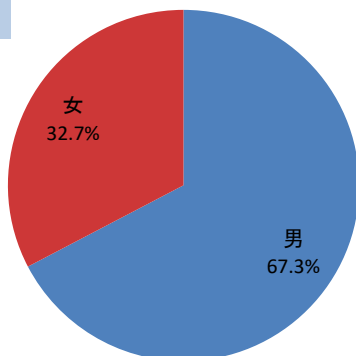
F2：学年	件数	回収率
1年生	0	0.0%
2年生	116	90.6%
3年生	0	0.0%
4年生	115	92.7%
5年生	0	0.0%
6年生	69	58.5%
合計	0	0.0%

年齢



F3：年齢	件数	割合
18歳以下	0	0.0%
19歳	7	2.3%
20歳	23	7.7%
21歳	38	12.7%
22歳	62	20.7%
23歳	63	21.0%
24歳	42	14.0%
25歳以上	65	21.7%
合計	300	100.0%

性別

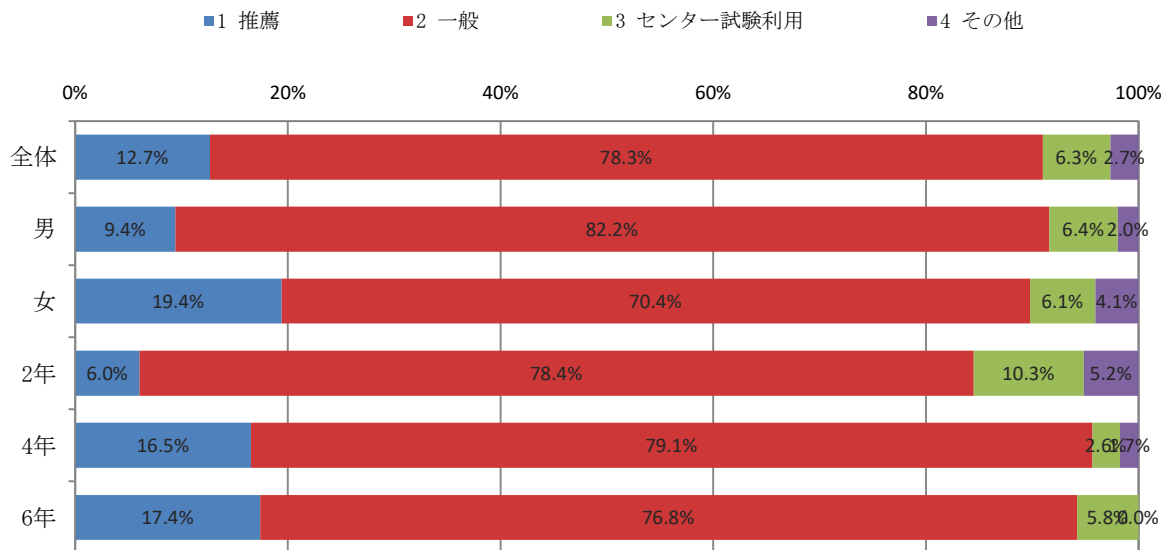


F4：性別	件数	割合
男	202	67.3%
女	98	32.7%
合計	300	100.0%

1. 入試区分

全体の78.3%が一般入試での入学者。

全体の78.3%が一般入試、12.7%が推薦入試での入学者です。



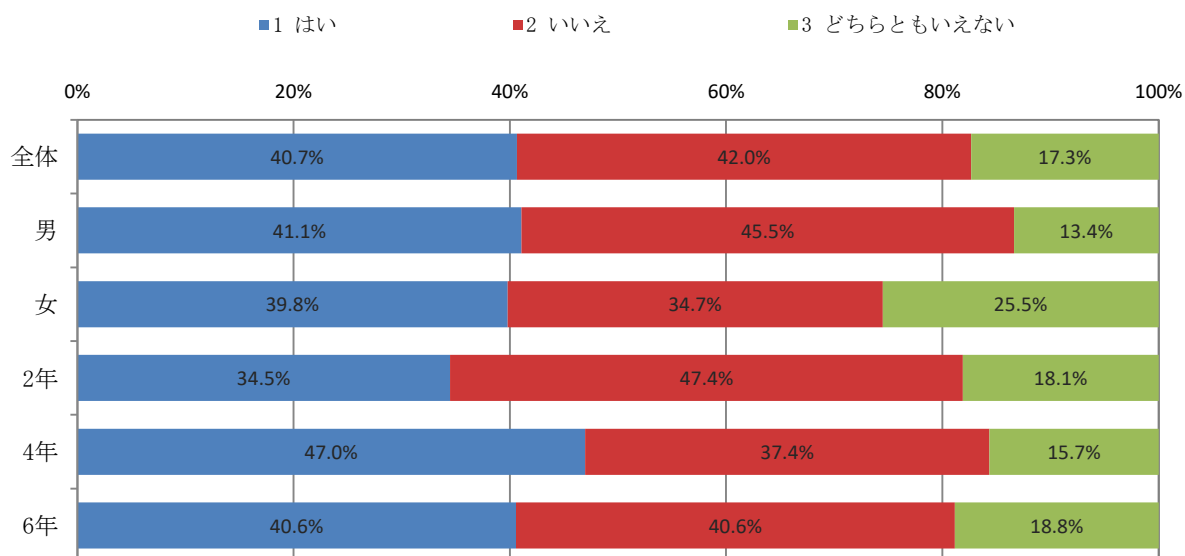
		有効回答者数	大学の入学方法は			
			推薦	一般	センター試験利用	その他
全体		300	38	235	19	8
			12.7%	78.3%	6.3%	2.7%
性別	男	202	19	166	13	4
			9.4%	82.2%	6.4%	2.0%
	女	98	19	69	6	4
			19.4%	70.4%	6.1%	4.1%
学年別	2年	116	7	91	12	6
			6.0%	78.4%	10.3%	5.2%
	4年	115	19	91	3	2
			16.5%	79.1%	2.6%	1.7%
	6年	69	12	53	4	0
			17.4%	76.8%	5.8%	0.0%

※「センター試験利用」は大学のみ回答

2. 入学時希望順位

40.7%の学生は「希望の大学に入学できた」と回答。

一昨年度調査では33.7%、昨年度調査では41.5%で、大きな傾向は変わりません。



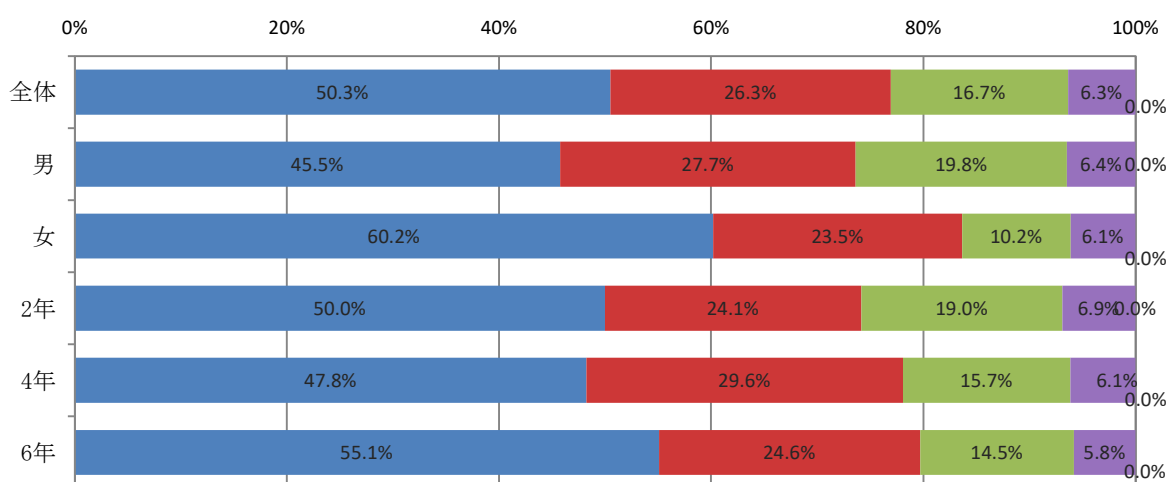
		有効回答者数	希望の大学へ入学できましたか		
			はい	いいえ	どちらともいえない
全体		300	122	126	52
			40.7%	42.0%	17.3%
性別	男	202	83	92	27
			41.1%	45.5%	13.4%
	女	98	39	34	25
			39.8%	34.7%	25.5%
学年別	2年	116	40	55	21
			34.5%	47.4%	18.1%
	4年	115	54	43	18
			47.0%	37.4%	15.7%
	6年	69	28	28	13
			40.6%	40.6%	18.8%

3. 授業出席率

全体の76.6%は講義出席率が90%以上と回答

全体の76.6%は出席率が90%以上と回答していました。一昨年度は73.1%、昨年度は77.9%で、傾向は大きく変わりません。

- 1 よく出席する
(出席率98%以上)
- 2 出席する方である
(出席率90%以上)
- 3 どちらともいえない
(出席率80%程度)
- 4 あまり出席しない
(出席率70%程度)
- 5 ほとんど出席しない
(無資格科目が散見)



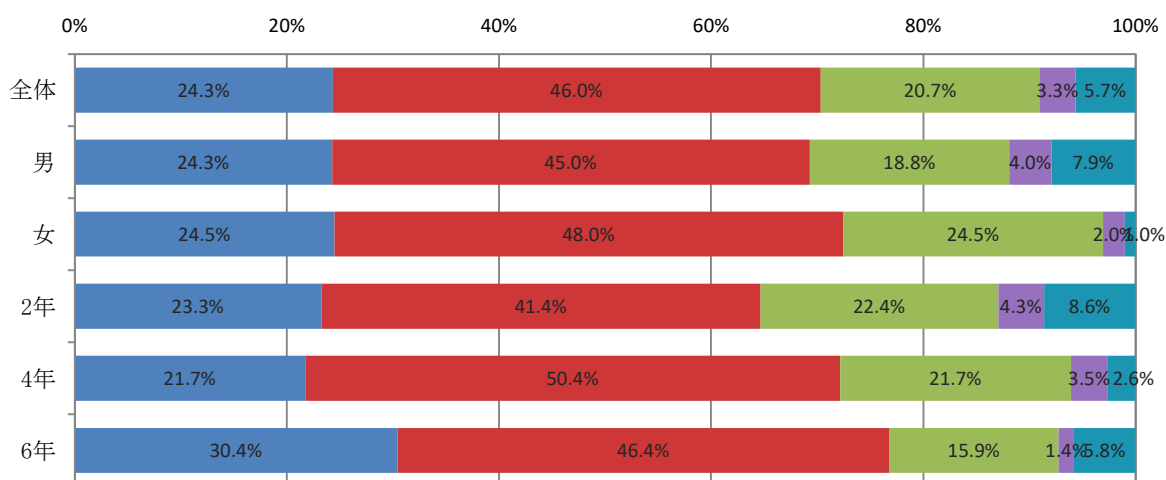
		有効回答者数	授業の出席状況について				
			(よく出席する 出席率98%以上)	(出席する方である 出席率90%以上)	(どちらともいえない 出席率80%程度)	(あまり出席しない 出席率70%程度)	(ほとんど出席しない 無資格科目が散見)
全体		300	151	79	50	19	1
			50.3%	26.3%	16.7%	6.3%	0.0%
性別	男	202	92	56	40	13	1
			45.5%	27.7%	19.8%	6.4%	0.0%
	女	98	59	23	10	6	0
			60.2%	23.5%	10.2%	6.1%	0.0%
学年別	2年	116	58	28	22	8	0
			50.0%	24.1%	19.0%	6.9%	0.0%
	4年	115	55	34	18	7	1
			47.8%	29.6%	15.7%	6.1%	0.0%
	6年	69	38	17	10	4	0
			55.1%	24.6%	14.5%	5.8%	0.0%

4. 学生生活充実度…学修面

学修面で充実している～普通と答えた学生は全体の91.0%。

学修面が充実している～普通と答えた学生は全体の91.0%に達します。一昨年度の83.0%、昨年度の87.5%よりも増加傾向です。

■1 大変充実している ■2 充実している ■3 普通 ■4 あまり充実していない ■5 全く充実していない



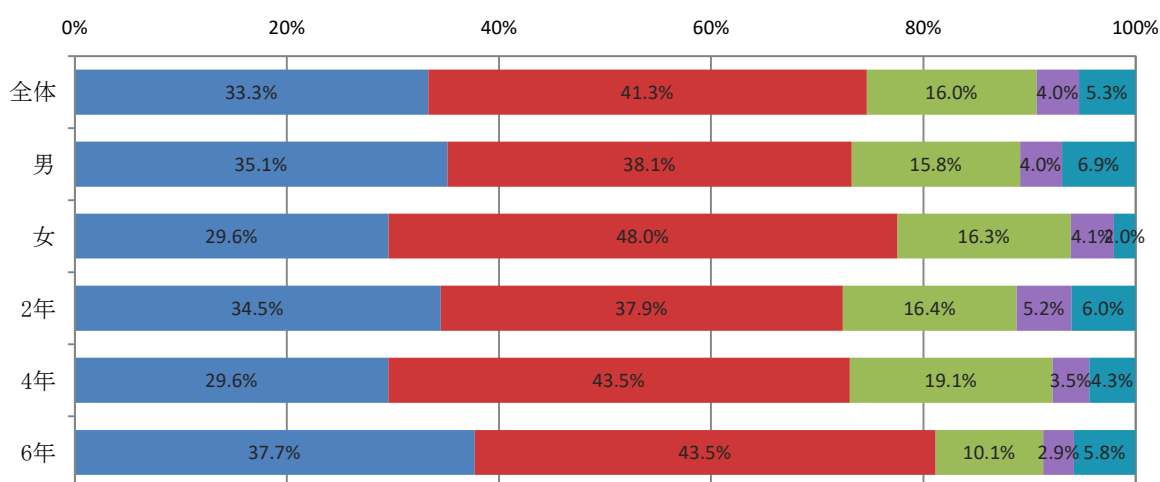
		有効回答者数	学生生活の充実度について…学修面では				
			大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない
全体		300	73	138	62	10	17
			24.3%	46.0%	20.7%	3.3%	5.7%
性別	男	202	49	91	38	8	16
			24.3%	45.0%	18.8%	4.0%	7.9%
	女	98	24	47	24	2	1
			24.5%	48.0%	24.5%	2.0%	1.0%
学年別	2年	116	27	48	26	5	10
			23.3%	41.4%	22.4%	4.3%	8.6%
	4年	115	25	58	25	4	3
			21.7%	50.4%	21.7%	3.5%	2.6%
	6年	69	21	32	11	1	4
			30.4%	46.4%	15.9%	1.4%	5.8%

5. 学生生活充実度…クラブ等

クラブ活動等が充実している～普通と答えた学生は全体の90.6%。

学生生活（クラブ活動等）が充実している～普通と答えた学生は学修面同様全体の9割以上（90.6%）に達します。一昨年度の83%、昨年度の89.0%よりも増加傾向です。

■1 大変充実している ■2 充実している ■3 普通 ■4 あまり充実していない ■5 全く充実していない

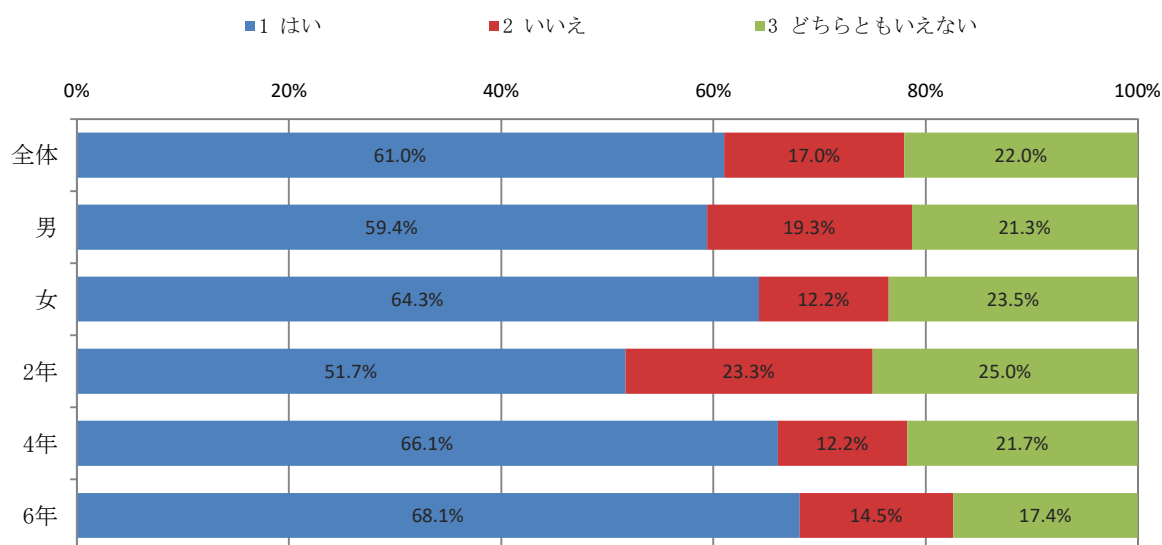


		有効回答者数	学生生活の充実度について…クラブ・学外活動など				
			大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない
全体		300	100	124	48	12	16
			33.3%	41.3%	16.0%	4.0%	5.3%
性別	男	202	71	77	32	8	14
			35.1%	38.1%	15.8%	4.0%	6.9%
	女	98	29	47	16	4	2
			29.6%	48.0%	16.3%	4.1%	2.0%
学年別	2年	116	40	44	19	6	7
			34.5%	37.9%	16.4%	5.2%	6.0%
	4年	115	34	50	22	4	5
			29.6%	43.5%	19.1%	3.5%	4.3%
	6年	69	26	30	7	2	4
			37.7%	43.5%	10.1%	2.9%	5.8%

6. 学生生活充実度…総合

総合的にみて充実していると回答する学生が6割以上を占める。

学年別に見ても学生生活が総合的に充実していると回答した学生は61.0%と、全体としては学生生活が充実しているとみられます。いずれの学年でも51.7%～68.1%と、一昨年度（42%～52%）昨年度（45.7%～62.4%）よりも増加傾向です。

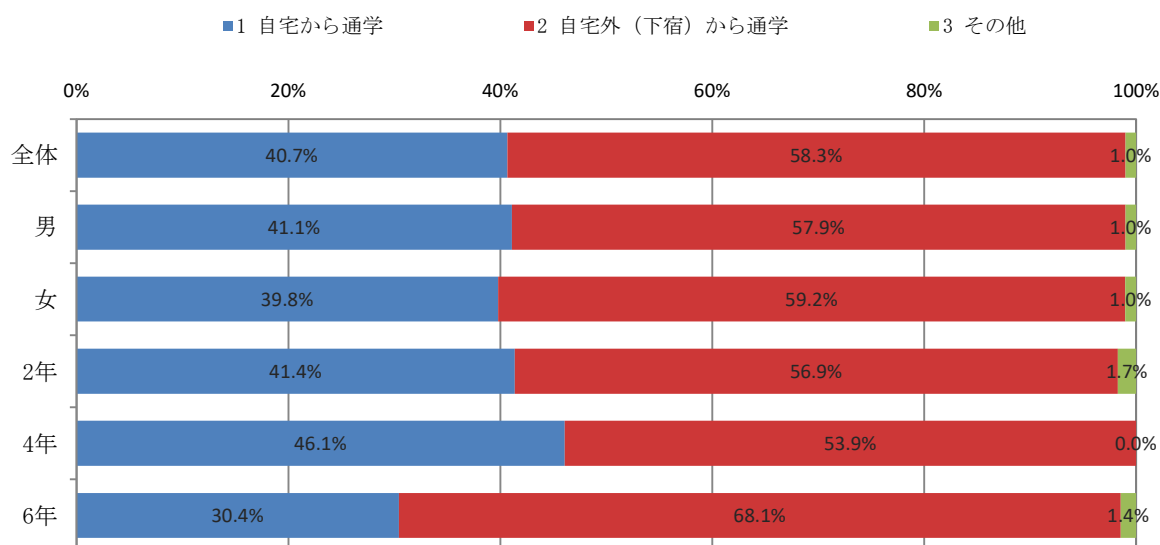


		有効回答者数	総合的にみて学生生活に満足していますか		
			はい	いいえ	どちらともいえない
全体		300	183	51	66
			61.0%	17.0%	22.0%
性別	男	202	120	39	43
			59.4%	19.3%	21.3%
	女	98	63	12	23
			64.3%	12.2%	23.5%
学年別	2年	116	60	27	29
			51.7%	23.3%	25.0%
	4年	115	76	14	25
			66.1%	12.2%	21.7%
	6年	69	47	10	12
			68.1%	14.5%	17.4%

7. 通学形態

自宅生の比率は全体の40.7%。

全体では自宅生が40.7%を占めており、昨年度の41.2%よりと同様の傾向です。これは特に4年生での自宅生割合が46.1%と最も多くなっていますが、これは昨年度も4年生は50.5%で同様の傾向です。一方6年生で比率が減少する（30.4%）のも昨年度までと同様の傾向で、臨床実習や大学の勉強部屋での長時間学修のため、大学に近い下宿に移行する学生が増えるものと考えられます。

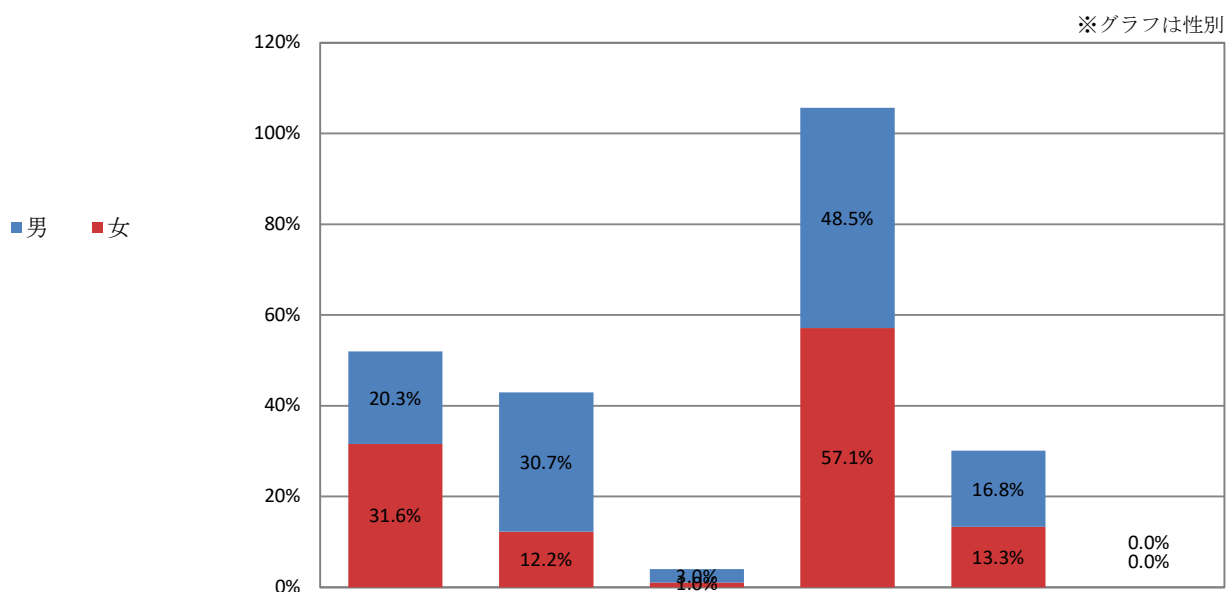


		有効回答者数	通学の住居について		
			自宅から通学	学 自宅外（下宿）から通	その他
全体		300	122	175	3
			40.7%	58.3%	1.0%
性別	男	202	83	117	2
			41.1%	57.9%	1.0%
	女	98	39	58	1
			39.8%	59.2%	1.0%
学年別	2年	116	48	66	2
			41.4%	56.9%	1.7%
	4年	115	53	62	0
			46.1%	53.9%	0.0%
	6年	69	21	47	1
			30.4%	68.1%	1.4%

8. 通学手段（複数回答） - 性別 -

51.3%の学生が自動車通学。

全体の51.3%の学生が通学手段として自動車を挙げており、昨年度（51.6%）と同一傾向です。



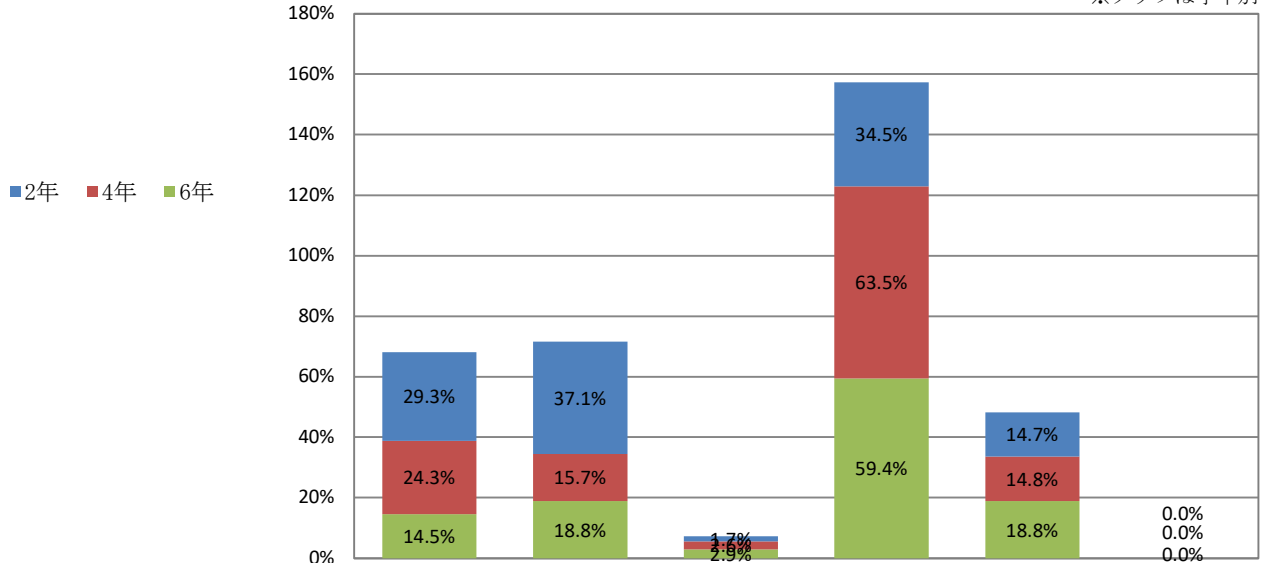
		有効回答者数	通学手段は何ですか					
			公共交通機関 (バス・電車等)	自転車	単車 (バイク)	自動車	徒歩	その他
全体		300	72 24.0%	74 24.7%	7 2.3%	154 51.3%	47 15.7%	0 0.0%
性別	男	202	41 20.3%	62 30.7%	6 3.0%	98 48.5%	34 16.8%	0 0.0%
	女	98	31 31.6%	12 12.2%	1 1.0%	56 57.1%	13 13.3%	0 0.0%
学年別	2年	116	34 29.3%	43 37.1%	2 1.7%	40 34.5%	17 14.7%	0 0.0%
	4年	115	28 24.3%	18 15.7%	3 2.6%	73 63.5%	17 14.8%	0 0.0%
	6年	69	10 14.5%	13 18.8%	2 2.9%	41 59.4%	13 18.8%	0 0.0%

8. 通学手段（複数回答） - 学年別 -

自動車通学する学生の割合は4年生で増加。

自動車通学する学生は2年生で34.5%から4年生で63.5%で、この間に自動車通学に切り替える学生が増加することがうかがえます。4年生の自宅生比率は46.1%であり、下宿していても自動車通学する学生がいることがわかります。

※グラフは学年別

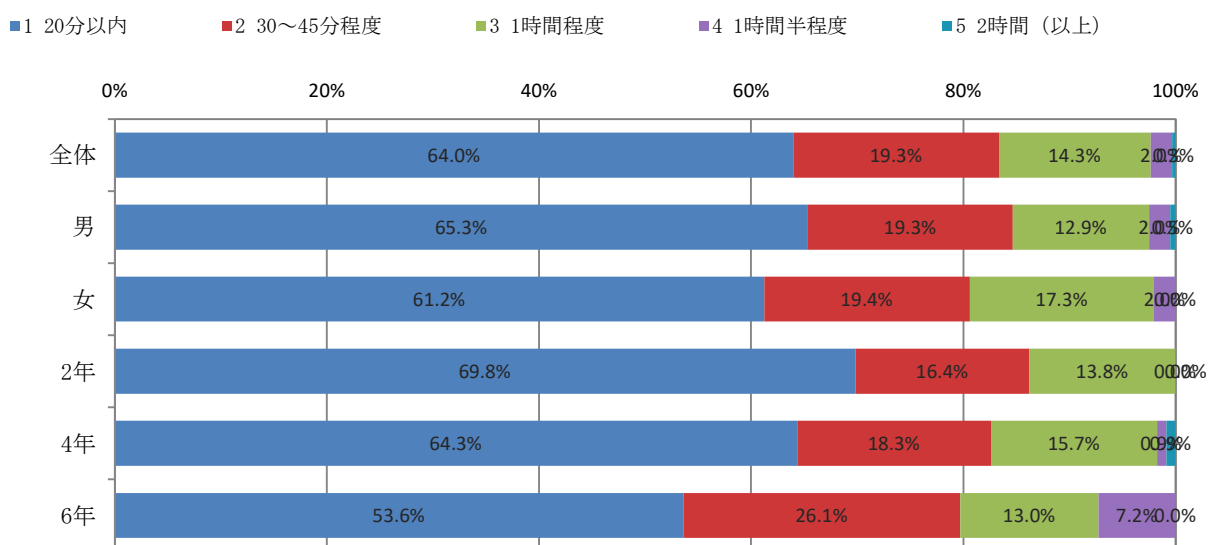


		有効回答者数	通学手段は何ですか					
			電車等 (バス・電車)	自転車	単車 (バイク)	自動車	徒歩	その他
全体		300	72 24.0%	74 24.7%	7 2.3%	154 51.3%	47 15.7%	0 0.0%
性別	男	202	41 20.3%	62 30.7%	6 3.0%	98 48.5%	34 16.8%	0 0.0%
	女	98	31 31.6%	12 12.2%	1 1.0%	56 57.1%	13 13.3%	0 0.0%
学年別	2年	116	34 29.3%	43 37.1%	2 1.7%	40 34.5%	17 14.7%	0 0.0%
	4年	115	28 24.3%	18 15.7%	3 2.6%	73 63.5%	17 14.8%	0 0.0%
	6年	69	10 14.5%	13 18.8%	2 2.9%	41 59.4%	13 18.8%	0 0.0%

9. 通学時間

64.0%の学生の通学時間は20分以内。

全体として97.7%の学生が通学時間は1時間程度までと回答しており、20分以内とする回答も64%にのびります。

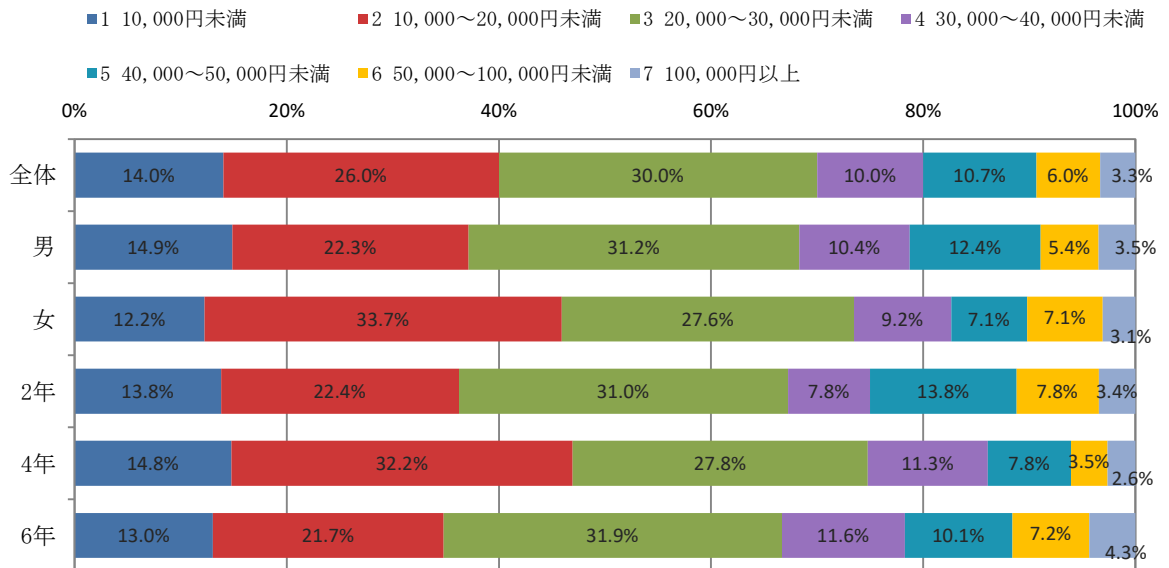


		有効回答者数	通学の所要時間 (片道) について				
			20分以内	30~45分程度	1時間程度	1時間半程度	2時間(以上)
全体		300	192	58	43	6	1
			64.0%	19.3%	14.3%	2.0%	0.3%
性別	男	202	132	39	26	4	1
			65.3%	19.3%	12.9%	2.0%	0.5%
	女	98	60	19	17	2	0
			61.2%	19.4%	17.3%	2.0%	0.0%
学年別	2年	116	81	19	16	0	0
			69.8%	16.4%	13.8%	0.0%	0.0%
	4年	115	74	21	18	1	1
			64.3%	18.3%	15.7%	0.9%	0.9%
	6年	69	37	18	9	5	0
			53.6%	26.1%	13.0%	7.2%	0.0%

10. お小遣い

7割の学生のお小遣いは3万円未満。

お小遣いは3万円未満との回答が全体の7割を占め、学年ごとに大きな差はみられません。この傾向は昨年度と同様です。

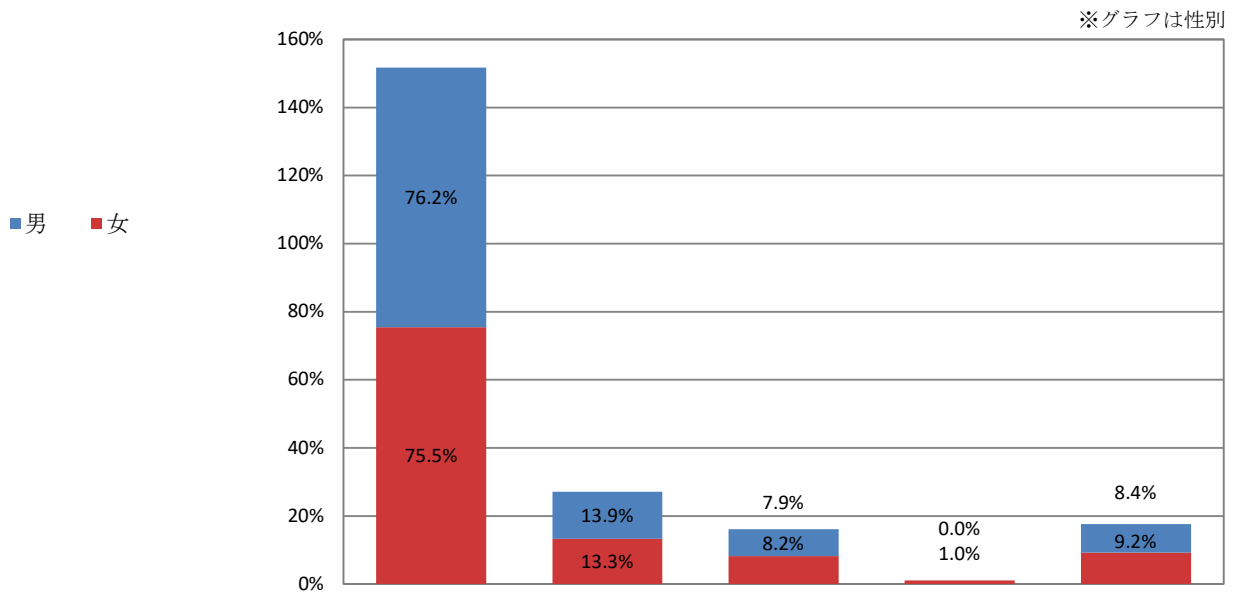


		有効回答者数	1か月の趣味や娯楽費等に掛ける費用はいくらですか						
			1 0 , 0 0 0 円 未 満	2 1 0 , 0 0 0 円 未 満	3 2 0 , 0 0 0 円 未 満	4 3 0 , 0 0 0 円 未 満	5 4 0 , 0 0 0 円 未 満	6 5 0 , 0 0 0 円 未 満	7 1 0 , 0 0 0 円 未 満
全体		300	42	78	90	30	32	18	10
			14.0%	26.0%	30.0%	10.0%	10.7%	6.0%	3.3%
性別	男	202	30	45	63	21	25	11	7
			14.9%	22.3%	31.2%	10.4%	12.4%	5.4%	3.5%
性別	女	98	12	33	27	9	7	7	3
			12.2%	33.7%	27.6%	9.2%	7.1%	7.1%	3.1%
学年別	2年	116	16	26	36	9	16	9	4
			13.8%	22.4%	31.0%	7.8%	13.8%	7.8%	3.4%
	4年	115	17	37	32	13	9	4	3
			14.8%	32.2%	27.8%	11.3%	7.8%	3.5%	2.6%
学年別	6年	69	9	15	22	8	7	5	3
			13.0%	21.7%	31.9%	11.6%	10.1%	7.2%	4.3%

11. 奨学金（複数回答） - 性別 -

奨学金を利用していない学生は76.0%。

奨学金を受けていない学生が全体の76.0%で、一昨年度（82.5%）・昨年度（80.3%）から微減傾向となっています。性差は認められません。

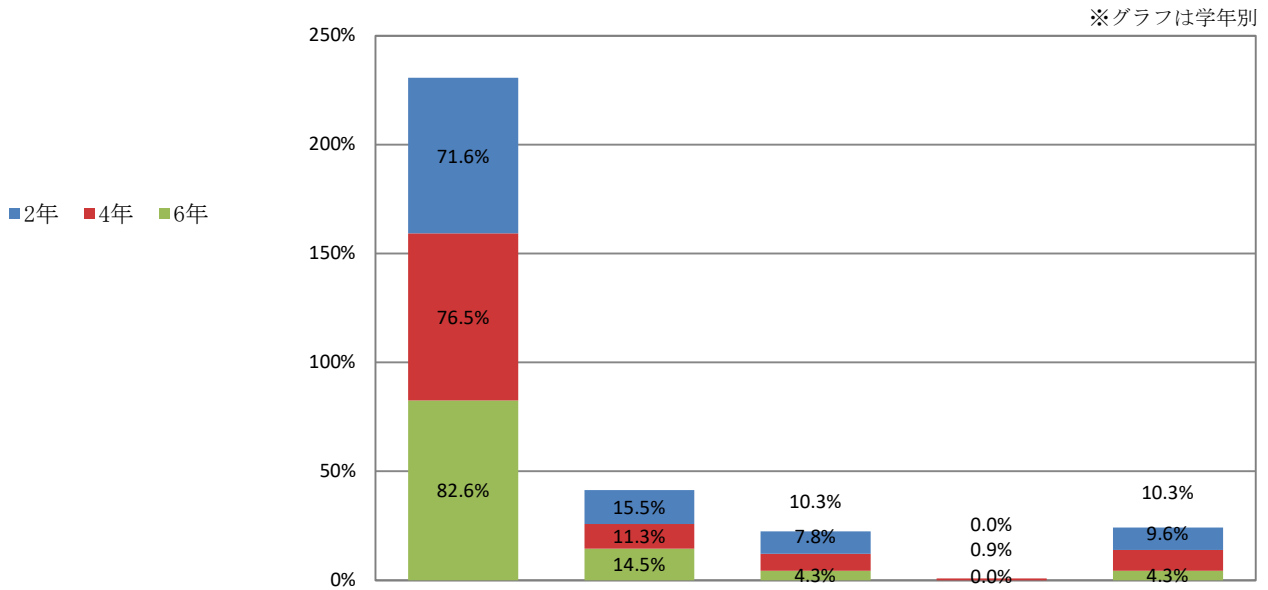


		有効回答者数	奨学金を受けていますか				
			受けていない	日本学生支援機構の奨学金	地方公共団体の奨学金	民間育英団体等の奨学金	その他
全体		300	228	41	24	1	26
			76.0%	13.7%	8.0%	0.3%	8.7%
性別	男	202	154	28	16	0	17
			76.2%	13.9%	7.9%	0.0%	8.4%
	女	98	74	13	8	1	9
			75.5%	13.3%	8.2%	1.0%	9.2%
学年別	2年	116	83	18	12	0	12
			71.6%	15.5%	10.3%	0.0%	10.3%
	4年	115	88	13	9	1	11
			76.5%	11.3%	7.8%	0.9%	9.6%
	6年	69	57	10	3	0	3
			82.6%	14.5%	4.3%	0.0%	4.3%

11. 奨学金（複数回答） - 学年別 -

低学年で奨学金利用率がやや高い。

昨年度と同様2年生での「その他」の奨学金利用率が高くなっています。これは大学からの成績優秀者の奨学金・および地域枠によるものと考えられます。

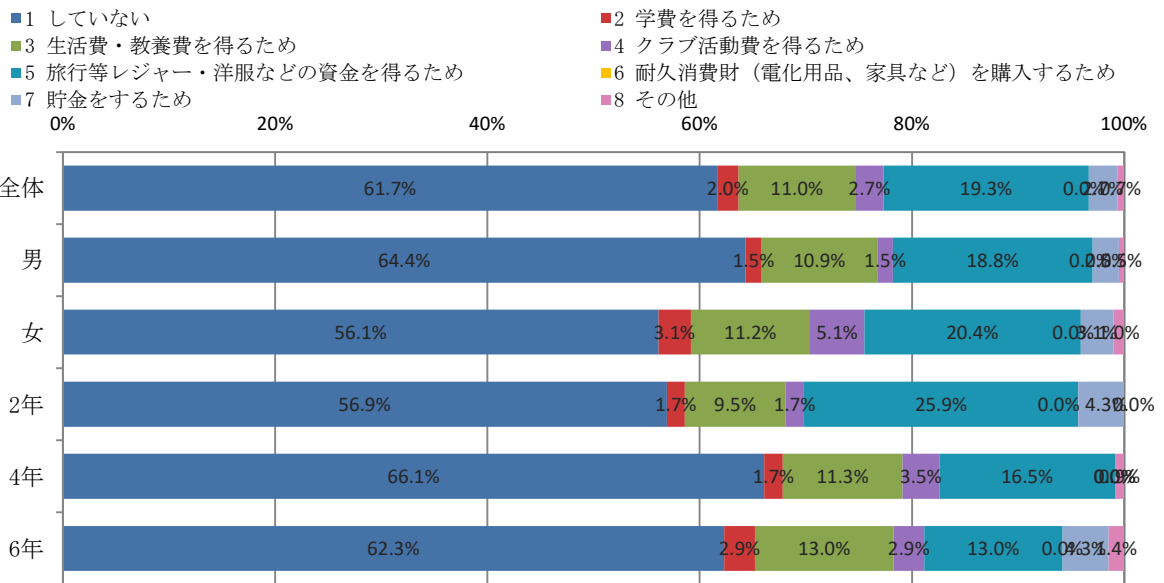


		有効回答者数	奨学金を受けていますか				
			受けていない	日本学生支援機構の奨学金を受けている	地方公共団体の奨学金を受けている	民間育英団体等の奨学金を受けている	その他
全体		300	228	41	24	1	26
			76.0%	13.7%	8.0%	0.3%	8.7%
性別	男	202	154	28	16	0	17
			76.2%	13.9%	7.9%	0.0%	8.4%
	女	98	74	13	8	1	9
			75.5%	13.3%	8.2%	1.0%	9.2%
学年別	2年	116	83	18	12	0	12
			71.6%	15.5%	10.3%	0.0%	10.3%
	4年	115	88	13	9	1	11
			76.5%	11.3%	7.8%	0.9%	9.6%
	6年	69	57	10	3	0	3
			82.6%	14.5%	4.3%	0.0%	4.3%

12. アルバイト有無と目的

アルバイトをしていない学生は全体の61.7%。

アルバイトをしていない学生は全体の61.7%でした。昨年度の75.8%からみると大きく減少していますが、今回回答対象となっている学生が2年前に回答した結果では56.1%で、大きな傾向の変化はありません。

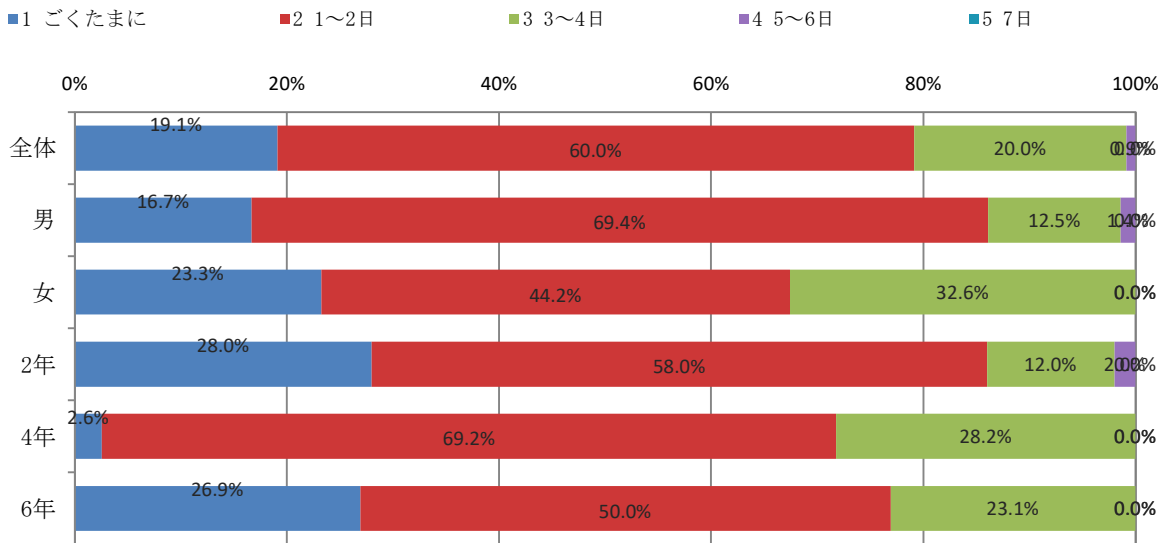


		有効回答者数	現在の学生生活におけるアルバイト経験の有無と目的について							
			していない	学費を得るため	生活費・教養費を得るため	クラブ活動費を得るため	旅行等レジャーなどの資金を得るため	品、耐久消費財（電化用品、家具など）を購入するため	貯金をするため	その他
全体	300	185	6	33	8	58	0	8	2	
		61.7%	2.0%	11.0%	2.7%	19.3%	0.0%	2.7%	0.7%	
性別	男	202	130	3	22	3	38	0	5	1
			64.4%	1.5%	10.9%	1.5%	18.8%	0.0%	2.5%	0.5%
	女	98	55	3	11	5	20	0	3	1
			56.1%	3.1%	11.2%	5.1%	20.4%	0.0%	3.1%	1.0%
学年別	2年	116	66	2	11	2	30	0	5	0
			56.9%	1.7%	9.5%	1.7%	25.9%	0.0%	4.3%	0.0%
	4年	115	76	2	13	4	19	0	0	1
			66.1%	1.7%	11.3%	3.5%	16.5%	0.0%	0.0%	0.9%
6年	69	43	2	9	2	9	0	3	1	
		62.3%	2.9%	13.0%	2.9%	13.0%	0.0%	4.3%	1.4%	

13. アルバイト日数

アルバイト日数は週2日以内が79.1%。

アルバイトをしている学生の79.1%が日数は週2日以下と回答しており、学生生活への大きな影響はなさそうです。



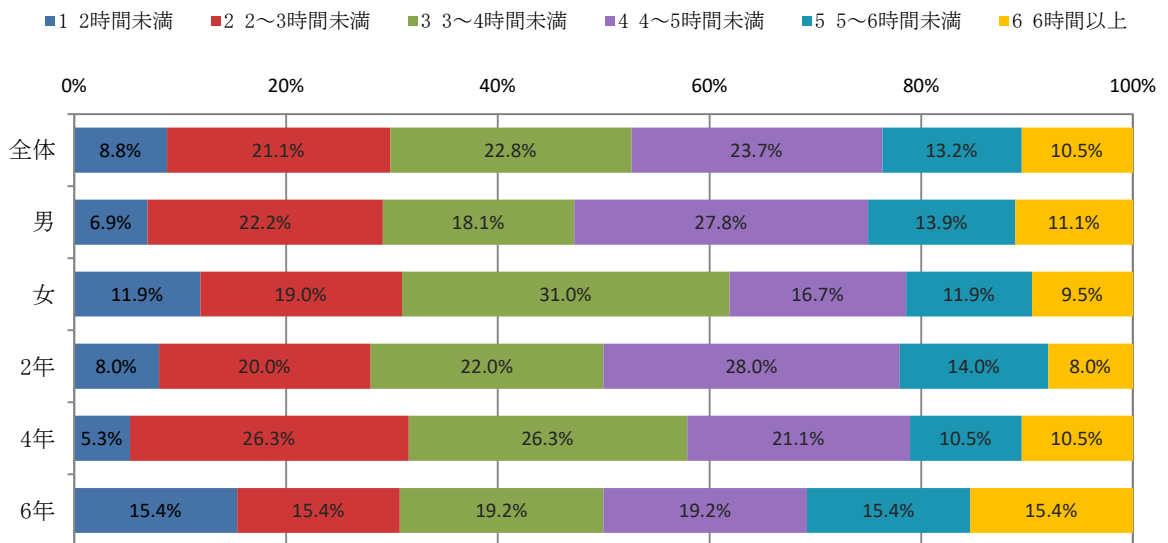
		有効回答者数	アルバイトは1週間に何日しますか (していましたか)				
			ぐくたまに	1 \ 2 日	3 \ 4 日	5 \ 6 日	7 日
全体		115	22	69	23	1	0
			19.1%	60.0%	20.0%	0.9%	0.0%
性別	男	72	12	50	9	1	0
			16.7%	69.4%	12.5%	1.4%	0.0%
	女	43	10	19	14	0	0
			23.3%	44.2%	32.6%	0.0%	0.0%
学年別	2年	50	14	29	6	1	0
			28.0%	58.0%	12.0%	2.0%	0.0%
	4年	39	1	27	11	0	0
			2.6%	69.2%	28.2%	0.0%	0.0%
	6年	26	7	13	6	0	0
			26.9%	50.0%	23.1%	0.0%	0.0%

※アルバイトをしている人のみ回答

14. アルバイト時間

アルバイト時間はさまざま。

アルバイト時間については2時間未満から6時間以上までさまざまで、学年ごとの傾向差も認められません。



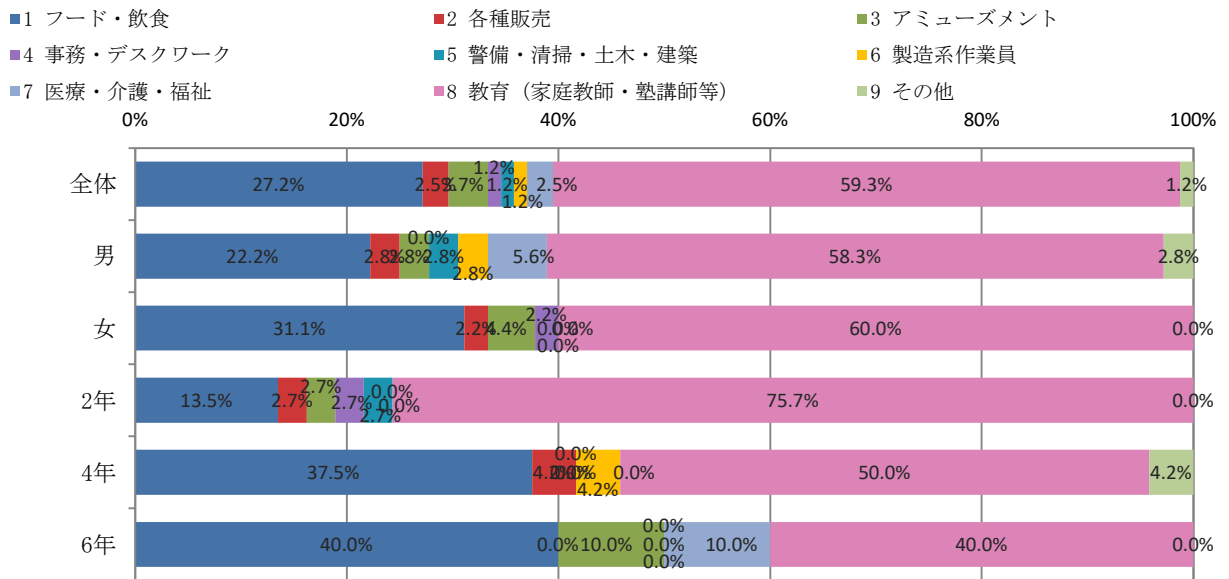
		有効回答者数	アルバイトは、主に一日あたり何時間していますか					
			2時間未満	2~3時間未満	3~4時間未満	4~5時間未満	5~6時間未満	6時間以上
全体		114	10	24	26	27	15	12
			8.8%	21.1%	22.8%	23.7%	13.2%	10.5%
性別	男	72	5	16	13	20	10	8
			6.9%	22.2%	18.1%	27.8%	13.9%	11.1%
	女	42	5	8	13	7	5	4
			11.9%	19.0%	31.0%	16.7%	11.9%	9.5%
学年別	2年	50	4	10	11	14	7	4
			8.0%	20.0%	22.0%	28.0%	14.0%	8.0%
	4年	38	2	10	10	8	4	4
			5.3%	26.3%	26.3%	21.1%	10.5%	10.5%
	6年	26	4	4	5	5	4	4
			15.4%	15.4%	19.2%	19.2%	15.4%	15.4%

※アルバイトをしている人のみ回答

15. アルバイト職種

アルバイト時間はさまざま。

アルバイト職種については全体の59.3%が教育となっていますが、学年が上がるにつれて他の職種の種類が増えています。これは昨年度までと同一の傾向です。



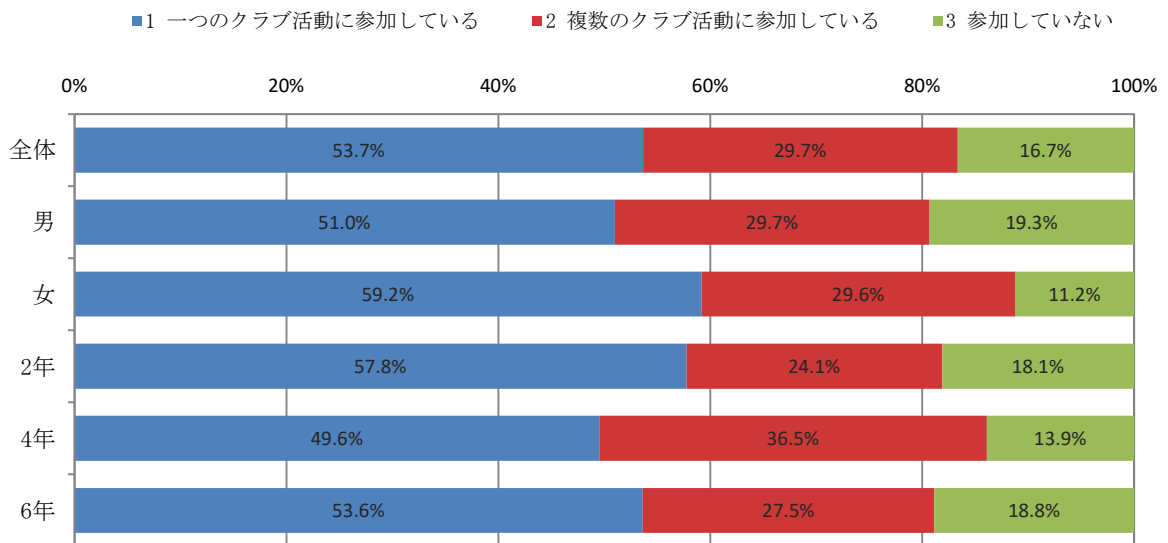
	有効回答者数	アルバイトの主な職種									
		フード・飲食	各種販売	アミューズメント	事務・デスクワーク	警備・清掃・土木・建築	製造系作業員	医療・介護・福祉	教育 (家庭教師・塾講師等)	その他	
全体	81	22	2	3	1	1	1	2	48	1	
		27.2%	2.5%	3.7%	1.2%	1.2%	1.2%	2.5%	59.3%	1.2%	
性別	男	36	8	1	1	0	1	1	2	21	1
			22.2%	2.8%	2.8%	0.0%	2.8%	2.8%	5.6%	58.3%	2.8%
	女	45	14	1	2	1	0	0	0	27	0
			31.1%	2.2%	4.4%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%
学年別	2年	37	5	1	1	1	1	0	0	28	0
			13.5%	2.7%	2.7%	2.7%	2.7%	0.0%	0.0%	75.7%	0.0%
	4年	24	9	1	0	0	0	1	0	12	1
			37.5%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	50.0%	4.2%
6年	20	8	0	2	0	0	0	2	8	0	
		40.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	40.0%	0.0%	

※アルバイトをしている人のみ回答

16. クラブ活動参加有無

全体の83.4%がクラブ活動に参加。

全体で83.4%が1つ以上のクラブ活動に参加しており、昨年度の79.1%から微増となっています。

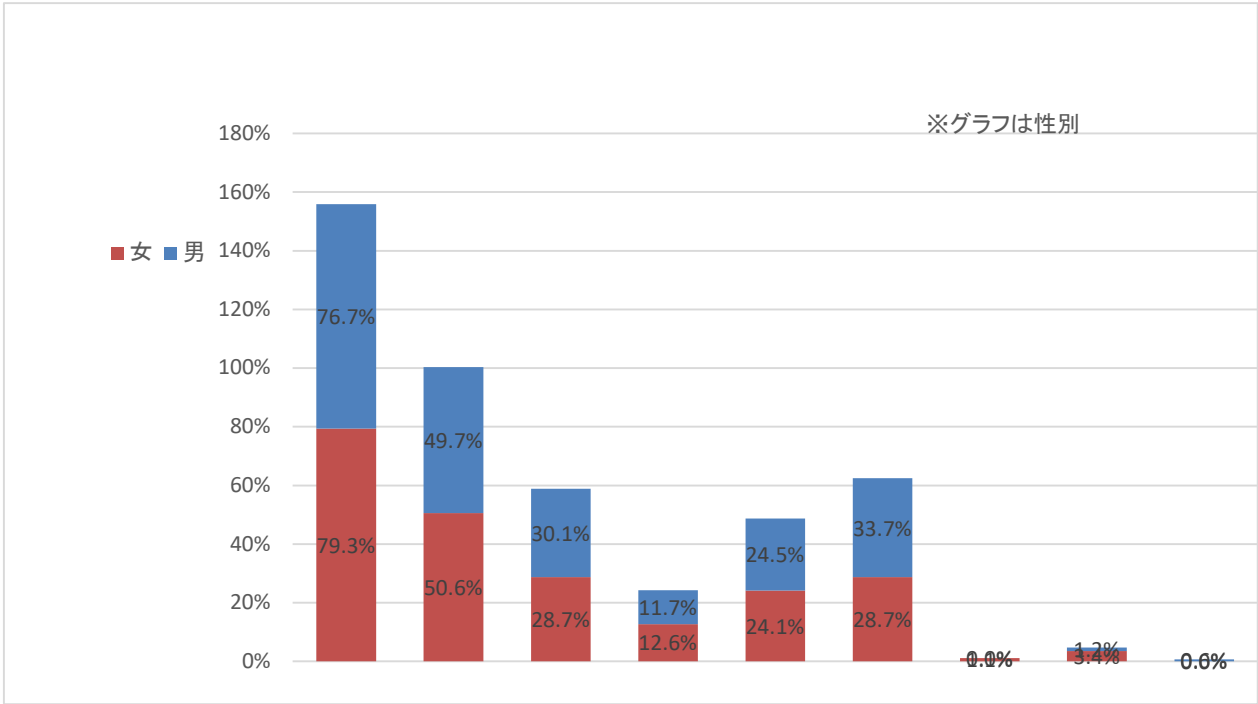


		有効回答者数	あなたはクラブ活動に参加していますか		
			加一つのクラブ活動に参加	加複数のクラブ活動に参加	参加していない
全体		300	161	89	50
			53.7%	29.7%	16.7%
性別	男	202	103	60	39
			51.0%	29.7%	19.3%
	女	98	58	29	11
			59.2%	29.6%	11.2%
学年別	2年	116	67	28	21
			57.8%	24.1%	18.1%
	4年	115	57	42	16
			49.6%	36.5%	13.9%
	6年	69	37	19	13
			53.6%	27.5%	18.8%

17. クラブ活動参加きっかけ（複数回答） - 性別 -

クラブ活動参加のきっかけは「活動内容が好きまたは興味がある」が最多。「交友関係を広げるため」も半数。

クラブ活動に参加したきっかけとしては77.6%が「活動内容が好きまたは興味がある」を、50.0%が「交友関係を広げるため」を挙げています。

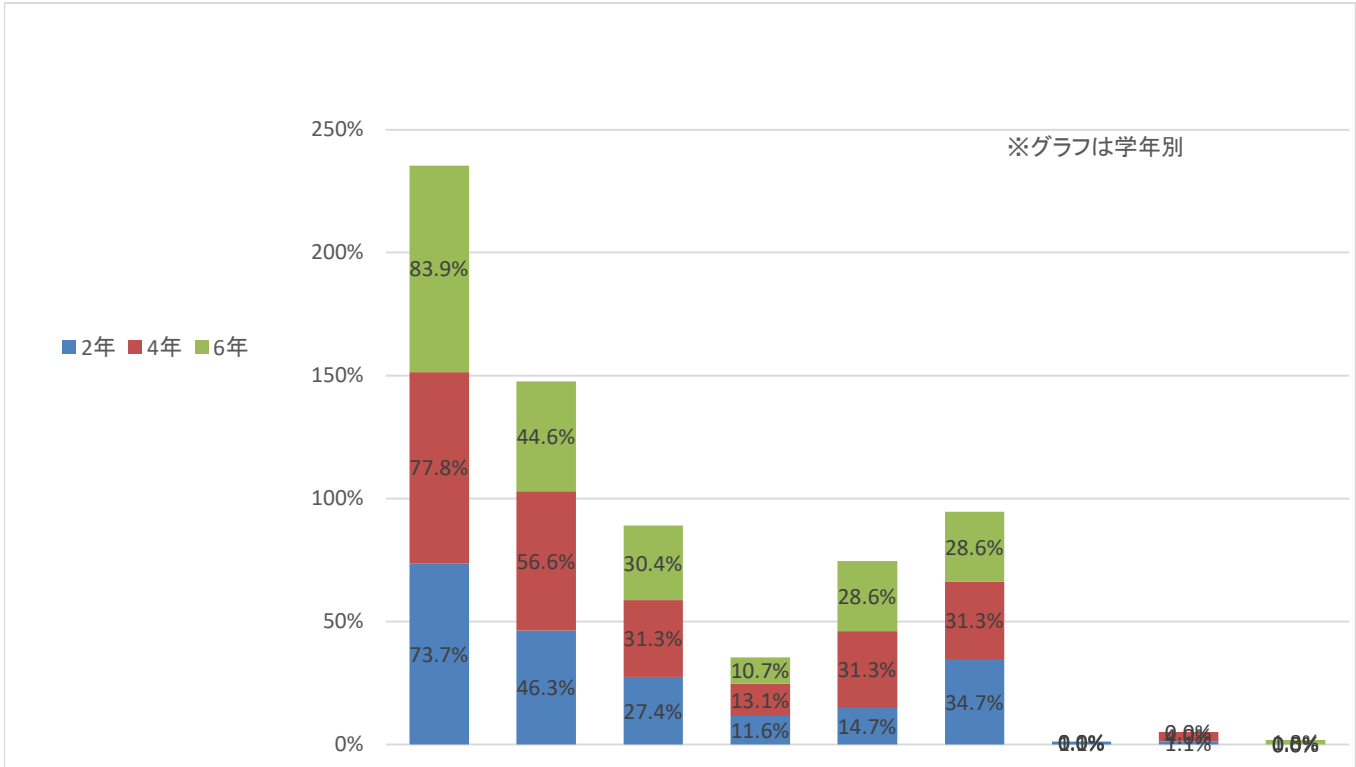


		有効回答者数	あなたがクラブ活動に参加した理由やきっかけは何ですか								
			活動内容が好きまたは興味がある	交友関係を広げるため	友人を得るため	誘われて何となく	上教養・知識、技術の向上	健康のため	社会貢献	免許・資格取得のため	その他
全体		250	194	125	74	30	61	80	1	5	1
			77.6%	50.0%	29.6%	12.0%	24.4%	32.0%	0.4%	2.0%	0.4%
性別	男	163	125	81	49	19	40	55	0	2	1
			76.7%	49.7%	30.1%	11.7%	24.5%	33.7%	0.0%	1.2%	0.6%
	女	87	69	44	25	11	21	25	1	3	0
			79.3%	50.6%	28.7%	12.6%	24.1%	28.7%	1.1%	3.4%	0.0%
学年別	2年	95	70	44	26	11	14	33	1	1	0
			73.7%	46.3%	27.4%	11.6%	14.7%	34.7%	1.1%	1.1%	0.0%
	4年	99	77	56	31	13	31	31	0	4	0
			77.8%	56.6%	31.3%	13.1%	31.3%	31.3%	0.0%	4.0%	0.0%
	6年	56	47	25	17	6	16	16	0	0	1
			83.9%	44.6%	30.4%	10.7%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	1.8%

17. クラブ活動参加きっかけ（複数回答） - 学年別 -

クラブ活動参加の理由は学年により大きな差は見られない。

参加の理由は昨年までと同様、学年により大きな差はみられません。クラブ活動の実態がこの数年で大きく変化していないことを反映しているものと思われます。



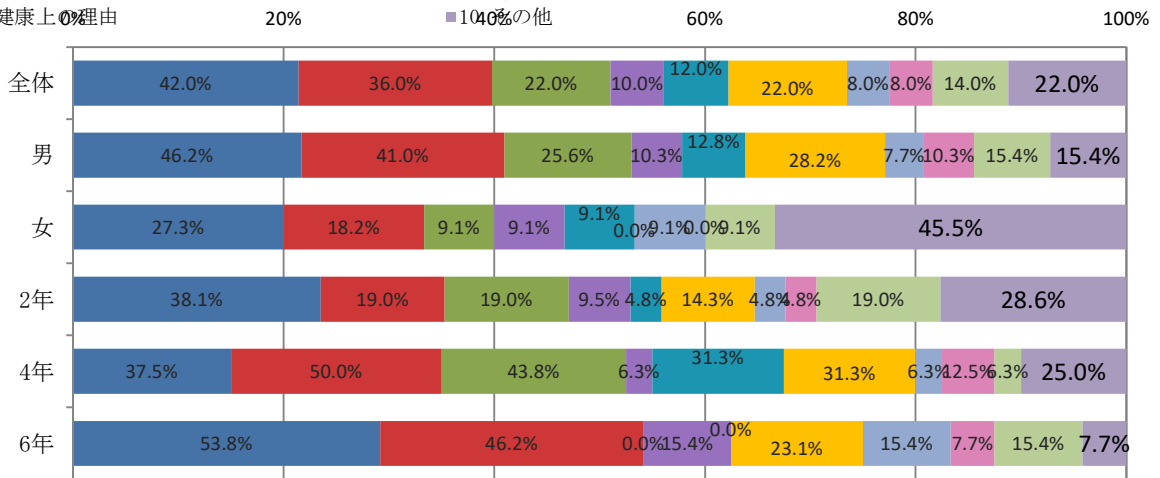
		有効回答者数	あなたがクラブ活動に参加した理由やきっかけは何ですか									
			興味がある	交友関係を広げるため	友人を得るため	誘われて何となく	上教養・知識、技術の向上	健康のため	社会貢献	免許・資格取得のため	その他	
※クラブ参加者のみ回答												
全体		250	194	125	74	30	61	80	1	5	1	
			77.6%	50.0%	29.6%	12.0%	24.4%	32.0%	0.4%	2.0%	0.4%	
性別	男	163	125	81	49	19	40	55	0	2	1	
			76.7%	49.7%	30.1%	11.7%	24.5%	33.7%	0.0%	1.2%	0.6%	
	女	87	69	44	25	11	21	25	1	3	0	
			79.3%	50.6%	28.7%	12.6%	24.1%	28.7%	1.1%	3.4%	0.0%	
学年別	2年	95	70	44	26	11	14	33	1	1	0	
			73.7%	46.3%	27.4%	11.6%	14.7%	34.7%	1.1%	1.1%	0.0%	
	4年	99	77	56	31	13	31	31	0	4	0	
			77.8%	56.6%	31.3%	13.1%	31.3%	31.3%	0.0%	4.0%	0.0%	
	6年	56	47	25	17	6	16	16	0	0	1	
			83.9%	44.6%	30.4%	10.7%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	1.8%	

18. クラブ活動参加しない理由

クラブ活動不参加の理由はさまざま。

クラブ活動不参加学生の理由はさまざまですが、「勉学の妨げになる」との回答が全体の42.0%、「拘束されたくない」が36.0%でした。

- 1 勉学の妨げになる
- 2 拘束されたくない
- 3 自分の関心に合うものがない
- 4 アルバイトや通学等で時間がない
- 5 対人関係が面倒
- 6 経済的な負担が大きい
- 7 活動を行う施設・設備がない
- 8 練習が苦痛
- 9 健康上の理由
- 10 その他



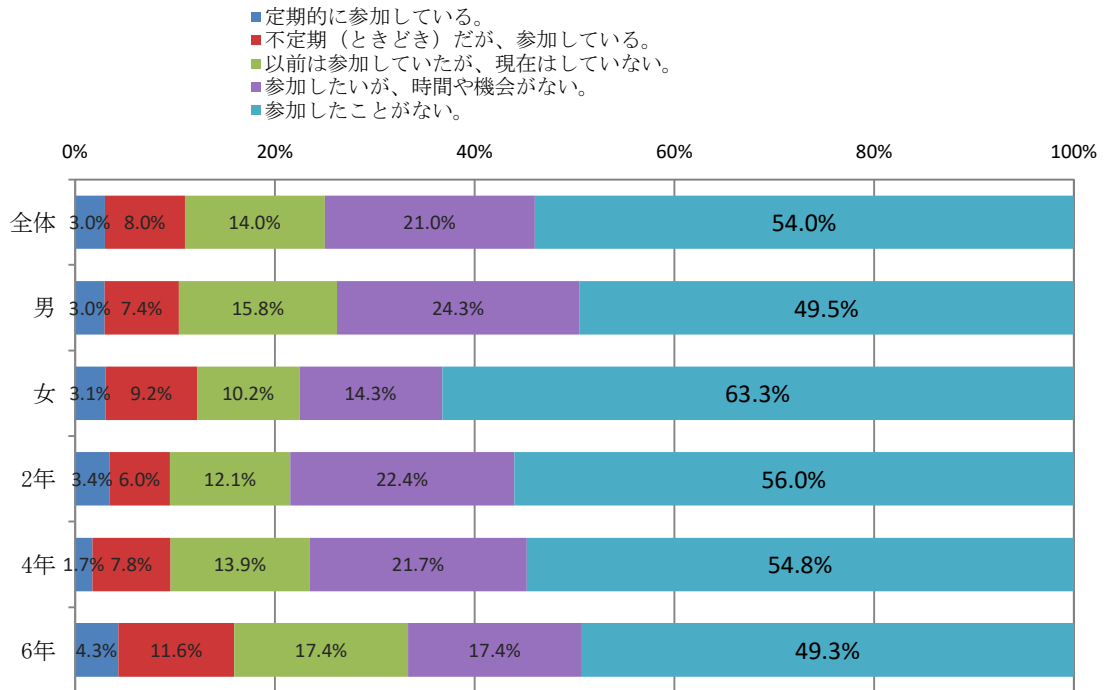
		有効回答者数	クラブ活動に参加しない主な理由									
			勉学の妨げになる	拘束されたくない	自分の関心に合うものがない	アルバイトや通学等で時間がない	対人関係が面倒	経済的な負担が大きい	活動を行う施設・設備がない	練習が苦痛	健康上の理由	その他
全体		50	21	18	11	5	6	11	4	4	7	11
		42.0%	36.0%	22.0%	10.0%	12.0%	22.0%	8.0%	8.0%	14.0%	22.0%	
性別	男	39	18	16	10	4	5	11	3	4	6	6
		46.2%	41.0%	25.6%	10.3%	12.8%	28.2%	7.7%	10.3%	15.4%	15.4%	
性別	女	11	3	2	1	1	1	0	1	0	1	5
		27.3%	18.2%	9.1%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	9.1%	45.5%	
学年別	2年	21	8	4	4	2	1	3	1	1	4	6
		38.1%	19.0%	19.0%	9.5%	4.8%	14.3%	4.8%	4.8%	19.0%	28.6%	
	4年	16	6	8	7	1	5	5	1	2	1	4
		37.5%	50.0%	43.8%	6.3%	31.3%	31.3%	6.3%	12.5%	6.3%	25.0%	
6年	13	7	6	0	2	0	3	2	1	2	1	
	53.8%	46.2%	0.0%	15.4%	0.0%	23.1%	15.4%	7.7%	15.4%	7.7%		

※クラブ不参加者のみ回答

19. ボランティア活動参加有無

ボランティア活動の参加者は11.0%。

ボランティア活動を現在行っている学生は全体の11.0%で、参加経験のある学生まで含めても全体の25.0%にすぎず、昨年までと傾向は変化していません。活動するチャンスと時間の提供、ボランティア精神の涵養が課題です。

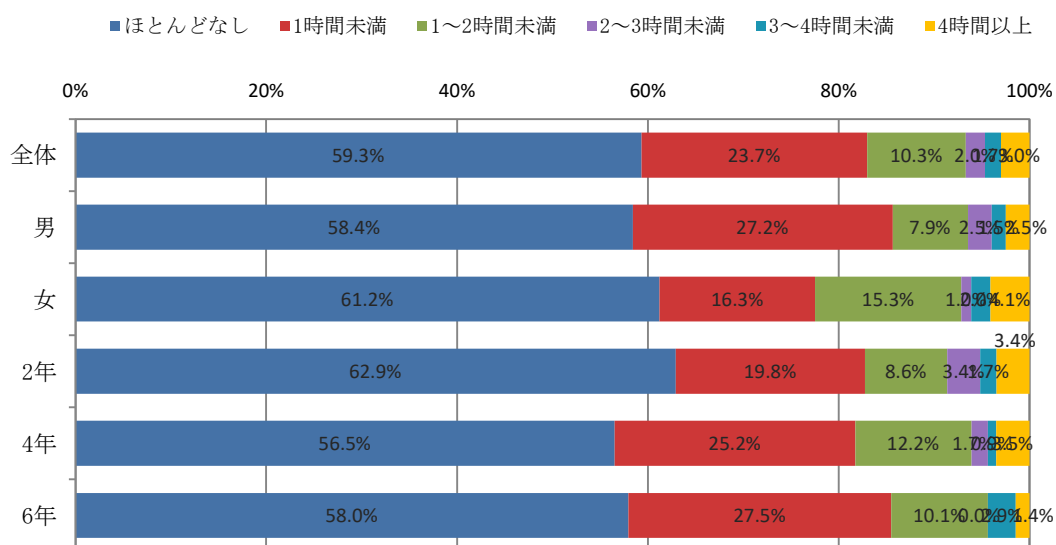


		有効回答者数	ボランティア活動をしたことがありますか				
			定期的に 参加してい る	不定期 (ときどき) だが、参 加してい る	以前は 参加して いたが、 現在は 参加して いない	参加 したい が、時 間や 機会 がない	参加 した こと がない
全体		300	9	24	42	63	162
			3.0%	8.0%	14.0%	21.0%	54.0%
性別	男	202	6	15	32	49	100
			3.0%	7.4%	15.8%	24.3%	49.5%
学年別	女	98	3	9	10	14	62
			3.1%	9.2%	10.2%	14.3%	63.3%
	2年	116	4	7	14	26	65
			3.4%	6.0%	12.1%	22.4%	56.0%
	4年	115	2	9	16	25	63
			1.7%	7.8%	13.9%	21.7%	54.8%
	6年	69	3	8	12	12	34
			4.3%	11.6%	17.4%	17.4%	49.3%

20. 予習時間

全体の59.3%が予習時間は「ほとんどなし」。

全体の59.3%が予習時間は「ほとんどなし」と回答しており、1時間以上の回答は17.0%に過ぎません。

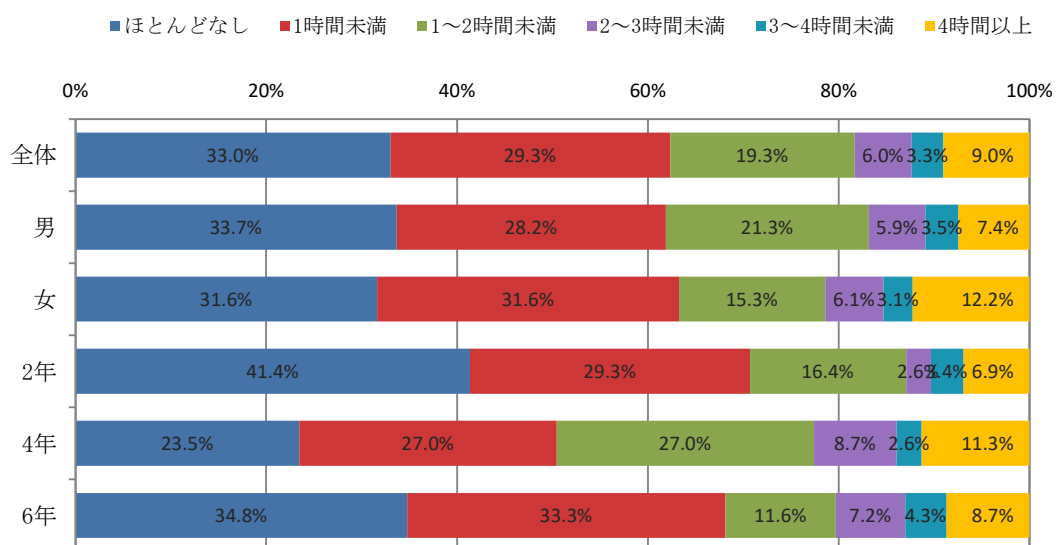


		有効回答者数	設問内容					
			ほとんどなし	1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3～4時間未満	4時間以上
従属								
全体		300	178	71	31	6	5	9
			59.3%	23.7%	10.3%	2.0%	1.7%	3.0%
性別	男	202	118	55	16	5	3	5
			58.4%	27.2%	7.9%	2.5%	1.5%	2.5%
	女	98	60	16	15	1	2	4
			61.2%	16.3%	15.3%	1.0%	2.0%	4.1%
学年別	2年	116	73	23	10	4	2	4
			62.9%	19.8%	8.6%	3.4%	1.7%	3.4%
	4年	115	65	29	14	2	1	4
			56.5%	25.2%	12.2%	1.7%	0.9%	3.5%
	6年	69	40	19	7	0	2	1
			58.0%	27.5%	10.1%	0.0%	2.9%	1.4%

21. 復習時間

予習時間よりも復習時間が長い。

復習時間は予習時間よりも長い傾向にありますが、それでも復習の時間が1時間以上との回答は全体の37.7%です。講義・実習に対しては予習や復習に時間をかけていない学修スタイルが読み取れますが、一方でオンライン教材でCBTや国家試験の勉強をする学生も多く、そうした学修時間が今回の調査では反映されないため自己学修時間が過小評価されているとも考えられます。

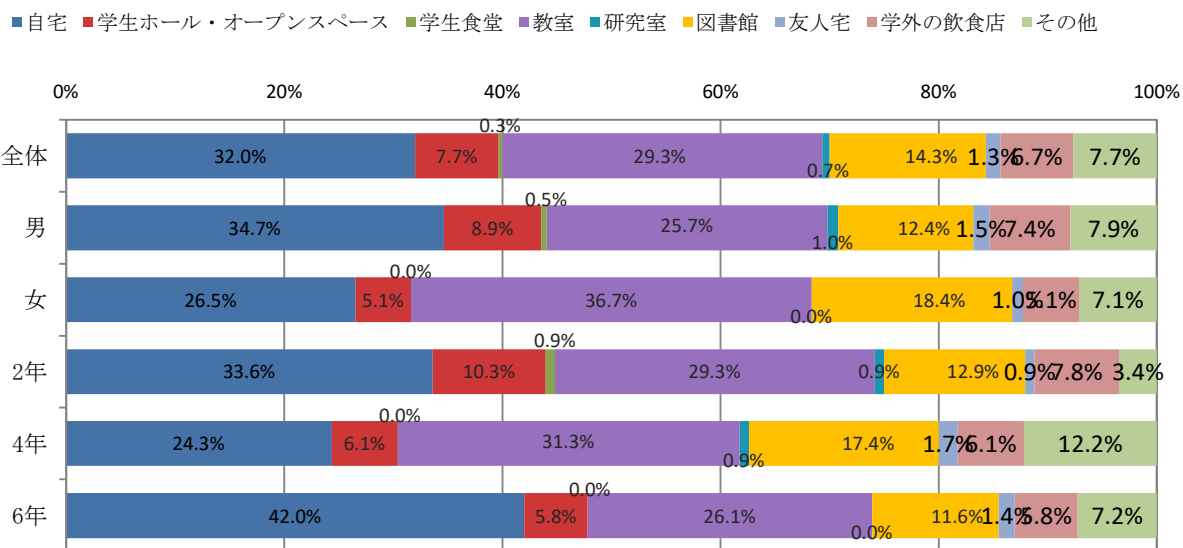


従属		有効回答者数	設問内容					
			ほとんどなし	1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3～4時間未満	4時間以上
全体		300	99	88	58	18	10	27
			33.0%	29.3%	19.3%	6.0%	3.3%	9.0%
性別	男	202	68	57	43	12	7	15
			33.7%	28.2%	21.3%	5.9%	3.5%	7.4%
	女	98	31	31	15	6	3	12
			31.6%	31.6%	15.3%	6.1%	3.1%	12.2%
学年別	2年	116	48	34	19	3	4	8
			41.4%	29.3%	16.4%	2.6%	3.4%	6.9%
	4年	115	27	31	31	10	3	13
			23.5%	27.0%	27.0%	8.7%	2.6%	11.3%
	6年	69	24	23	8	5	3	6
			34.8%	33.3%	11.6%	7.2%	4.3%	8.7%

22. 自主学修場所

52.3%の学生が学内で自主学修。

自主学修の場所として自宅と回答したのは全体の32.0%で、昨年度の33.7%と大きな変化はありません。学生ホール・オープンスペース・学生食堂・図書館を挙げた学生が全体の52.3%で、半数以上の学生が学内を自主学修場所としています。

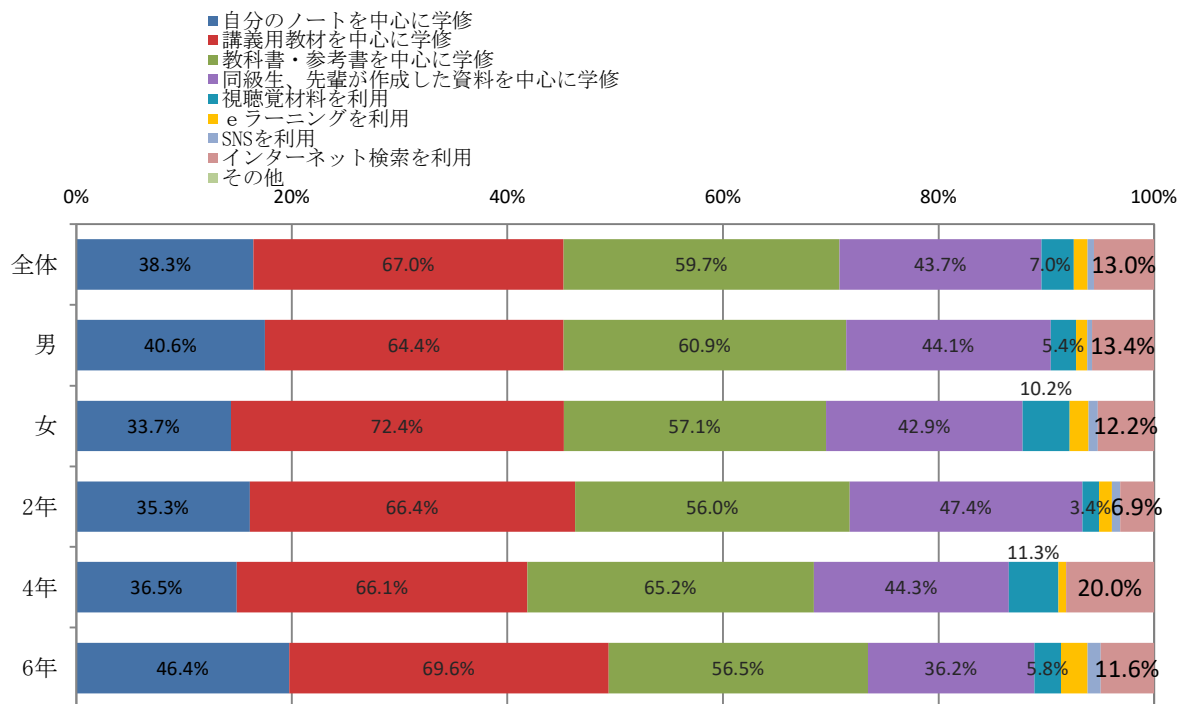


		有効回答者数	自主学修をする場所について学修することが最も多い場所はどこですか								
			自宅	学生ホール・オープンスペース	学生食堂	教室	研究室	図書館	友人宅	学外の飲食店	その他
全体		300	96	23	1	88	2	43	4	20	23
			32.0%	7.7%	0.3%	29.3%	0.7%	14.3%	1.3%	6.7%	7.7%
性別	男	202	70	18	1	52	2	25	3	15	16
			34.7%	8.9%	0.5%	25.7%	1.0%	12.4%	1.5%	7.4%	7.9%
	女	98	26	5	0	36	0	18	1	5	7
			26.5%	5.1%	0.0%	36.7%	0.0%	18.4%	1.0%	5.1%	7.1%
学年別	2年	116	39	12	1	34	1	15	1	9	4
			33.6%	10.3%	0.9%	29.3%	0.9%	12.9%	0.9%	7.8%	3.4%
	4年	115	28	7	0	36	1	20	2	7	14
			24.3%	6.1%	0.0%	31.3%	0.9%	17.4%	1.7%	6.1%	12.2%
6年	69	29	4	0	18	0	8	1	4	5	
		42.0%	5.8%	0.0%	26.1%	0.0%	11.6%	1.4%	5.8%	7.2%	

23. 自主学修方法

同級生・先輩の作成資料を使用する学生が43.7%。

自分のノートを中心に学修すると回答した学生が38.3%でしたが、同級生、先輩が作成した資料を中心に学修すると回答した学生が43.7%いました。

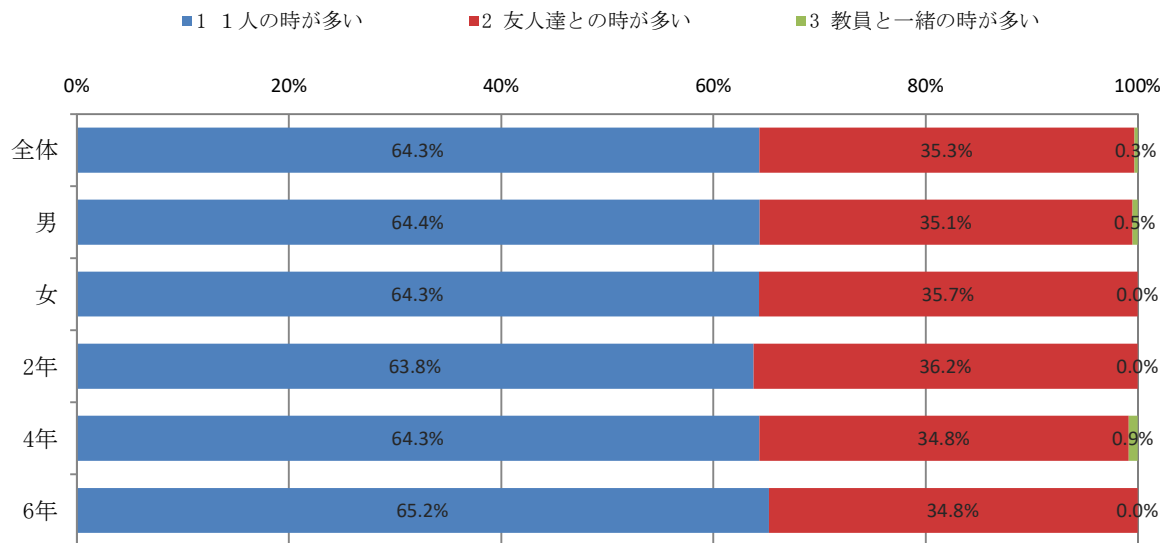


		有効回答者数	自主学修の方法について最もよく行う学修方法は何ですか								
			自分のノートを中心に学修	講義用教材を中心に学修	教科書・参考書を中心に学修	同級生、先輩が作成した資料を中心に学修	視聴覚材料を利用	eラーニングを利用	SNSを利用	インターネット検索を利用	その他
全体	300	115	201	179	131	21	9	4	39	0	
		38.3%	67.0%	59.7%	43.7%	7.0%	3.0%	1.3%	13.0%	0.0%	
性別	男	202	82	130	123	89	11	5	2	27	0
			40.6%	64.4%	60.9%	44.1%	5.4%	2.5%	1.0%	13.4%	0.0%
性別	女	98	33	71	56	42	10	4	2	12	0
			33.7%	72.4%	57.1%	42.9%	10.2%	4.1%	2.0%	12.2%	0.0%
学年別	2年	116	41	77	65	55	4	3	2	8	0
			35.3%	66.4%	56.0%	47.4%	3.4%	2.6%	1.7%	6.9%	0.0%
	4年	115	42	76	75	51	13	2	0	23	0
			36.5%	66.1%	65.2%	44.3%	11.3%	1.7%	0.0%	20.0%	0.0%
6年	69	32	48	39	25	4	4	2	8	0	
		46.4%	69.6%	56.5%	36.2%	5.8%	5.8%	2.9%	11.6%	0.0%	

24. 誰と自主学修

64.3%の学生がひとりで学修している。

主にひとりで学修する学生は全体の64.3%で、学年ごとの差はほとんどありません。

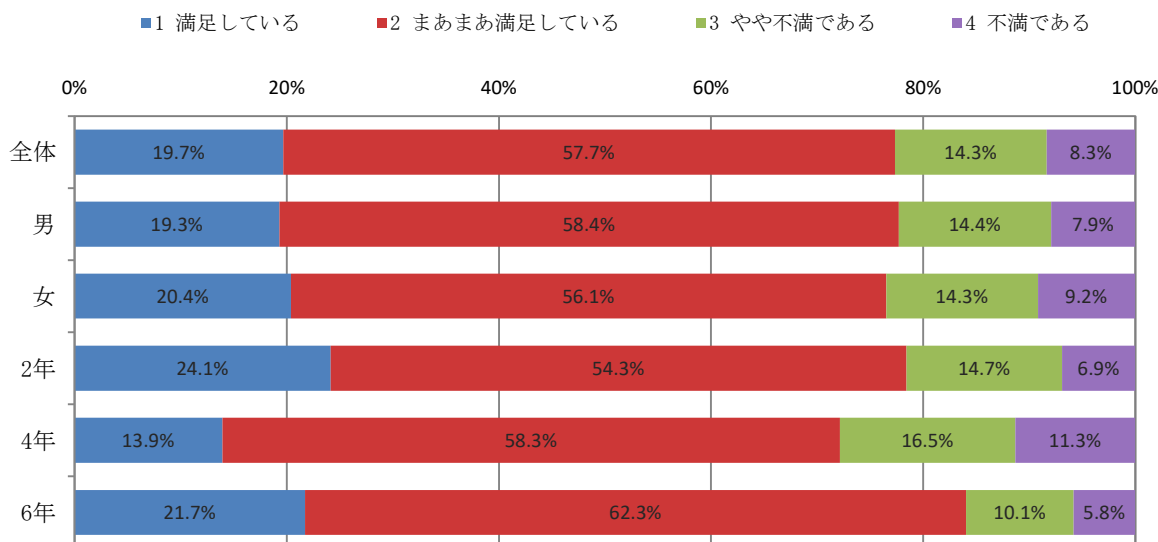


		有効回答者数	誰と一緒に学修していますか		
			1 人の時が多い	友人達との時が多い	教員と一緒に時が多い
全体		300	193	106	1
			64.3%	35.3%	0.3%
性別	男	202	130	71	1
			64.4%	35.1%	0.5%
	女	98	63	35	0
			64.3%	35.7%	0.0%
学年別	2年	116	74	42	0
			63.8%	36.2%	0.0%
	4年	115	74	40	1
			64.3%	34.8%	0.9%
	6年	69	45	24	0
			65.2%	34.8%	0.0%

25. 講義実習満足度

77.4%の学生が講義・実習に満足。

全体、学年別のいずれでも講義・実習に満足している・まあまあ満足していると回答した学生が7割を超え、全体として満足度は向上しています（77.4%、一昨年度61.8%、昨年度70.7%）。

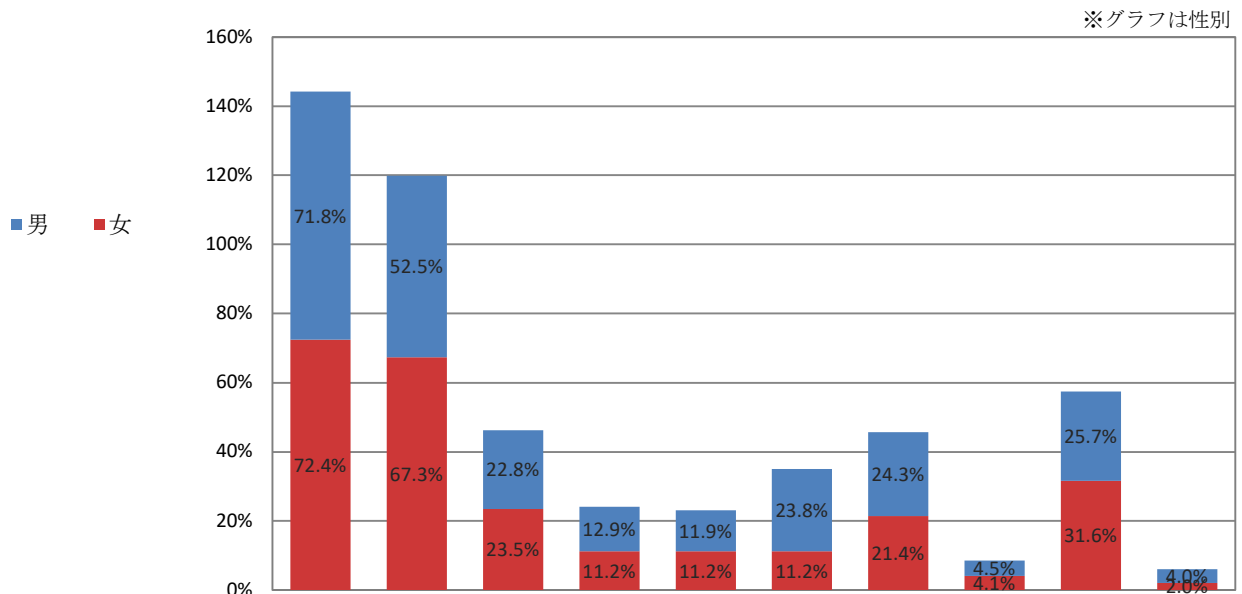


		有効回答者数	講義・実習には満足していますか			
			満足している	まあまあ満足している	やや不満である	不満である
全体		300	59	173	43	25
			19.7%	57.7%	14.3%	8.3%
性別	男	202	39	118	29	16
			19.3%	58.4%	14.4%	7.9%
学年別	女	98	20	55	14	9
			20.4%	56.1%	14.3%	9.2%
	2年	116	28	63	17	8
			24.1%	54.3%	14.7%	6.9%
	4年	115	16	67	19	13
			13.9%	58.3%	16.5%	11.3%
	6年	69	15	43	7	4
			21.7%	62.3%	10.1%	5.8%

26. 教育制度不十分点（複数回答3つ） - 性別 -

教育で不十分な点はカリキュラムと教務情報に回答が集中。

教育面・制度面で不十分と感じる点については、昨年度までと同様カリキュラムと教務情報に回答が集中していました。自由記載と合わせて解析すると、カリキュラムについては詰め込みすぎ・無駄が多い・試験が厳しい、という意見に集約されます。昨今の医学教育に求められる膨大で多様な内容を考えると致し方ないところですが、改善の余地がないか見直しが必要です。教務情報については試験結果・成績の開示方法が挙がっています。27.7%の回答があったクラブ活動等については、設備や部室などの面で指摘がありました。

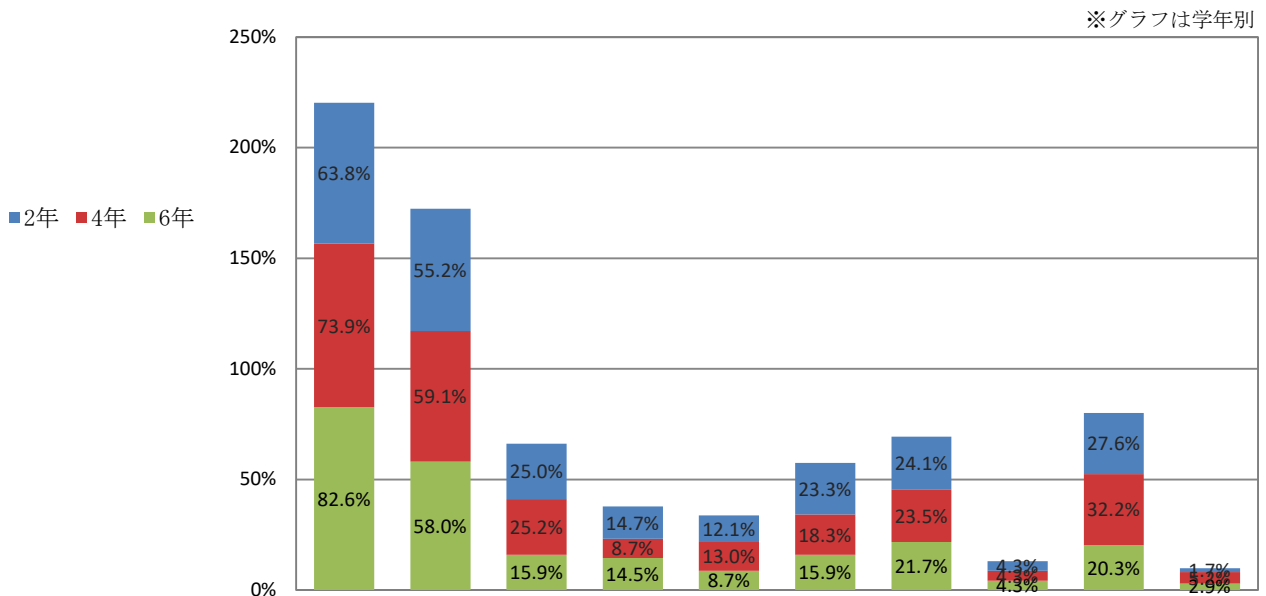


		有効回答者数	教育面や制度面で不十分であると感じることはどのようなことですか											
			カリキュラム	の授業・試験・成績など	資格取得講座（対策授業）	就職支援・進路相談、	額	奨学金制度の新設や増	他学・海外との交流	留学制度・海外研修プログラム	学生会）	学生自治活動（学友支援	クラブ活動・ボラン	活動支援
全体		300	216	172	69	37	35	59	70	13	83	10		
			72.0%	57.3%	23.0%	12.3%	11.7%	19.7%	23.3%	4.3%	27.7%	3.3%		
性別	男	202	145	106	46	26	24	48	49	9	52	8		
			71.8%	52.5%	22.8%	12.9%	11.9%	23.8%	24.3%	4.5%	25.7%	4.0%		
	女	98	71	66	23	11	11	11	21	4	31	2		
			72.4%	67.3%	23.5%	11.2%	11.2%	11.2%	21.4%	4.1%	31.6%	2.0%		
学年別	2年	116	74	64	29	17	14	27	28	5	32	2		
			63.8%	55.2%	25.0%	14.7%	12.1%	23.3%	24.1%	4.3%	27.6%	1.7%		
	4年	115	85	68	29	10	15	21	27	5	37	6		
			73.9%	59.1%	25.2%	8.7%	13.0%	18.3%	23.5%	4.3%	32.2%	5.2%		
	6年	69	57	40	11	10	6	11	15	3	14	2		
			82.6%	58.0%	15.9%	14.5%	8.7%	15.9%	21.7%	4.3%	20.3%	2.9%		

26. 教育制度不十分点（複数回答3つ） - 学年別 -

学年によらずカリキュラムと教務情報に不十分な点があるとの回答。

教育制度の不十分な点としては、調査した各学年でカリキュラムと教務情報に回答が集中していました。

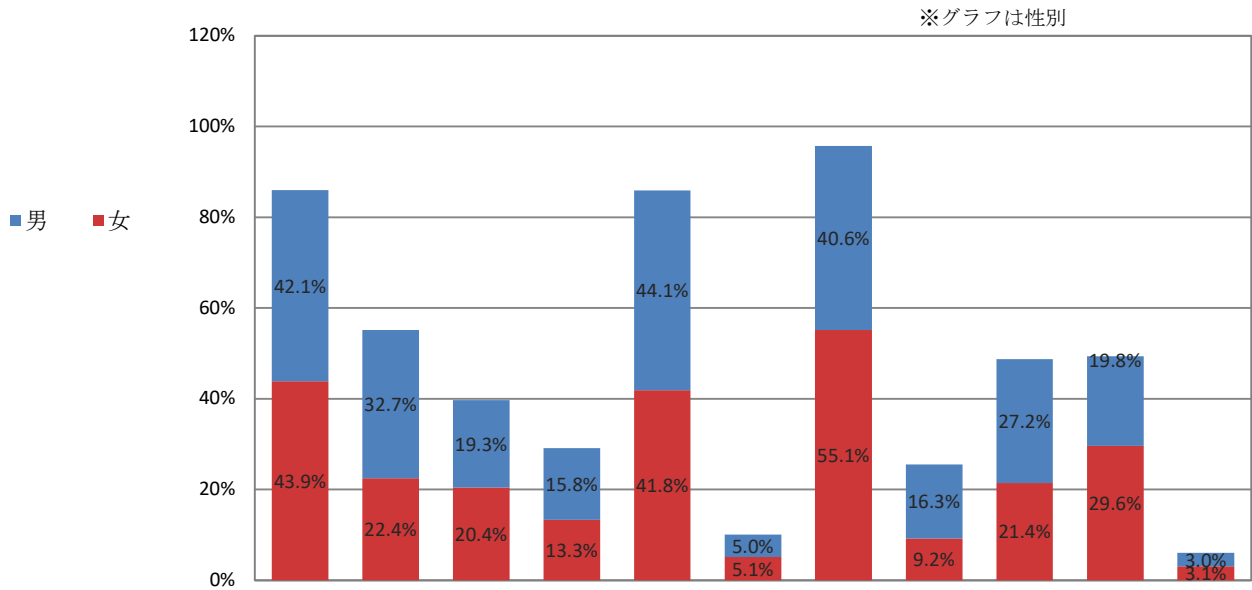


		有効回答者数	教育面や制度面で不十分であると感じることはどのようなことですか									
			カリキュラム	の授業・試験・成績などの教務情報	資格取得講座（対策授業）	就職支援・進路相談	奨学金制度の新設や増額	他学・海外との交流	留学制度・海外研修プログラム	学生会社）学生自治活動（学友支援）	テクラブ活動・ボランティア活動支援	その他
全体		300	216	172	69	37	35	59	70	13	83	10
			72.0%	57.3%	23.0%	12.3%	11.7%	19.7%	23.3%	4.3%	27.7%	3.3%
性別	男	202	145	106	46	26	24	48	49	9	52	8
			71.8%	52.5%	22.8%	12.9%	11.9%	23.8%	24.3%	4.5%	25.7%	4.0%
	女	98	71	66	23	11	11	11	21	4	31	2
			72.4%	67.3%	23.5%	11.2%	11.2%	11.2%	21.4%	4.1%	31.6%	2.0%
学年別	2年	116	74	64	29	17	14	27	28	5	32	2
			63.8%	55.2%	25.0%	14.7%	12.1%	23.3%	24.1%	4.3%	27.6%	1.7%
	4年	115	85	68	29	10	15	21	27	5	37	6
			73.9%	59.1%	25.2%	8.7%	13.0%	18.3%	23.5%	4.3%	32.2%	5.2%
	6年	69	57	40	11	10	6	11	15	3	14	2
			82.6%	58.0%	15.9%	14.5%	8.7%	15.9%	21.7%	4.3%	20.3%	2.9%

27. キャンパス設備改善要望点(複数回答3つ)- 性別 -

設備改善の要望では駐車場が最も多い。

設備の充実を求める点では、駐車場が最も多い結果となり、これは昨年までと傾向は変わりませんが、ついで食堂、教室・実習室が挙がっており、学修環境の整備・学生生活の改善の両面から対策が必要です。詳細を精査した上で充実・改善が求められます。

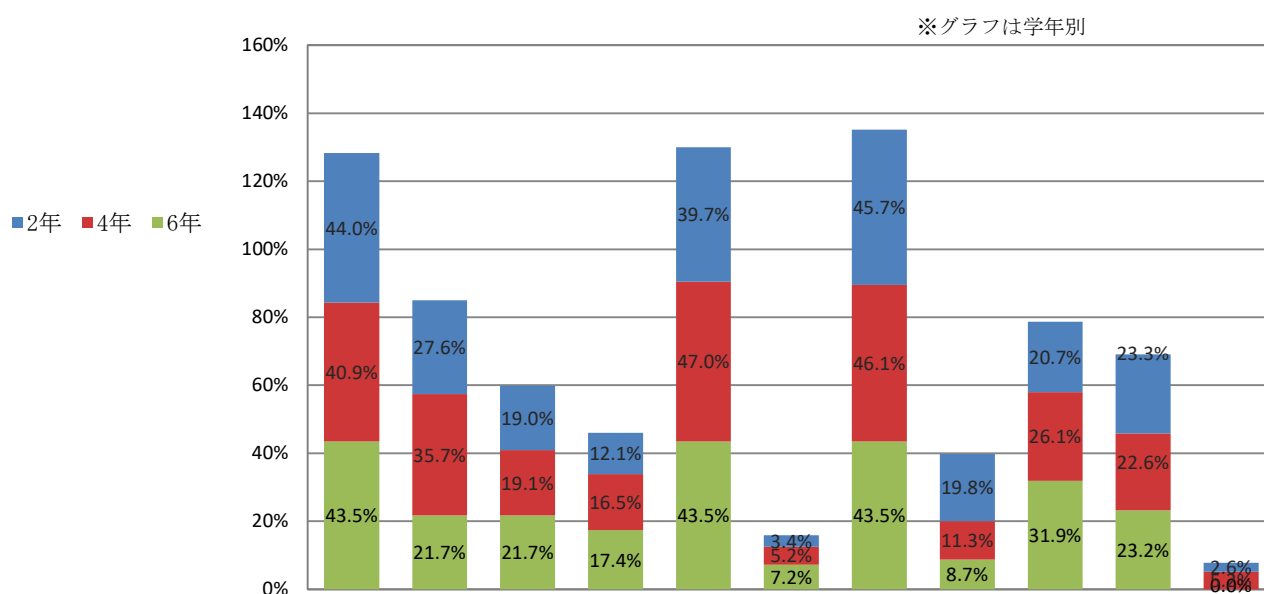


		有効回答者数	キャンパス内の施設等で、特に整備・充実して欲しいのはどれですか										
			教室・実習室	図書館	PC教室など情報系教	体育館等スポーツ施設	食堂	駐輪場	駐車場	学生ホール・ラウンジ	インターネット環境	クラブ活動の設備・施設	その他
全体		300	128	88	59	45	130	15	136	42	76	69	9
			42.7%	29.3%	19.7%	15.0%	43.3%	5.0%	45.3%	14.0%	25.3%	23.0%	3.0%
性別	男	202	85	66	39	32	89	10	82	33	55	40	6
			42.1%	32.7%	19.3%	15.8%	44.1%	5.0%	40.6%	16.3%	27.2%	19.8%	3.0%
	女	98	43	22	20	13	41	5	54	9	21	29	3
			43.9%	22.4%	20.4%	13.3%	41.8%	5.1%	55.1%	9.2%	21.4%	29.6%	3.1%
学年別	2年	116	51	32	22	14	46	4	53	23	24	27	3
			44.0%	27.6%	19.0%	12.1%	39.7%	3.4%	45.7%	19.8%	20.7%	23.3%	2.6%
	4年	115	47	41	22	19	54	6	53	13	30	26	6
			40.9%	35.7%	19.1%	16.5%	47.0%	5.2%	46.1%	11.3%	26.1%	22.6%	5.2%
	6年	69	30	15	15	12	30	5	30	6	22	16	0
			43.5%	21.7%	21.7%	17.4%	43.5%	7.2%	43.5%	8.7%	31.9%	23.2%	0.0%

27. キャンパス設備改善要望点（複数回答3つ） - 学年別 -

設備改善の要望で学年の大きな差はみられない。

改善要望は学年による大きな差はみられず、学年によらない共通の項目であることが窺えます。

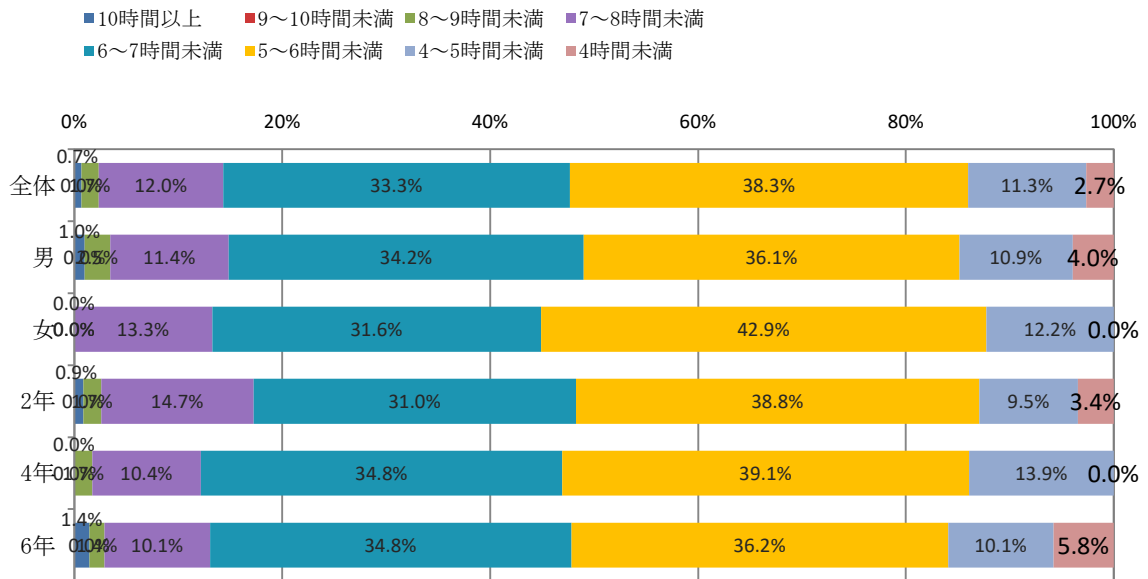


		有効回答者数	0										
			教室・実習室	図書館	室 P C 教室など情報系教	体育館等スポーツ施設	食堂	駐輪場	駐車場	学生ホール・ラウンジ	インターネット環境	設 クラブ活動の設備・施	その他(具体的に記述)
全体	300	128	88	59	45	130	15	136	42	76	69	9	
		42.7%	29.3%	19.7%	15.0%	43.3%	5.0%	45.3%	14.0%	25.3%	23.0%	3.0%	
性別	男	202	85	66	39	32	89	10	82	33	55	40	6
			42.1%	32.7%	19.3%	15.8%	44.1%	5.0%	40.6%	16.3%	27.2%	19.8%	3.0%
性別	女	98	43	22	20	13	41	5	54	9	21	29	3
			43.9%	22.4%	20.4%	13.3%	41.8%	5.1%	55.1%	9.2%	21.4%	29.6%	3.1%
学年別	2年	116	51	32	22	14	46	4	53	23	24	27	3
			44.0%	27.6%	19.0%	12.1%	39.7%	3.4%	45.7%	19.8%	20.7%	23.3%	2.6%
	4年	115	47	41	22	19	54	6	53	13	30	26	6
40.9%			35.7%	19.1%	16.5%	47.0%	5.2%	46.1%	11.3%	26.1%	22.6%	5.2%	
6年	69	30	15	15	12	30	5	30	6	22	16	0	
		43.5%	21.7%	21.7%	17.4%	43.5%	7.2%	43.5%	8.7%	31.9%	23.2%	0.0%	

28. 睡眠時間

睡眠時間は6時間前後が多数。

睡眠時間は5～6時間との回答が38.3%、6～7時間との回答が33.3%でした。一方で少数ながら10時間以上、もしくは4時間以下との回答も散見され、学生指導の際に注意すべき一項目と考えられます。

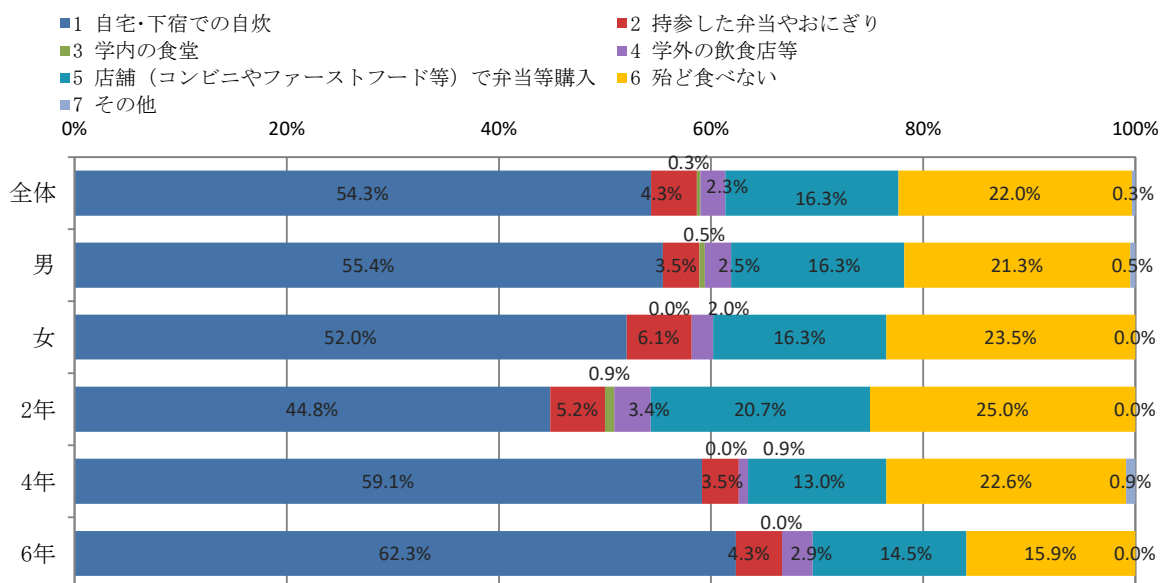


		有効回答者数	平均睡眠時間はどれくらいですか							
			10時間以上	9～10時間未満	8～9時間未満	7～8時間未満	6～7時間未満	5～6時間未満	4～5時間未満	4時間未満
全体	300	2	0	5	36	100	115	34	8	
		0.7%	0.0%	1.7%	12.0%	33.3%	38.3%	11.3%	2.7%	
性別	男	202	2	0	5	23	69	73	22	8
			1.0%	0.0%	2.5%	11.4%	34.2%	36.1%	10.9%	4.0%
	女	98	0	0	0	13	31	42	12	0
			0.0%	0.0%	0.0%	13.3%	31.6%	42.9%	12.2%	0.0%
学年別	2年	116	1	0	2	17	36	45	11	4
			0.9%	0.0%	1.7%	14.7%	31.0%	38.8%	9.5%	3.4%
			4年	115	0	0	2	12	40	45
0.0%	0.0%	1.7%			10.4%	34.8%	39.1%	13.9%	0.0%	
	6年	69	1	0	1	7	24	25	7	4
			1.4%	0.0%	1.4%	10.1%	34.8%	36.2%	10.1%	5.8%

29-1. 食事について…朝食

朝食をとらない学生が全体の22.0%。

朝食については全体の54.3%が自宅・下宿での自炊と回答しており、昨年度の46.3%から微増となっている一方、2割以上の学生が朝食を食べないと回答しています。

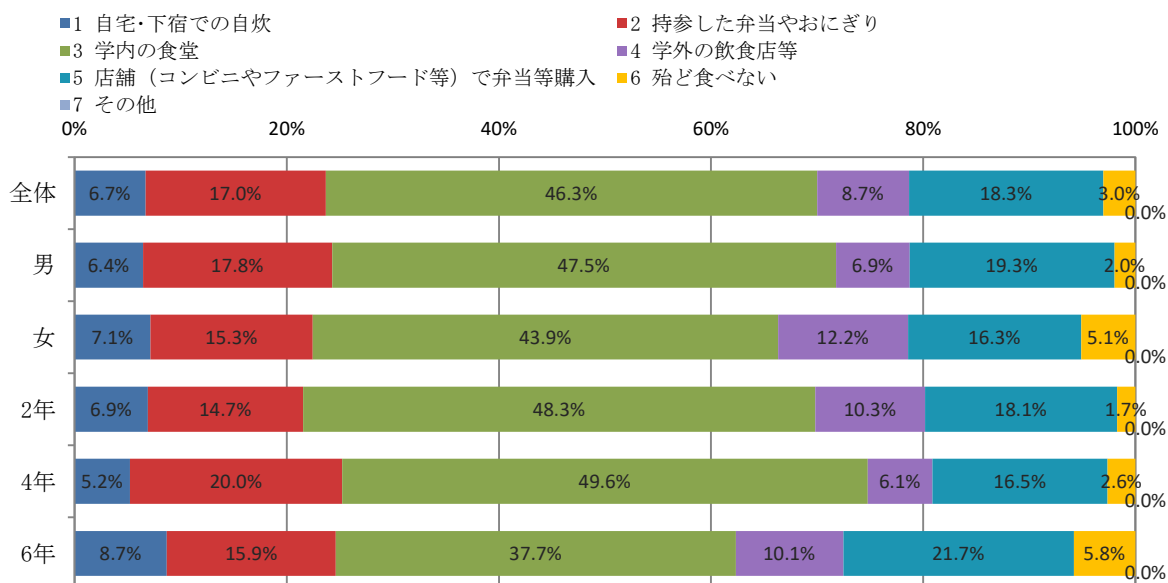


		有効回答者数	食事は主にどのようにして摂っていますか…朝食						
			自宅・下宿での自炊	持参した弁当やおにぎり	学内の食堂	学外の飲食店等	店舗 (コンビニやファーストフード等) で弁当等購入	殆ど食べない	その他
全体		300	163	13	1	7	49	66	1
			54.3%	4.3%	0.3%	2.3%	16.3%	22.0%	0.3%
性別	男	202	112	7	1	5	33	43	1
			55.4%	3.5%	0.5%	2.5%	16.3%	21.3%	0.5%
性別	女	98	51	6	0	2	16	23	0
			52.0%	6.1%	0.0%	2.0%	16.3%	23.5%	0.0%
学年別	2年	116	52	6	1	4	24	29	0
			44.8%	5.2%	0.9%	3.4%	20.7%	25.0%	0.0%
	4年	115	68	4	0	1	15	26	1
			59.1%	3.5%	0.0%	0.9%	13.0%	22.6%	0.9%
学年別	6年	69	43	3	0	2	10	11	0
			62.3%	4.3%	0.0%	2.9%	14.5%	15.9%	0.0%

29-2. 食事について…昼食

学内の食堂で昼食をとる学生が46.3%。

全体の46.3%の学生が昼食を学内の食堂でとると回答しており、昨年度の43.3%から微増となっています。

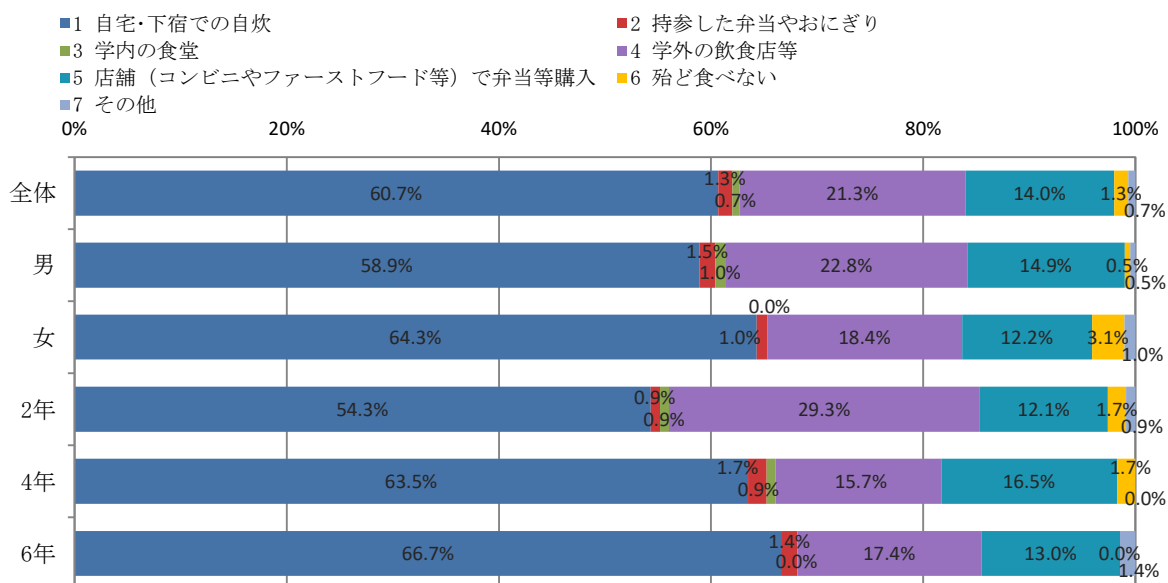


		有効回答者数	食事は主にどのようにして摂っていますか…昼食						
			自宅・下宿での自炊	持参した弁当やおにぎり	学内の食堂	学外の飲食店等	店舗（コンビニやファーストフード等）で弁当等購入	殆ど食べない	その他
全体		300	20	51	139	26	55	9	0
			6.7%	17.0%	46.3%	8.7%	18.3%	3.0%	0.0%
性別	男	202	13	36	96	14	39	4	0
			6.4%	17.8%	47.5%	6.9%	19.3%	2.0%	0.0%
	女	98	7	15	43	12	16	5	0
			7.1%	15.3%	43.9%	12.2%	16.3%	5.1%	0.0%
学年別	2年	116	8	17	56	12	21	2	0
			6.9%	14.7%	48.3%	10.3%	18.1%	1.7%	0.0%
	4年	115	6	23	57	7	19	3	0
			5.2%	20.0%	49.6%	6.1%	16.5%	2.6%	0.0%
	6年	69	6	11	26	7	15	4	0
			8.7%	15.9%	37.7%	10.1%	21.7%	5.8%	0.0%

29-3. 食事について…夕食

外食・弁当中心の学生が35.3%。

夕食については自宅・下宿での自炊との回答が全体の60.7%であった一方、外食や店舗での弁当を挙げる学生も35.3%います。自由意見では平日の昼食以外の食事を学内でとれるようにしてほしい、という意見が特に高学年を中心に目立ちました。良質な食生活は健康な学生生活を送るのに不可欠であり、改善が望まれます。

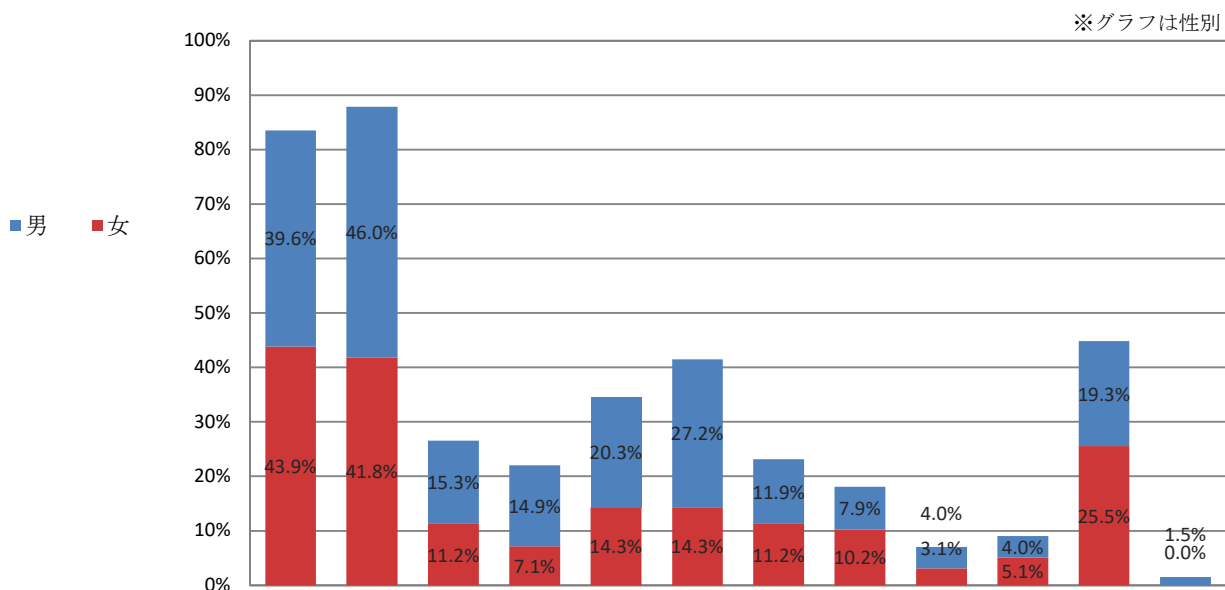


		有効回答者数	食事は主にどのようにして摂っていますか…夕食						
			自宅・下宿での自炊	持参した弁当やおにぎり	学内の食堂	学外の飲食店等	店舗（コンビニやファーストフード等）で弁当等購入	殆ど食べない	その他
全体		300	182	4	2	64	42	4	2
			60.7%	1.3%	0.7%	21.3%	14.0%	1.3%	0.7%
性別	男	202	119	3	2	46	30	1	1
			58.9%	1.5%	1.0%	22.8%	14.9%	0.5%	0.5%
	女	98	63	1	0	18	12	3	1
			64.3%	1.0%	0.0%	18.4%	12.2%	3.1%	1.0%
学年別	2年	116	63	1	1	34	14	2	1
			54.3%	0.9%	0.9%	29.3%	12.1%	1.7%	0.9%
	4年	115	73	2	1	18	19	2	0
			63.5%	1.7%	0.9%	15.7%	16.5%	1.7%	0.0%
	6年	69	46	1	0	12	9	0	1
			66.7%	1.4%	0.0%	17.4%	13.0%	0.0%	1.4%

30. 悩み事（複数回答） - 性別 -

男女とも学修面の悩みが最多。

悩み事としては学修面が最多で全体の44.7%、次いで金銭面が41.0%となっており、昨年度と同一の傾向です。

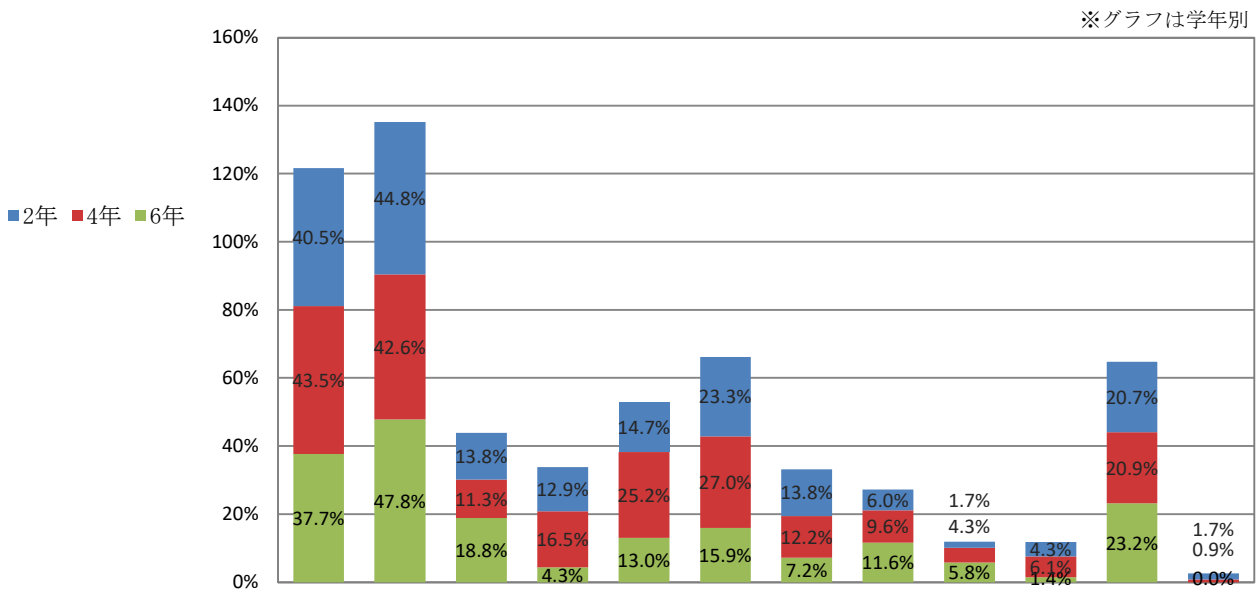


		有効回答者数	現在何か悩みごとを持っていますか											
			金銭面	学修面	クラブ関係	健康上の問題	性格や能力について	就職・将来の進路	友人関係	異性問題	性の問題	家庭の問題	特に悩んでいない	その他
全体	300	123	134	42	37	55	69	35	26	11	13	64	3	
		41.0%	44.7%	14.0%	12.3%	18.3%	23.0%	11.7%	8.7%	3.7%	4.3%	21.3%	1.0%	
性別	男	202	80	93	31	30	41	55	24	16	8	8	39	3
			39.6%	46.0%	15.3%	14.9%	20.3%	27.2%	11.9%	7.9%	4.0%	4.0%	19.3%	1.5%
性別	女	98	43	41	11	7	14	14	11	10	3	5	25	0
			43.9%	41.8%	11.2%	7.1%	14.3%	14.3%	11.2%	10.2%	3.1%	5.1%	25.5%	0.0%
学年別	2年	116	47	52	16	15	17	27	16	7	2	5	24	2
			40.5%	44.8%	13.8%	12.9%	14.7%	23.3%	13.8%	6.0%	1.7%	4.3%	20.7%	1.7%
	4年	115	50	49	13	19	29	31	14	11	5	7	24	1
43.5%			42.6%	11.3%	16.5%	25.2%	27.0%	12.2%	9.6%	4.3%	6.1%	20.9%	0.9%	
6年	69	26	33	13	3	9	11	5	8	4	1	16	0	
		37.7%	47.8%	18.8%	4.3%	13.0%	15.9%	7.2%	11.6%	5.8%	1.4%	23.2%	0.0%	

30. 悩み事（複数回答） - 学年別 -

悩み事については学年ごとに大きな差はみられない。

悩み事についてはいずれの学年でも学修面・金銭面が多く、学年ごとの大きな差はみられません。

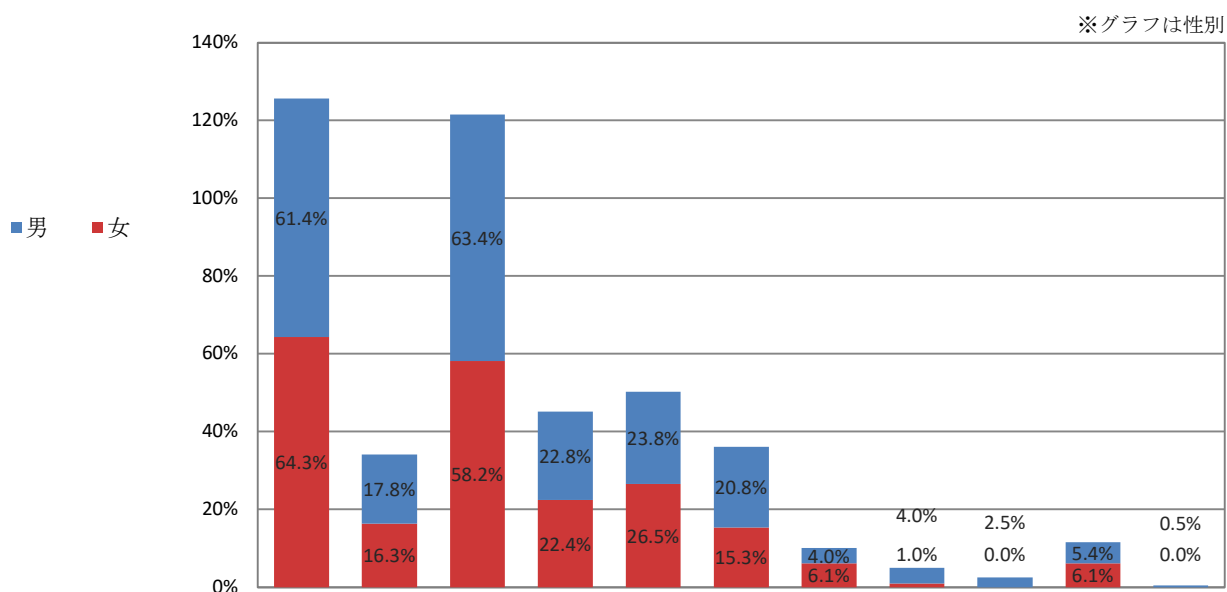


		有効回答者数	現在何か悩みごとを持っていますか											
			金銭面	学修面	クラブ関係	健康上の問題	性格や能力について	就職・将来の進路	友人関係	異性問題	性の問題	家庭の問題	特に悩んでいない	その他
全体		300	123	134	42	37	55	69	35	26	11	13	64	3
			41.0%	44.7%	14.0%	12.3%	18.3%	23.0%	11.7%	8.7%	3.7%	4.3%	21.3%	1.0%
性別	男	202	80	93	31	30	41	55	24	16	8	8	39	3
			39.6%	46.0%	15.3%	14.9%	20.3%	27.2%	11.9%	7.9%	4.0%	4.0%	19.3%	1.5%
	女	98	43	41	11	7	14	14	11	10	3	5	25	0
			43.9%	41.8%	11.2%	7.1%	14.3%	14.3%	11.2%	10.2%	3.1%	5.1%	25.5%	0.0%
学年別	2年	116	47	52	16	15	17	27	16	7	2	5	24	2
			40.5%	44.8%	13.8%	12.9%	14.7%	23.3%	13.8%	6.0%	1.7%	4.3%	20.7%	1.7%
	4年	115	50	49	13	19	29	31	14	11	5	7	24	1
			43.5%	42.6%	11.3%	16.5%	25.2%	27.0%	12.2%	9.6%	4.3%	6.1%	20.9%	0.9%
	6年	69	26	33	13	3	9	11	5	8	4	1	16	0
			37.7%	47.8%	18.8%	4.3%	13.0%	15.9%	7.2%	11.6%	5.8%	1.4%	23.2%	0.0%

31. 相談相手（複数回答） - 性別 -

相談相手は同級生と親が多数。

相談しやすい相手としては同級生・親を挙げる回答が多数でした。悩み事の内容として学修面が最多であったことを考慮すると、大学側の関与の仕方に改善の余地があると考えられます。

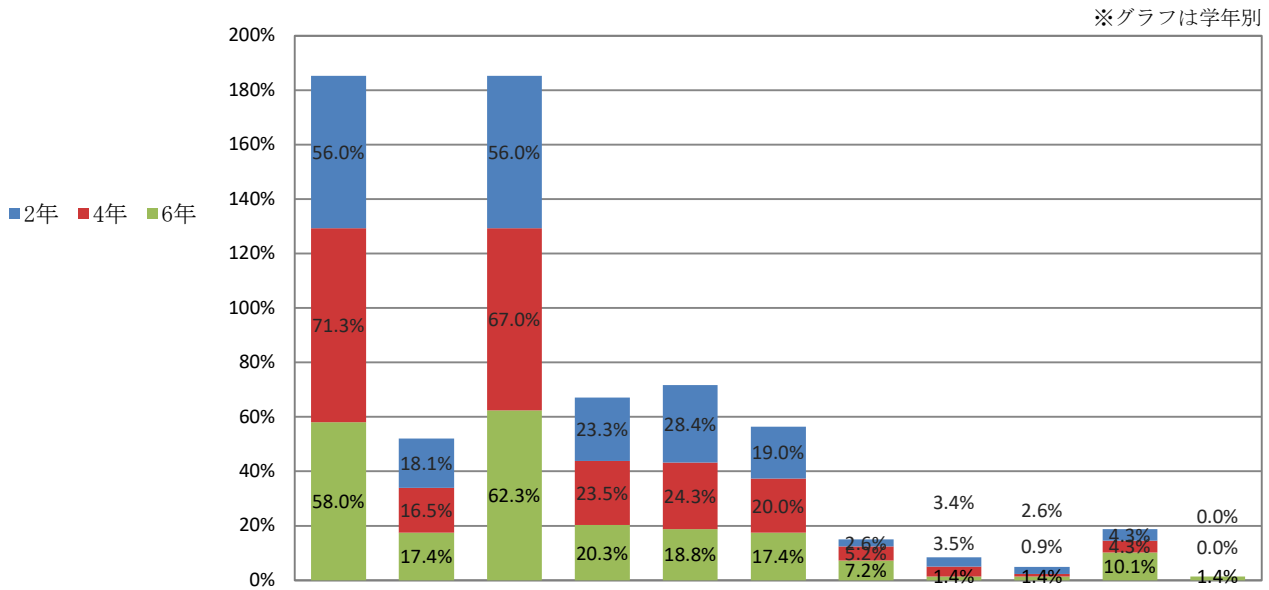


		学生生活上の悩みや不安、困ったときに相談しやすいのはどなたですか											
		有効回答者数	親	兄弟	同級生	先輩・後輩	学外の友人	恋人	教員	職員	含む保健室（カウンセラー）	特に相談相手がない	その他
	全体	300	187	52	185	68	74	57	14	9	5	17	1
			62.3%	17.3%	61.7%	22.7%	24.7%	19.0%	4.7%	3.0%	1.7%	5.7%	0.3%
性別	男	202	124	36	128	46	48	42	8	8	5	11	1
			61.4%	17.8%	63.4%	22.8%	23.8%	20.8%	4.0%	4.0%	2.5%	5.4%	0.5%
	女	98	63	16	57	22	26	15	6	1	0	6	0
			64.3%	16.3%	58.2%	22.4%	26.5%	15.3%	6.1%	1.0%	0.0%	6.1%	0.0%
学年別	2年	116	65	21	65	27	33	22	3	4	3	5	0
			56.0%	18.1%	56.0%	23.3%	28.4%	19.0%	2.6%	3.4%	2.6%	4.3%	0.0%
	4年	115	82	19	77	27	28	23	6	4	1	5	0
			71.3%	16.5%	67.0%	23.5%	24.3%	20.0%	5.2%	3.5%	0.9%	4.3%	0.0%
	6年	69	40	12	43	14	13	12	5	1	1	7	1
			58.0%	17.4%	62.3%	20.3%	18.8%	17.4%	7.2%	1.4%	1.4%	10.1%	1.4%

31. 相談相手（複数回答） - 学年別 -

相談相手で学年ごとに大きな差はみられない。

学年別に相談しやすい相手をみると、学年ごとに大きな差は認められません。

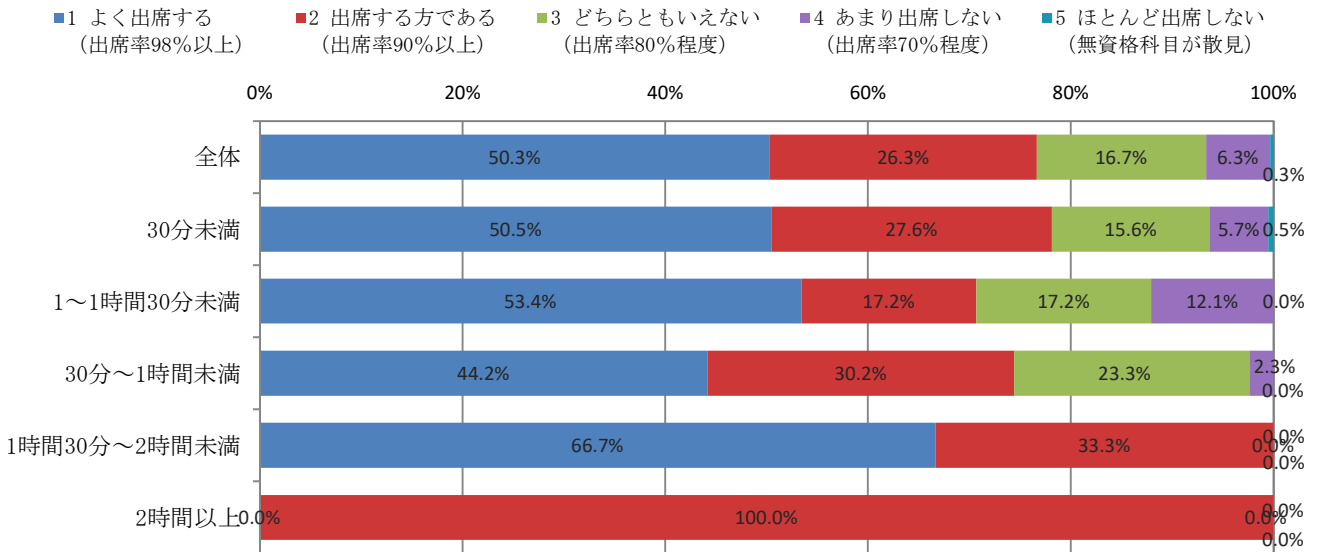


		有効回答者数	学生生活上の悩みや不安、困ったときに相談しやすいのはどなたですか										
			親	兄弟	同級生	先輩・後輩	学外の友人	恋人	教員	職員	含む保健室(カウンセラー)	特に相談相手がいない	その他
全体		300	187	52	185	68	74	57	14	9	5	17	1
			62.3%	17.3%	61.7%	22.7%	24.7%	19.0%	4.7%	3.0%	1.7%	5.7%	0.3%
性別	男	202	124	36	128	46	48	42	8	8	5	11	1
	61.4%	17.8%	63.4%	22.8%	23.8%	20.8%	4.0%	4.0%	2.5%	5.4%	0.5%		
性別	女	98	63	16	57	22	26	15	6	1	0	6	0
	64.3%	16.3%	58.2%	22.4%	26.5%	15.3%	6.1%	1.0%	0.0%	6.1%	0.0%		
学年別	2年	116	65	21	65	27	33	22	3	4	3	5	0
	56.0%	18.1%	56.0%	23.3%	28.4%	19.0%	2.6%	3.4%	2.6%	4.3%	0.0%		
	4年	115	82	19	77	27	28	23	6	4	1	5	0
71.3%	16.5%	67.0%	23.5%	24.3%	20.0%	5.2%	3.5%	0.9%	4.3%	0.0%			
6年	69	40	12	43	14	13	12	5	1	1	7	1	
58.0%	17.4%	62.3%	20.3%	18.8%	17.4%	7.2%	1.4%	1.4%	10.1%	1.4%			

3. 授業出席率 × 9. 通学時間別

通学時間の長さは出席率の障害にならない。

通学時間別に出席率をみると、通学時間が長い学生のほうが出席率がよい傾向がみられました。家族のいる実家から通学している学生が多いことを反映していると考えられます。

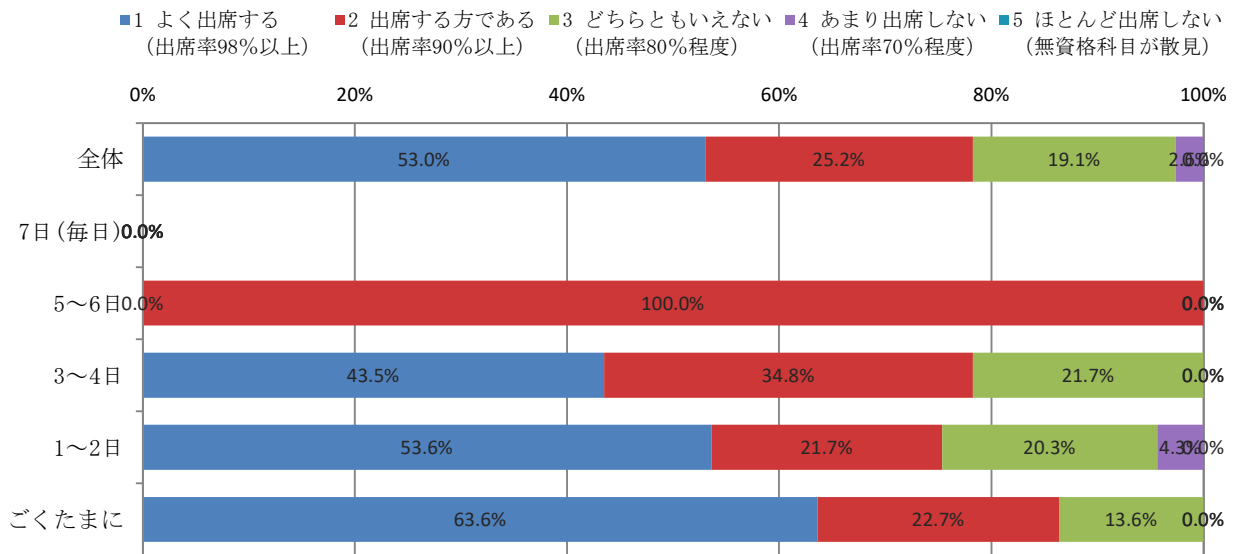


		有効回答者数	授業出席率				
			(よく出席する 出席率98%以上)	(出席する方である 出席率90%以上)	(どちらともいえない 出席率80%程度)	(あまり出席しない 出席率70%程度)	(ほとんど出席しない 無資格科目が散見)
全体		300	151	79	50	19	1
			50.3%	26.3%	16.7%	6.3%	0.3%
通学時間別	30分未満	192	97	53	30	11	1
			50.5%	27.6%	15.6%	5.7%	0.5%
	1～1時間30分未満	58	31	10	10	7	0
			53.4%	17.2%	17.2%	12.1%	0.0%
	30分～1時間未満	43	19	13	10	1	0
			44.2%	30.2%	23.3%	2.3%	0.0%
	1時間30分～2時間未満	6	4	2	0	0	0
		66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
2時間以上	1	0	1	0	0	0	
		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

3. 授業出席率 × 13. アルバイト日数別

アルバイト日数は出席率に大きな影響はない。

週3日以上アルバイトをしていると回答した学生でも「出席率90%以上」と回答する学生が79.2%となっており、アルバイトが出席に対する障害にはなっていないと考えられます。



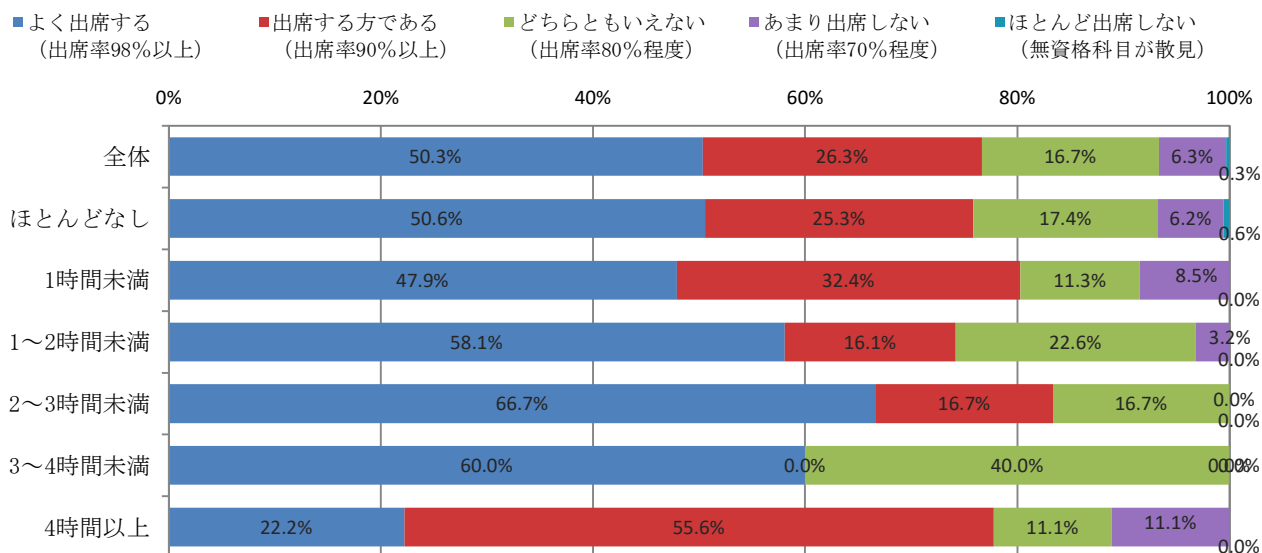
		有効回答者数	授業出席率				
			(よく出席する 出席率98%以上)	(出席する方である 出席率90%以上)	(どちらともいえない 出席率80%程度)	(あまり出席しない 出席率70%程度)	(ほとんど出席しない 無資格科目が散見)
全体		115	61	29	22	3	0
			53.0%	25.2%	19.1%	2.6%	0.0%
アルバイト日数別	7日(毎日)	0	0	0	0	0	0
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	5~6日	1	0	1	0	0	0
			0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3~4日	23	10	8	5	0	0
			43.5%	34.8%	21.7%	0.0%	0.0%
1~2日	69	37	15	14	3	0	
		53.6%	21.7%	20.3%	4.3%	0.0%	
ごくたまに	22	14	5	3	0	0	
		63.6%	22.7%	13.6%	0.0%	0.0%	

※アルバイトをしている人のみ回答

3. 授業出席率 × 20. 予習時間別

授業出席率と予習時間の長さの間に明確な相関はない。

予習時間をほとんどなしとする学生でも半数以上は出席率98%と回答しており、出席率と予習時間の間には明確な相関は認められません。

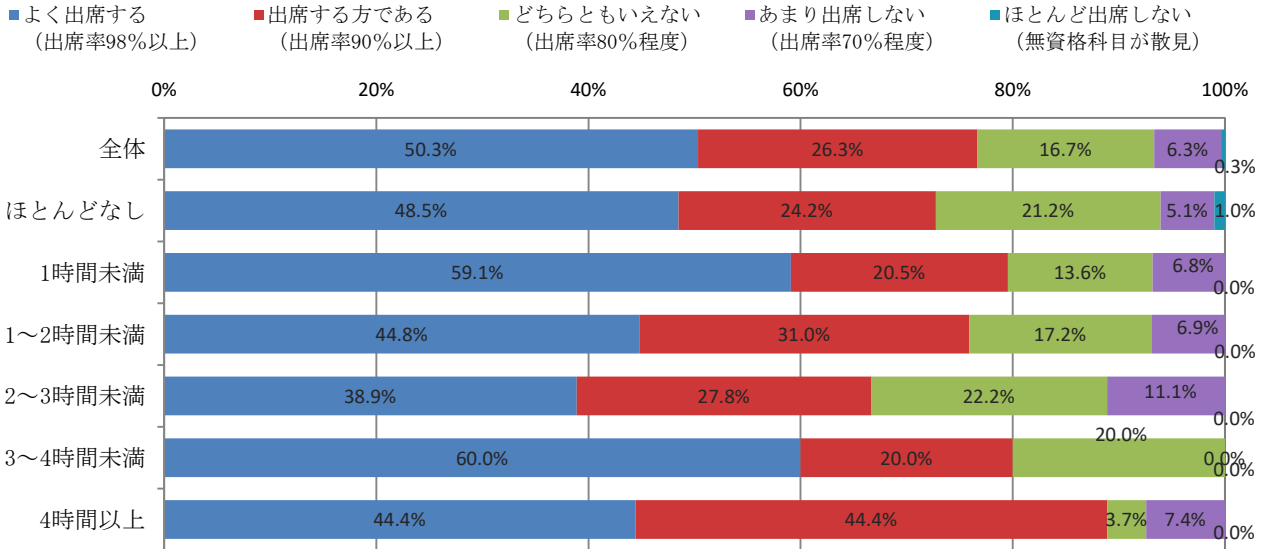


		有効回答者数	授業出席率				
			(よく出席する 出席率98%以上)	(出席する方である 出席率90%以上)	(どちらともいえない 出席率80%程度)	(あまり出席しない 出席率70%程度)	(ほとんど出席しない 無資格科目が散見)
予習時間別	全体	300	151	79	50	19	1
			50.3%	26.3%	16.7%	6.3%	0.3%
	ほとんどなし	178	90	45	31	11	1
			50.6%	25.3%	17.4%	6.2%	0.6%
	1時間未満	71	34	23	8	6	0
			47.9%	32.4%	11.3%	8.5%	0.0%
	1～2時間未満	31	18	5	7	1	0
			58.1%	16.1%	22.6%	3.2%	0.0%
	2～3時間未満	6	4	1	1	0	0
		66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	
3～4時間未満	5	3	0	2	0	0	
		60.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	
4時間以上	9	2	5	1	1	0	
		22.2%	55.6%	11.1%	11.1%	0.0%	

3. 授業出席率 × 21. 復習時間別

復習時間と出席率の間にも明確な相関は認められない。

昨年度は復習時間が長い学生のほうが出席率がやや高い傾向が認められましたが、今年度は明確な相関は認められませんでした。

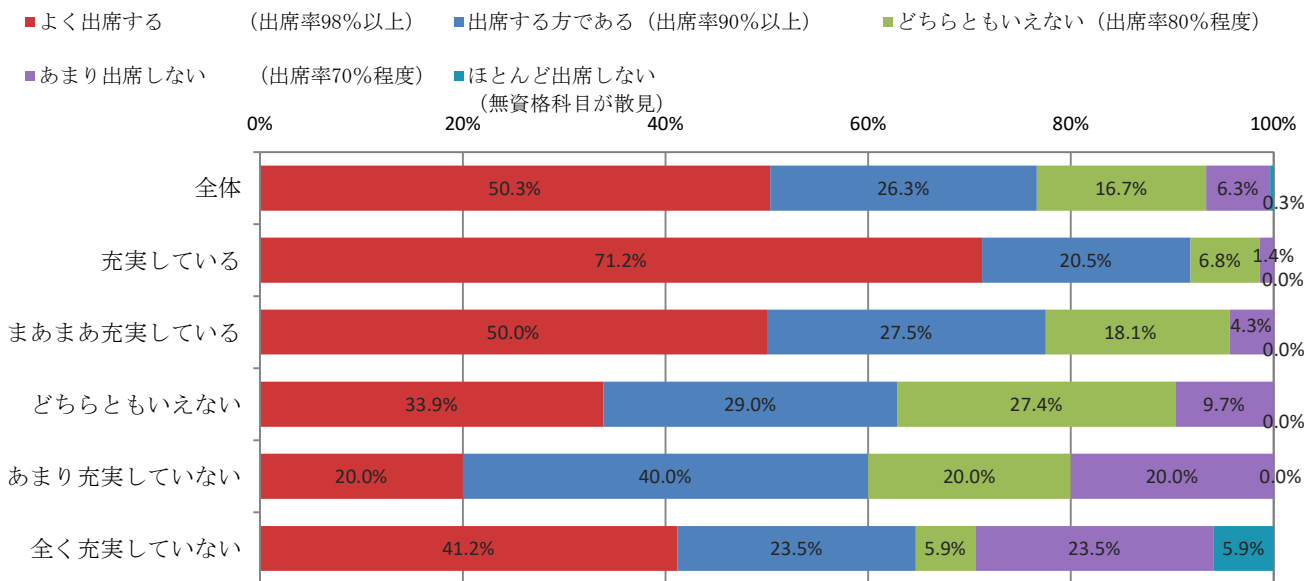


		有効回答者数	授業出席率				
			(よく出席する 出席率98%以上)	(出席する方である 出席率90%以上)	(どちらともいえない 出席率80%程度)	(あまり出席しない 出席率70%程度)	(ほとんど出席しない 無資格科目が散見)
全体		300	151	79	50	19	1
			50.3%	26.3%	16.7%	6.3%	0.3%
復習時間別	ほとんどなし	99	48	24	21	5	1
			48.5%	24.2%	21.2%	5.1%	1.0%
	1時間未満	88	52	18	12	6	0
			59.1%	20.5%	13.6%	6.8%	0.0%
	1～2時間未満	58	26	18	10	4	0
			44.8%	31.0%	17.2%	6.9%	0.0%
	2～3時間未満	18	7	5	4	2	0
		38.9%	27.8%	22.2%	11.1%	0.0%	
3～4時間未満	10	6	2	2	0	0	
		60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	
4時間以上	27	12	12	1	2	0	
		44.4%	44.4%	3.7%	7.4%	0.0%	

3. 授業出席率 × 4. 学修面での充実度別

学修面で充実している学生のほうが出席率が高い傾向。

学修面で充実している学生のほうが出席率が高い傾向が認められます。

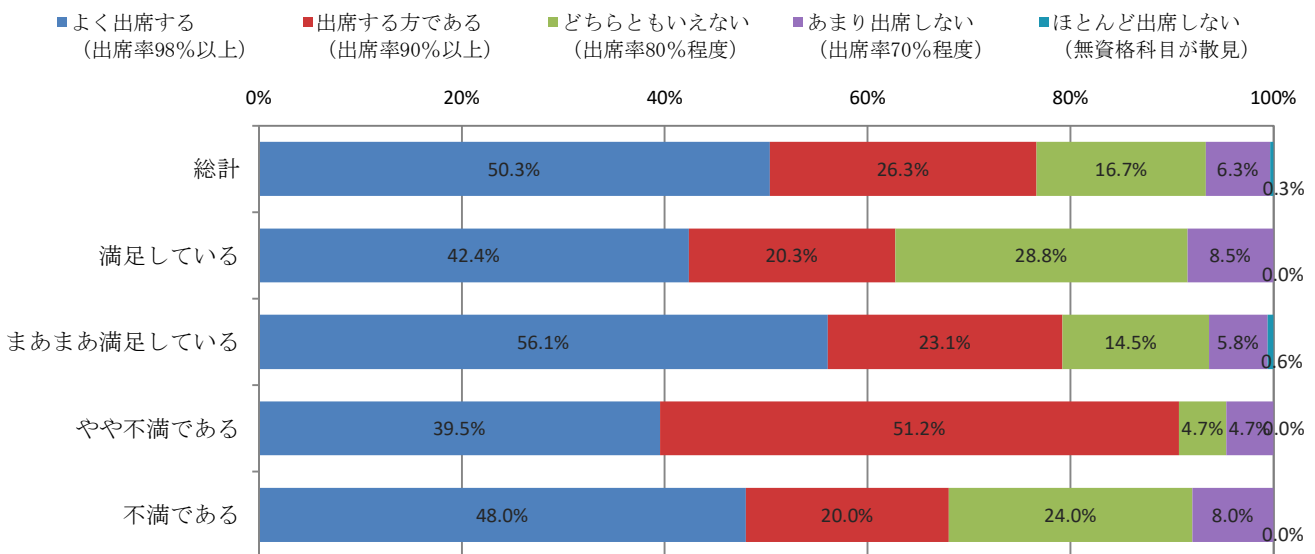


		有効回答者数	授業出席率				
			(よく出席する 出席率98%以上)	出席する方である (出席率90%以上)	(どちらともいえない 出席率80%程度)	(あまり出席しない 出席率70%程度)	(ほとんど出席しない 無資格科目が散見)
全体		300	79	151	50	19	1
			50.3%	26.3%	16.7%	6.3%	0.3%
学修面での充実度別	充実している	73	15	52	5	1	0
			71.2%	20.5%	6.8%	1.4%	0.0%
	まあまあ充実している	138	38	69	25	6	0
			50.0%	27.5%	18.1%	4.3%	0.0%
	どちらともいえない	62	18	21	17	6	0
			33.9%	29.0%	27.4%	9.7%	0.0%
あまり充実していない	10	4	2	2	2	0	
		20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	
全く充実していない	17	4	7	1	4	1	
		41.2%	23.5%	5.9%	23.5%	5.9%	

3. 授業出席率 × 25. 講義実習満足度別

講義実習の満足度と学生の出席率の間に明確な相関は認められない。

昨年度は講義・実習に満足していると回答した学生で出席率が高い傾向にありましたが、今年度は明確な相関は認められませんでした。

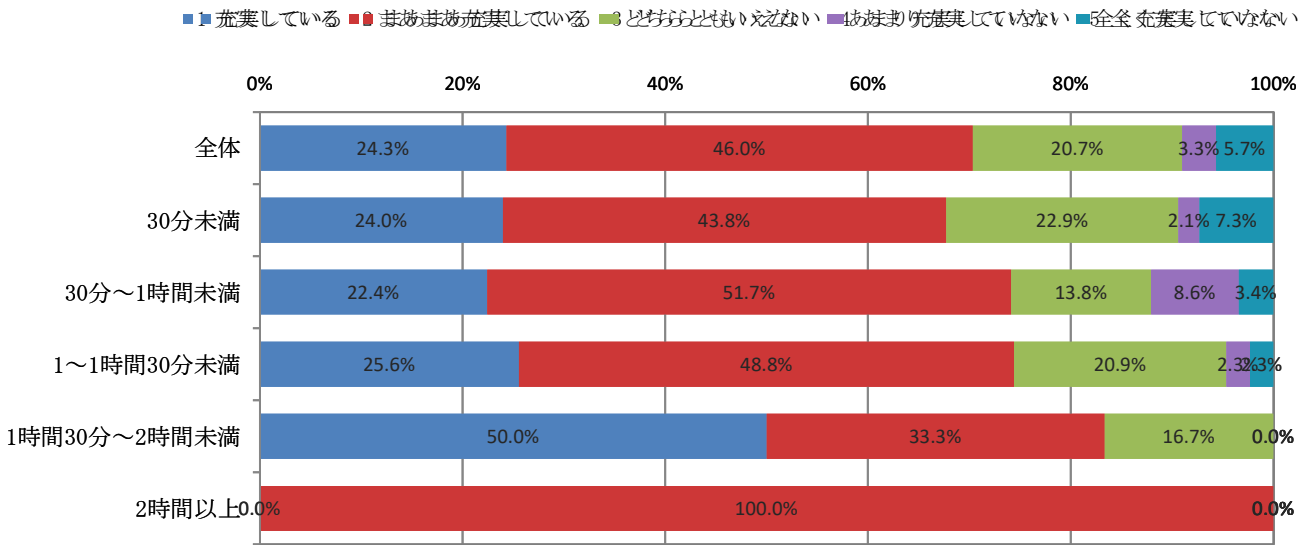


		有効回答者数	授業出席率				
			(よく出席する 98%以上)	(出席する方である 90%以上)	(どちらともいえない 80%程度)	(あまり出席しない 70%程度)	(ほとんど出席しない 無資格科目が散見)
総計		300	151	79	50	19	1
			50.3%	26.3%	16.7%	6.3%	0.3%
講義実習満足度別	満足している	59	25	12	17	5	0
			42.4%	20.3%	28.8%	8.5%	0.0%
	まあまあ満足している	173	97	40	25	10	1
			56.1%	23.1%	14.5%	5.8%	0.6%
	やや不満である	43	17	22	2	2	0
		39.5%	51.2%	4.7%	4.7%	0.0%	
不満である	25	12	5	6	2	0	
		48.0%	20.0%	24.0%	8.0%	0.0%	

4. 学修面での充実度 × 9. 通学時間別

通学時間は学修充実度に大きな影響はない。

通学時間と学修充実度との間に明確な相関は認められません。少数の遠距離通学者でも、充実度はむしろ高くなっているようです。

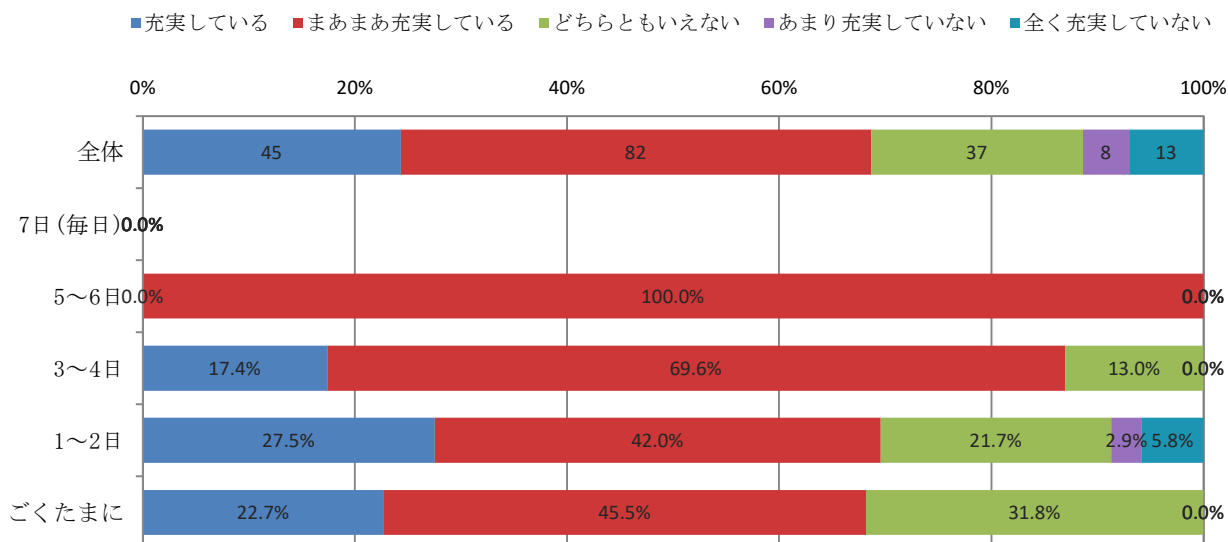


		有効回答者数	学修面での充実度				
			充実している	まあまあ充実している	どちらともいえない	あまり充実していない	全く充実していない
通学時間別	全体	300	73	138	62	10	17
			24.3%	46.0%	20.7%	3.3%	5.7%
	30分未満	192	46	84	44	4	14
			24.0%	43.8%	22.9%	2.1%	7.3%
	30分～1時間未満	58	13	30	8	5	2
			22.4%	51.7%	13.8%	8.6%	3.4%
	1～1時間30分未満	43	11	21	9	1	1
		25.6%	48.8%	20.9%	2.3%	2.3%	
1時間30分～2時間未満	6	3	2	1	0	0	
		50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	
2時間以上	1	0	1	0	0	0	
		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

4. 学修面での充実度 × 13. アルバイト日数別

アルバイトは学修充実度に大きな影響はない。

アルバイトをしているかどうか、あるいはアルバイトの日数と学修充実度との間に明確な相関は認められません。



		有効回答者数	学修面での充実度				
			充実している	まあまあ充実している	どちらともいえない	あまり充実していない	全く充実していない
全体		300	73 4500.0%	62 8200.0%	138 3700.0%	73 800.0%	17 1300.0%
アルバイト日数別	7日	0					
	5~6日	1	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	3~4日	23	4 17.4%	16 69.6%	3 13.0%	0 0.0%	0 0.0%
	1~2日	69	19 27.5%	29 42.0%	15 21.7%	2 2.9%	4 5.8%
	ごくたまに	22	5 22.7%	10 45.5%	7 31.8%	0 0.0%	0 0.0%

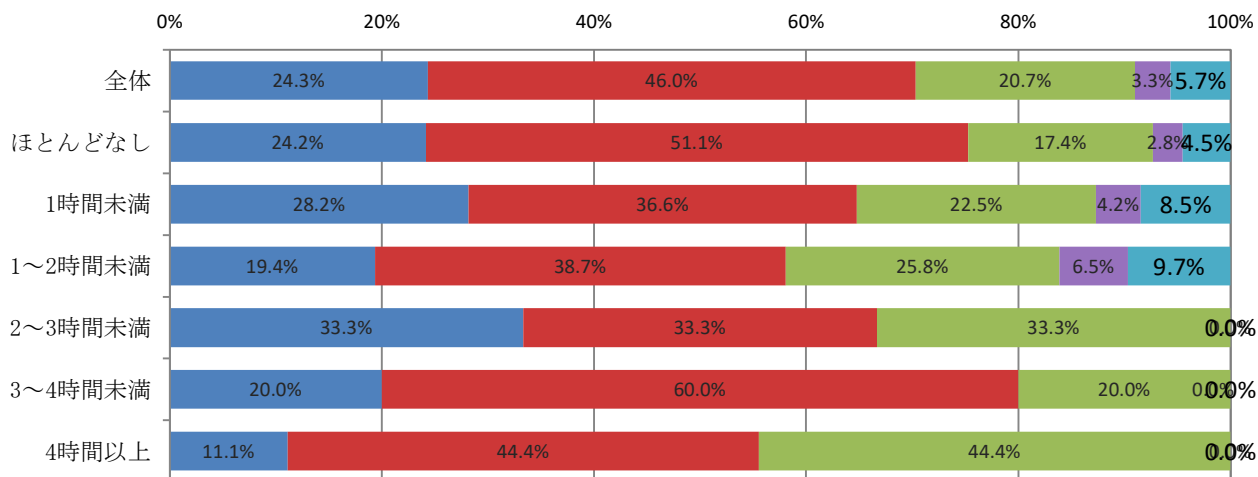
※アルバイトをしている人のみ回答

4. 学修面での充実度 × 20. 予習時間別

学修面での充実度と予習時間の間に明確な相関を認めない。

学修面での充実度と予習時間の間に明確な相関は認められません。

■ 充実している ■ まあまあ充実している ■ どちらともいえない ■ あまり充実していない ■ 全く充実していない



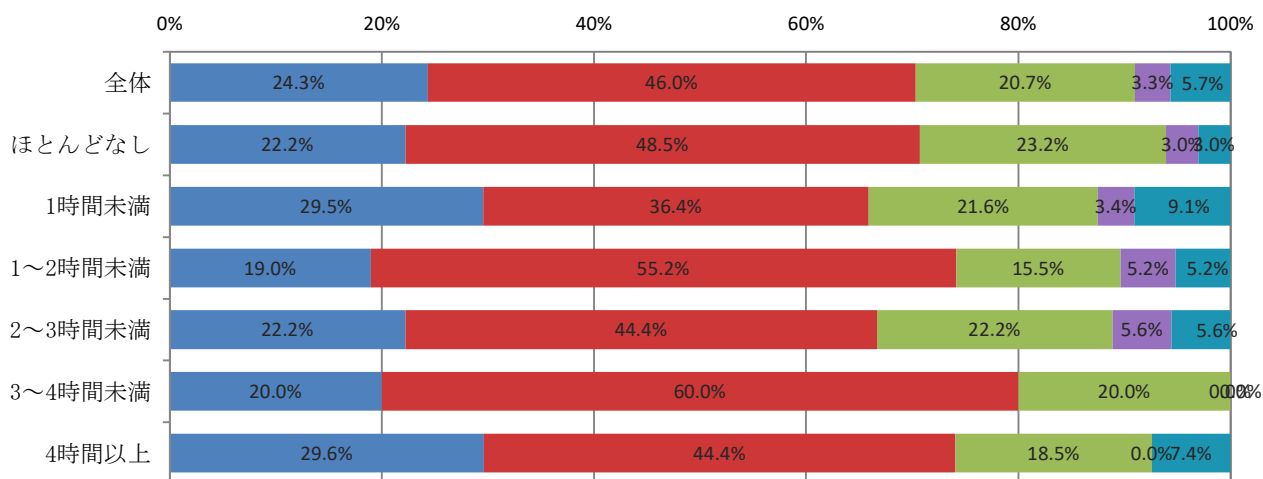
		有効回答者数	学修面での充実度				
			充実している	まあまあ充実している	どちらともいえない	あまり充実していない	全く充実していない
予習時間別	全体	300	73	138	62	10	17
			24.3%	46.0%	20.7%	3.3%	5.7%
	ほとんどなし	178	43	91	31	5	8
			24.2%	51.1%	17.4%	2.8%	4.5%
	1時間未満	71	20	26	16	3	6
			28.2%	36.6%	22.5%	4.2%	8.5%
	1～2時間未満	31	6	12	8	2	3
			19.4%	38.7%	25.8%	6.5%	9.7%
	2～3時間未満	6	2	2	2	0	0
		33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	
3～4時間未満	5	1	3	1	0	0	
		20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	
4時間以上	9	1	4	4	0	0	
		11.1%	44.4%	44.4%	0.0%	0.0%	

4. 学修面での充実度 × 21. 復習時間別

学修面での充実度と復習時間の間に明確な相関を認めない。

学修面での充実度と復習時間の間に明確な相関は認められません。

■充実している ■まあまあ充実している ■どちらともいえない ■あまり充実していない ■全く充実していない



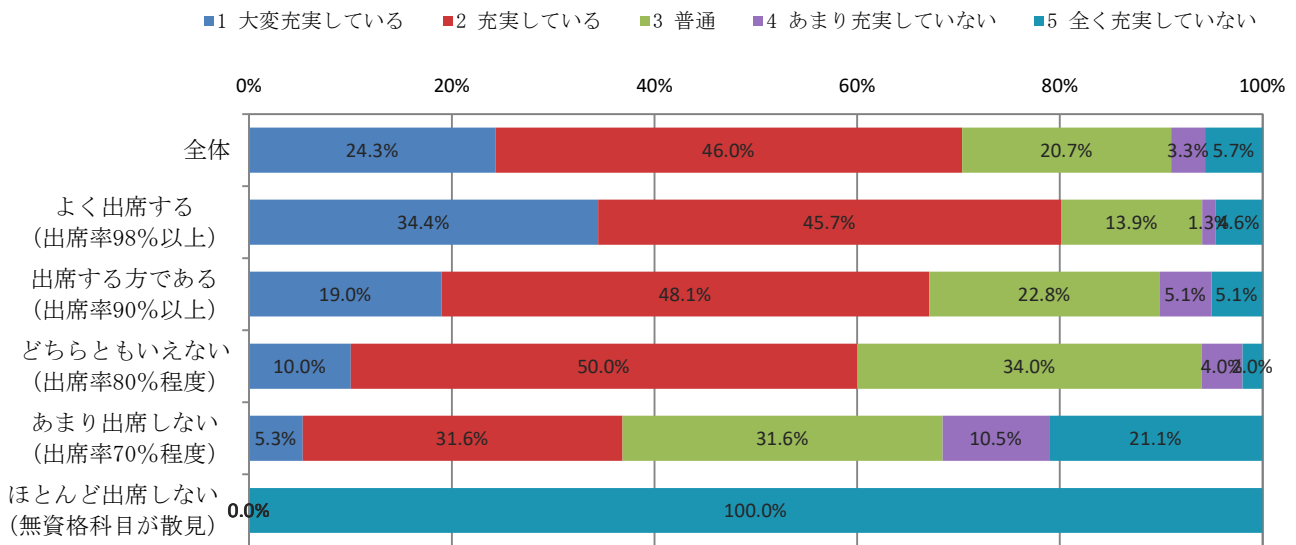
有効回答者数	学修面での充実度				
	充実している	まあまあ充実している	どちらともいえない	あまり充実していない	全く充実していない

復習時間別	全体		学修面での充実度				
	有効回答者数	割合	充実している	まあまあ充実している	どちらともいえない	あまり充実していない	全く充実していない
復習時間別	全体	300	73	138	62	10	17
			24.3%	46.0%	20.7%	3.3%	5.7%
	ほとんどなし	99	22	48	23	3	3
			22.2%	48.5%	23.2%	3.0%	3.0%
	1時間未満	88	26	32	19	3	8
			29.5%	36.4%	21.6%	3.4%	9.1%
	1～2時間未満	58	11	32	9	3	3
			19.0%	55.2%	15.5%	5.2%	5.2%
2～3時間未満	18	4	8	4	1	1	
		22.2%	44.4%	22.2%	5.6%	5.6%	
3～4時間未満	10	2	6	2	0	0	
		20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	
4時間以上	27	8	12	5	0	2	
		29.6%	44.4%	18.5%	0.0%	7.4%	

4. 学修面での充実度 × 3. 授業出席率別

よく出席する学生のほうが学修充実度は高い。

よく出席する学生のほうが学修充実度が高い傾向が認められました。

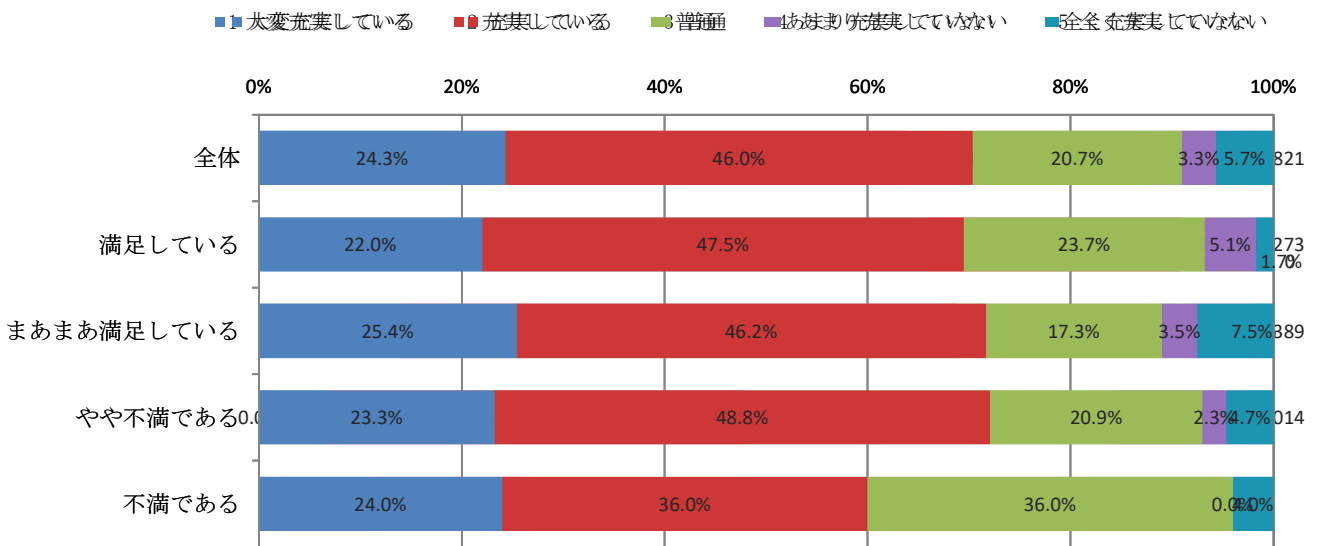


		有効回答者数	学修面での充実度				
			大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない
全体		300	73	138	62	10	17
			24.3%	46.0%	20.7%	3.3%	5.7%
授業出席率別	よく出席する (出席率98%以上)	151	52	69	21	2	7
			34.4%	45.7%	13.9%	1.3%	4.6%
	出席する方である (出席率90%以上)	79	15	38	18	4	4
			19.0%	48.1%	22.8%	5.1%	5.1%
	どちらともいえない (出席率80%程度)	50	5	25	17	2	1
			10.0%	50.0%	34.0%	4.0%	2.0%
あまり出席しない (出席率70%程度)	19	1	6	6	2	4	
		5.3%	31.6%	31.6%	10.5%	21.1%	
ほとんど出席しない (無資格科目が散見)	1	0	0	0	0	1	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

4. 学修面での充実度 × 25. 講義・実習満足度

講義・実習に不満な学生でも67.6%が学修面は充実

講義実習にやや不満・不満と回答した学生68名中46名（67.6%）が学修面では充実していると回答しています。オンライン教材などで自主学習を進めている学生が多いことを反映していると考えられます。

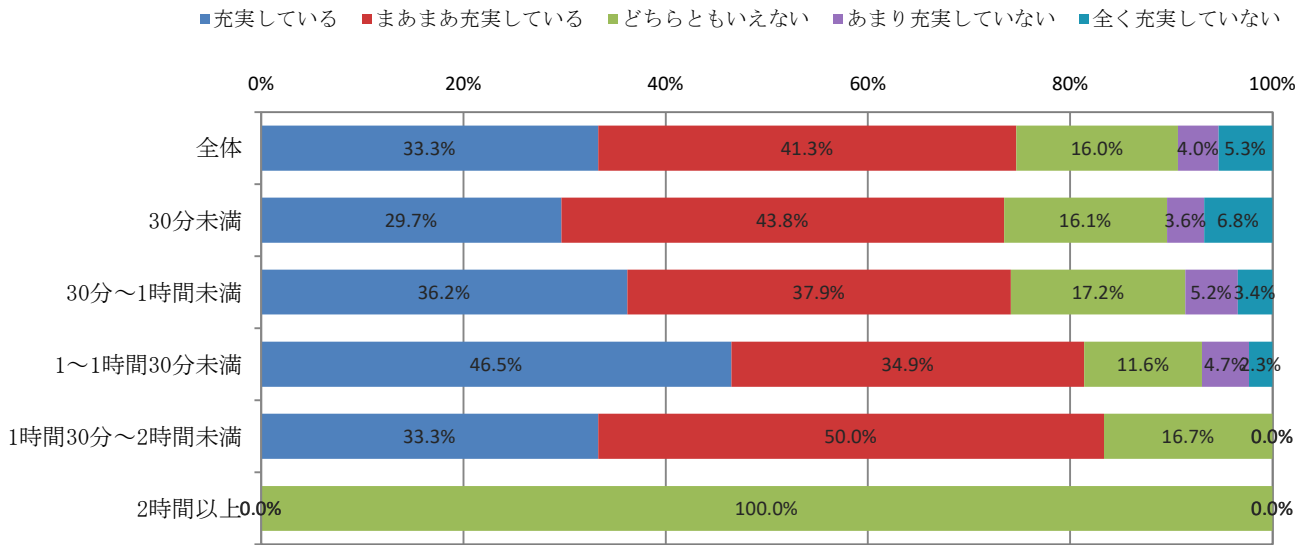


		有効回答者数	学修面での充実度				
			大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない
全体		300	73	138	62	10	17
			24.3%	46.0%	20.7%	3.3%	5.7%
講義・実習満足度	満足している	59	13	28	14	3	1
			22.0%	47.5%	23.7%	5.1%	1.7%
	まあまあ満足している	173	44	80	30	6	13
			25.4%	46.2%	17.3%	3.5%	7.5%
	やや不満である	43	10	21	9	1	2
			23.3%	48.8%	20.9%	2.3%	4.7%
不満である	25	6	9	9	0	1	
			24.0%	36.0%	36.0%	0.0%	4.0%

5. クラブ学外充実度 × 9. 通学時間別

通学時間とクラブ活動・学外活動の充実度に明確な相関を認めない。

通学時間が長い学生でもクラブ活動・学外活動は充実していると回答した学生が多数を占めており、通学時間は活動への大きな障害にはなっていないことは読み取れます。



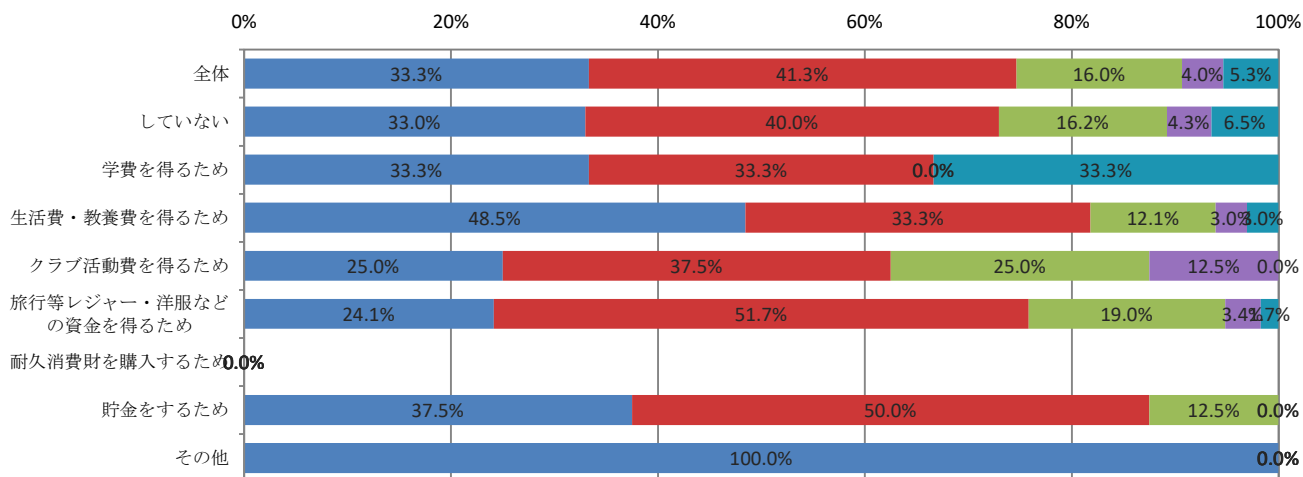
		有効回答者数	クラブ学外充実度				
			充実している	まあまあ充実している	どちらともいえない	あまり充実していない	全く充実していない
全体		300	100	124	48	12	16
			33.3%	41.3%	16.0%	4.0%	5.3%
通学時間別	30分未満	192	57	84	31	7	13
			29.7%	43.8%	16.1%	3.6%	6.8%
	30分～1時間未満	58	21	22	10	3	2
			36.2%	37.9%	17.2%	5.2%	3.4%
	1～1時間30分未満	43	20	15	5	2	1
			46.5%	34.9%	11.6%	4.7%	2.3%
1時間30分～2時間未満	6	2	3	1	0	0	
		33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	
2時間以上	1	0	0	1	0	0	
		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

5. クラブ学外充実度 × 12. アルバイト有無目的別

クラブ活動充実度とアルバイト有無目的間に明確な相関を認めない。

クラブ活動の充実度とアルバイト有無の間には相関を認めず、またアルバイトをしている学生でもアルバイトの目的とクラブ活動充実度との間に明確な相関は認められません。

■充実している ■まあまあ充実している ■どちらともいえない ■あまり充実していない ■全く充実していない

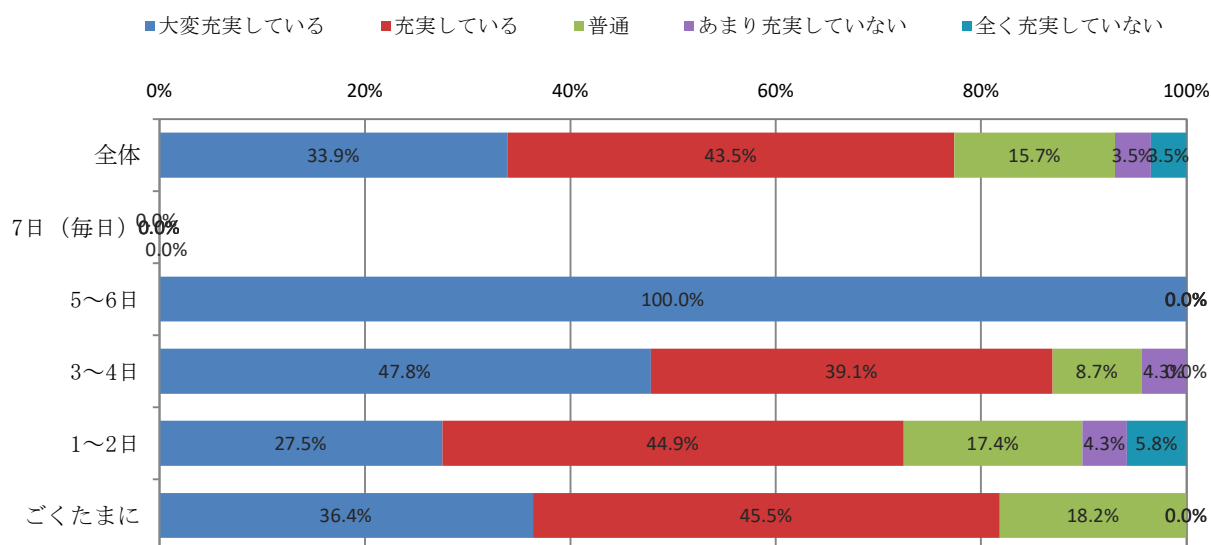


	有効回答者数	クラブ学外充実度				
		充実している	まあまあ充実している	どちらともいえない	あまり充実していない	全く充実していない
全体	300	100	124	48	12	16
		33.3%	41.3%	16.0%	4.0%	5.3%
アルバイト有無目的別	していない	185	61	74	30	12
		33.0%	40.0%	16.2%	4.3%	6.5%
	学費を得るため	6	2	2	0	2
		33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%
	生活費・教養費を得るため	33	16	11	4	1
		48.5%	33.3%	12.1%	3.0%	3.0%
	クラブ活動費を得るため	8	2	3	2	1
		25.0%	37.5%	25.0%	12.5%	0.0%
	旅行等レジャー・洋服などの資金を得るため	58	14	30	11	2
		24.1%	51.7%	19.0%	3.4%	1.7%
耐久消費財を購入するため	0					
貯金をするため	8	3	4	1	0	
	37.5%	50.0%	12.5%	0.0%	0.0%	
その他	2	2	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

5. クラブ学外充実度 × 13. アルバイト日数別

アルバイト日数とクラブ活動の充実度間に明確な相関を認めない。

アルバイト日数とクラブ活動の充実度との間に明確な相関は認められません。



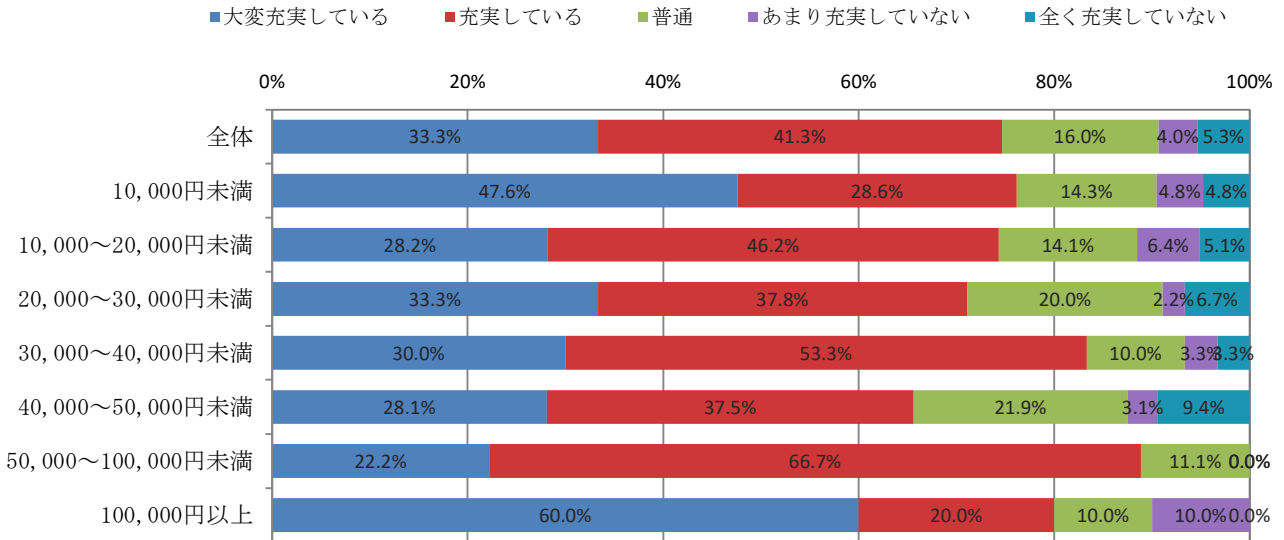
		有効回答者数	クラブ学外充実度				
			大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない
全体		115	39	50	18	4	4
			33.9%	43.5%	15.7%	3.5%	3.5%
アルバイト日数別	7日 (毎日)	0					
	5~6日	1	1	0	0	0	0
			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3~4日	23	11	9	2	1	0
			47.8%	39.1%	8.7%	4.3%	0.0%
1~2日	69	19	31	12	3	4	
		27.5%	44.9%	17.4%	4.3%	5.8%	
ごくたまに	22	8	10	4	0	0	
		36.4%	45.5%	18.2%	0.0%	0.0%	

※アルバイトをしている人のみ回答

5. クラブ学外充実度 × 10. お小遣い額別

クラブ学外活動充実度とお小遣い額間に明確な相関を認めない。

クラブ学外活動充実度とお小遣いの金額との間の関連性ははっきりとしません。金銭面がクラブや学外活動にどの程度影響するかはその活動内容によっても様相が異なると考えられます。

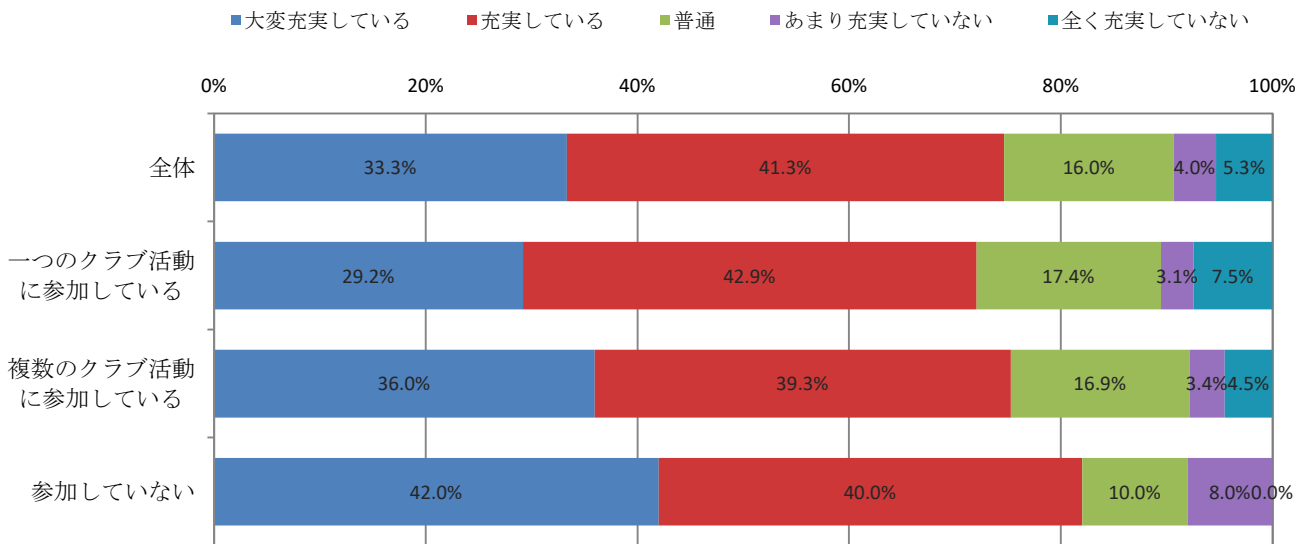


		有効回答者数	クラブ学外充実度				
			大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない
全体		300	100	124	48	12	16
			33.3%	41.3%	16.0%	4.0%	5.3%
お小遣い額別	10,000円未満	42	20	12	6	2	2
			47.6%	28.6%	14.3%	4.8%	4.8%
	10,000～20,000円未満	78	22	36	11	5	4
			28.2%	46.2%	14.1%	6.4%	5.1%
	20,000～30,000円未満	90	30	34	18	2	6
			33.3%	37.8%	20.0%	2.2%	6.7%
	30,000～40,000円未満	30	9	16	3	1	1
			30.0%	53.3%	10.0%	3.3%	3.3%
40,000～50,000円未満	32	9	12	7	1	3	
		28.1%	37.5%	21.9%	3.1%	9.4%	
50,000～100,000円未満	18	4	12	2	0	0	
		22.2%	66.7%	11.1%	0.0%	0.0%	
100,000円以上	10	6	2	1	1	0	
		60.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	

5. クラブ学外充実度 × 16. クラブ活動参加有無別

参加しているクラブ活動数が1つか複数かは充実度に大きな影響はない。

参加しているクラブ活動数は活動の充実度との間に明確な相関は認められません。一方クラブ活動に参加していないとした学生でも42.0%が大変充実、40.0%が充実しているとしており、学内のクラブ活動以外の学内外の活動が充実していると考えられます。

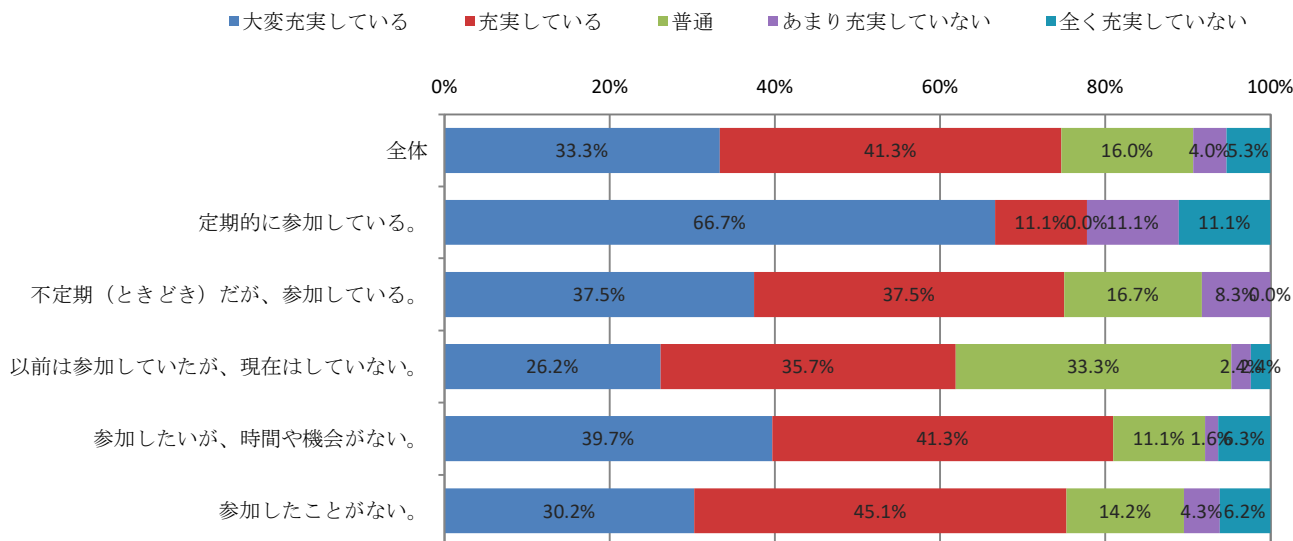


		有効回答者数	クラブ学外充実度				
			大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない
全体		300	100	124	48	12	16
			33.3%	41.3%	16.0%	4.0%	5.3%
クラブ活動参加有無別	一つのクラブ活動に参加している	161	47	69	28	5	12
			29.2%	42.9%	17.4%	3.1%	7.5%
	複数のクラブ活動に参加している	89	32	35	15	3	4
			36.0%	39.3%	16.9%	3.4%	4.5%
	参加していない	50	21	20	5	4	0
			42.0%	40.0%	10.0%	8.0%	0.0%

5. クラブ学外充実度 × 19. ボランティア活動参加有無

ボランティア活動とクラブ・学外活動充実度の相関は明確でない。

ボランティア活動を行っている学生は少ないですが、そうした学生についてクラブ・学外活動の充実度との相関は認められません。

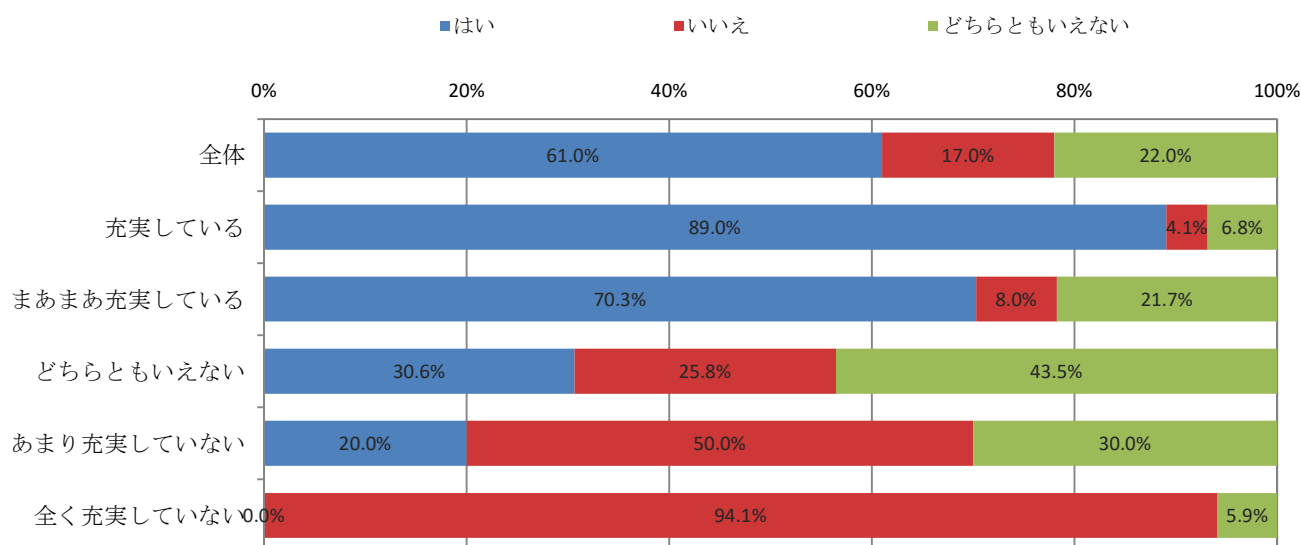


	有効回答者数	クラブ学外充実度					
		大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない	
全体	300	100	124	48	12	16	
		33.3%	41.3%	16.0%	4.0%	5.3%	
ボランティア活動参加有無	定期的に参加している。	9	6	1	0	1	
			66.7%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%
	不定期（ときどき）だが、参加している。	24	9	9	4	2	
			37.5%	37.5%	16.7%	8.3%	0.0%
	以前は参加していたが、現在はしていない。	42	11	15	14	1	
			26.2%	35.7%	33.3%	2.4%	2.4%
参加したいが、時間や機会がない。	63	25	26	7	1	4	
		39.7%	41.3%	11.1%	1.6%	6.3%	
以前は参加していたが、現在はしていない。	162	49	73	23	7	10	
		30.2%	45.1%	14.2%	4.3%	6.2%	

6. 総合満足度 × 4. 学修面での充実度別

学修面での充実度と総合満足度は高い関連性がある。

一昨年度・昨年度調査の際と同様、学修面での充実度と総合満足度はかなり高い関連性が認められました。学生生活の満足度向上には学修面での充実が欠かせないことが読み取れます。

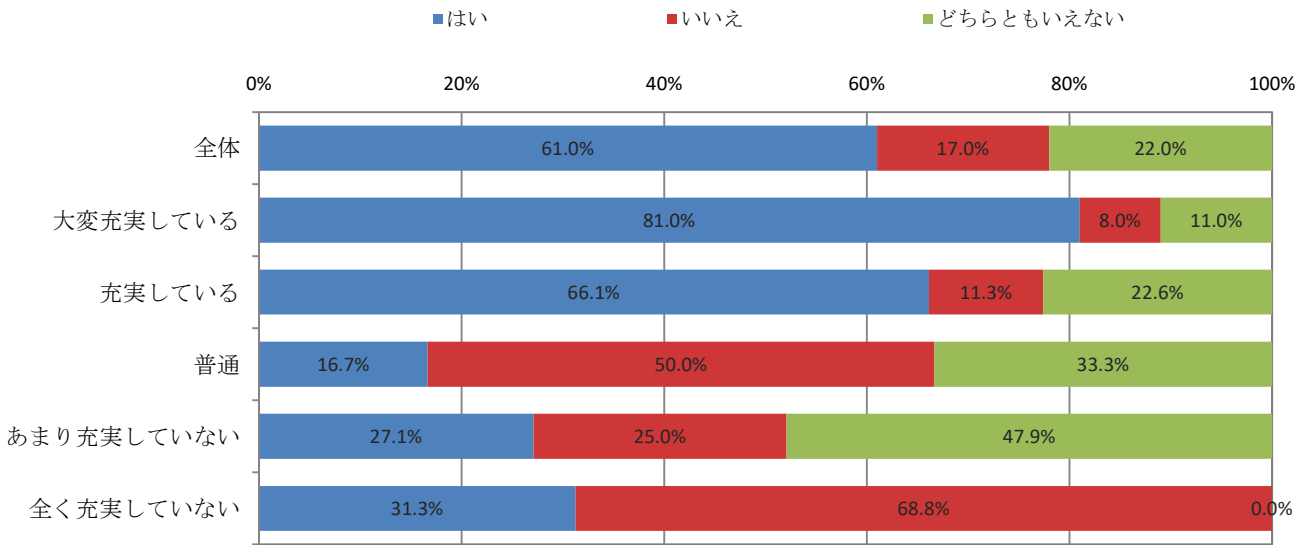


		有効回答者数	総合満足度		
			はい	いいえ	どちらともいえない
全体		300	183	51	66
			61.0%	17.0%	22.0%
学修面での充実度別	充実している	73	65	3	5
			89.0%	4.1%	6.8%
	まあまあ充実している	138	97	11	30
			70.3%	8.0%	21.7%
	どちらともいえない	62	19	16	27
			30.6%	25.8%	43.5%
	あまり充実していない	10	2	5	3
			20.0%	50.0%	30.0%
	全く充実していない	17	0	16	1
			0.0%	94.1%	5.9%

6. 総合満足度 × 5. クラブ等での充実度別

クラブ等での充実度と総合満足度は強い相関がある。

クラブ等での充実度と総合満足度の間には強い相関が認められ、学生生活の満足度向上にはクラブ等での充実も欠かせないことが読み取れます。

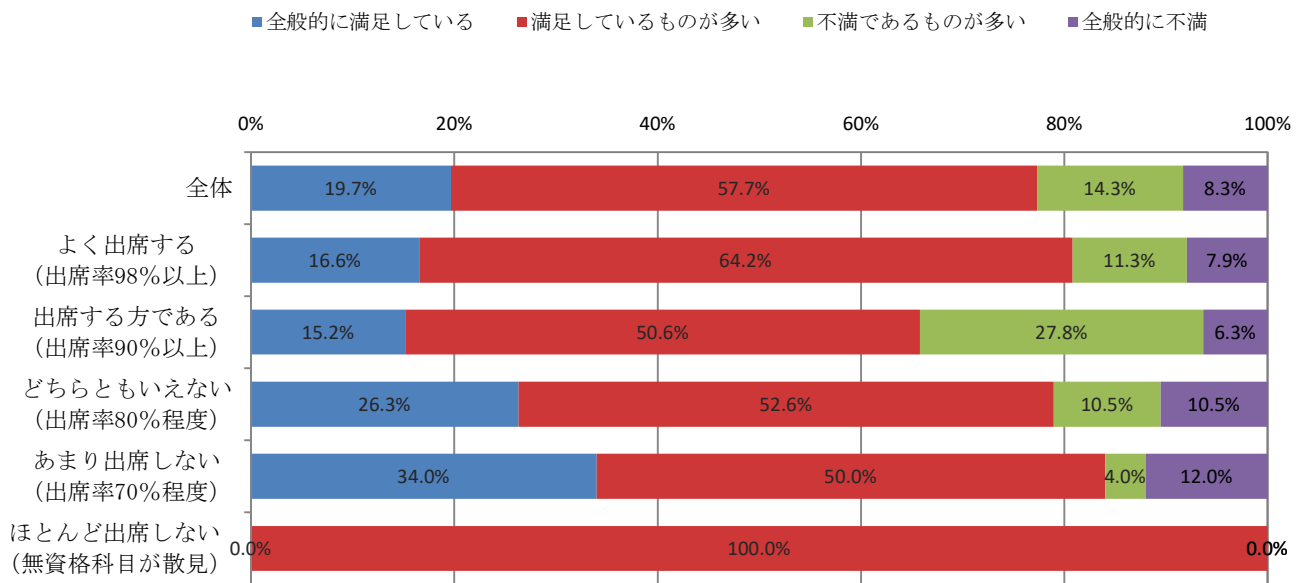


		有効回答者数	総合満足度		
			はい	いいえ	どちらともいえない
全体		300	183	51	66
			61.0%	17.0%	22.0%
クラブ等での充実度別	大変充実している	100	81	8	11
			81.0%	8.0%	11.0%
	充実している	124	82	14	28
			66.1%	11.3%	22.6%
	普通	12	2	6	4
			16.7%	50.0%	33.3%
あまり充実していない	48	13	12	23	
		27.1%	25.0%	47.9%	
全く充実していない	16	5	11	0	
		31.3%	68.8%	0.0%	

25. 講義実習満足度 × 3. 授業出席率別

出席率の低い学生でも8割以上は講義実習に満足している。

出席率が高いことと講義実習満足度が高いことは必ずしも相関がありません。出席率の低い学生でも8割以上は満足している・満足しているものが多いと回答しています。必ずしも講義実習への不満が低出席率につながるわけではないことを読み取れます。



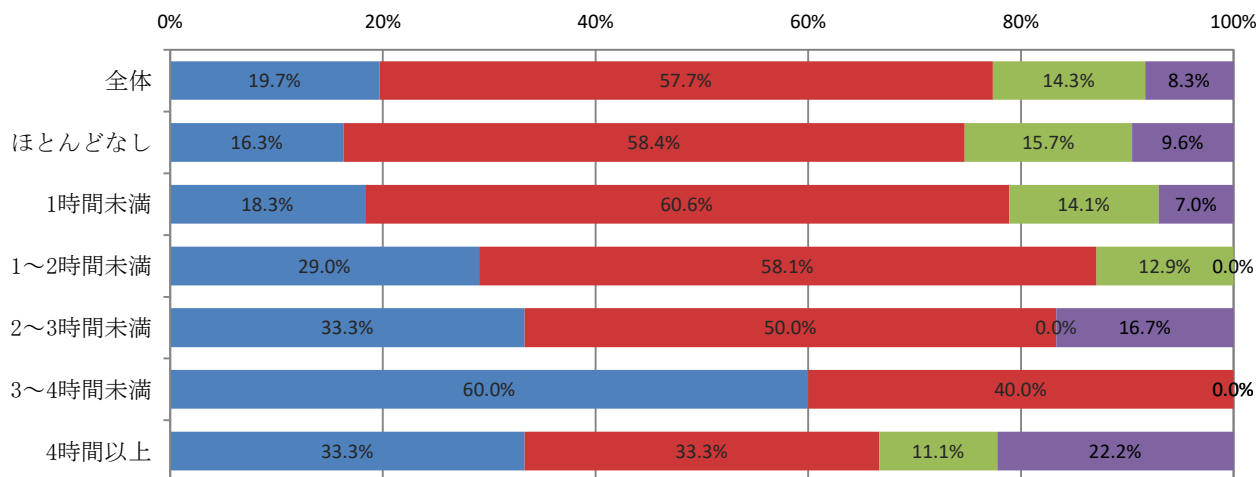
		有効回答者数	講義実習満足度			
			全般的に満足している	満足しているものが多い	不満であるものが多い	全般的に不満
全体		300	59	173	43	25
			19.7%	57.7%	14.3%	8.3%
授業出席率別	よく出席する (出席率98%以上)	151	25	97	17	12
			16.6%	64.2%	11.3%	7.9%
	出席する方である (出席率90%以上)	79	12	40	22	5
			15.2%	50.6%	27.8%	6.3%
	どちらともいえない (出席率80%程度)	19	5	10	2	2
			26.3%	52.6%	10.5%	10.5%
あまり出席しない (出席率70%程度)	50	17	25	2	6	
		34.0%	50.0%	4.0%	12.0%	
ほとんど出席しない (無資格科目が散見)	1					

25. 講義実習満足度 × 20. 予習時間別

予習時間の少ない学生は講義満足度が低い傾向にある。

予習時間の少ない学生は講義満足度が低い傾向が読み取れますが、そもそも予習時間を十分に取っている学生が少なく、有意性ははっきりしません。

■ 全般的に満足している ■ 満足しているものが多い ■ 不満であるものが多い ■ 全般的に不満



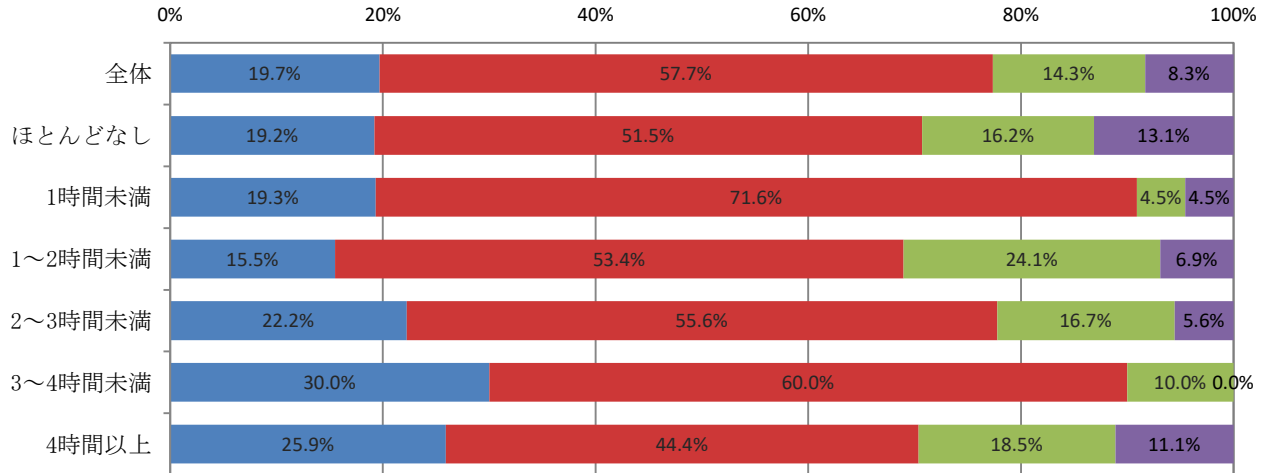
		有効回答者数	講義実習満足度			
			全般的に満足している	満足しているものが多い	不満であるものが多い	全般的に不満
全体		300	59	173	43	25
			19.7%	57.7%	14.3%	8.3%
予習時間別	ほとんどなし	178	29	104	28	17
			16.3%	58.4%	15.7%	9.6%
	1時間未満	71	13	43	10	5
			18.3%	60.6%	14.1%	7.0%
	1～2時間未満	31	9	18	4	0
			29.0%	58.1%	12.9%	0.0%
	2～3時間未満	6	2	3	0	1
			33.3%	50.0%	0.0%	16.7%
3～4時間未満	5	3	2	0	0	
		60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	
4時間以上	9	3	3	1	2	
		33.3%	33.3%	11.1%	22.2%	

25. 講義実習満足度 × 21. 復習時間別

講義実習満足度と復習時間との間に明確な関連性は認められない。

講義実習満足度と復習時間との間にはっきりとした関連性は認められません。

■ 全般的に満足している ■ 満足しているものが多い ■ 不満であるものが多い ■ 全般的に不満



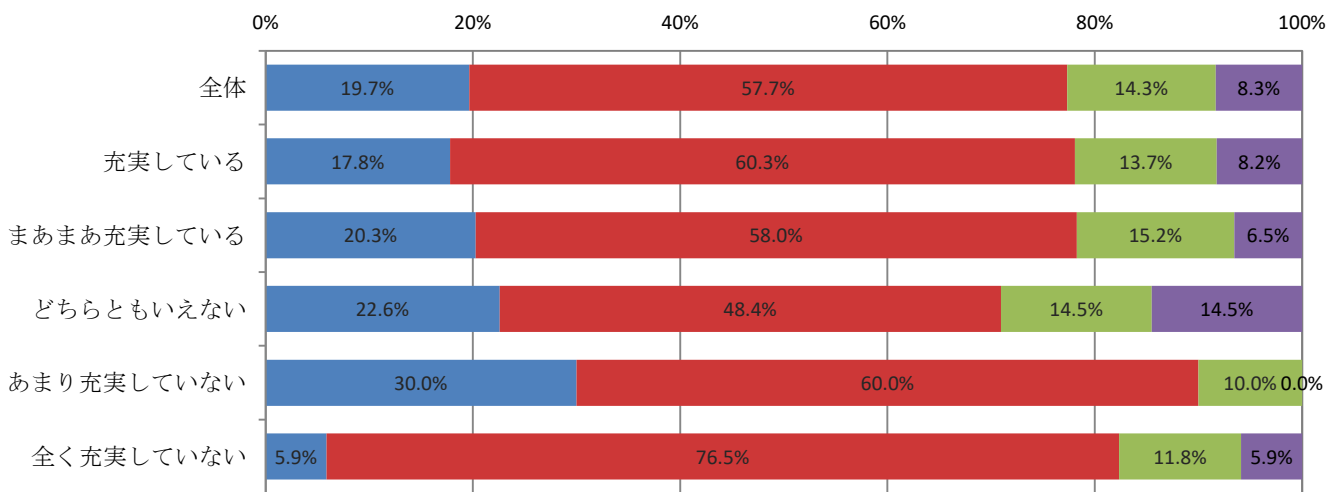
		有効回答者数	講義実習満足度			
			全般的に満足している	満足しているものが多い	不満であるものが多い	全般的に不満
復習時間別	全体	300	59	173	43	25
			19.7%	57.7%	14.3%	8.3%
	ほとんどなし	99	19	51	16	13
			19.2%	51.5%	16.2%	13.1%
	1時間未満	88	17	63	4	4
			19.3%	71.6%	4.5%	4.5%
	1～2時間未満	58	9	31	14	4
			15.5%	53.4%	24.1%	6.9%
	2～3時間未満	18	4	10	3	1
		22.2%	55.6%	16.7%	5.6%	
3～4時間未満	10	3	6	1	0	
		30.0%	60.0%	10.0%	0.0%	
4時間以上	27	7	12	5	3	
		25.9%	44.4%	18.5%	11.1%	

25. 講義実習満足度 × 4. 学修面での充実度別

講義実習満足度と学修面での充実度は不明確。

昨年度は学修面での充実度が高いほど講義実習満足度が高い傾向にあり、かなり高い相関を示しましたが、今年度は明確な相関は認められません。オンライン教材による学修が低学年まで広がったことと関係があるかもしれません。

■ 全般的に満足している ■ 満足しているものが多い ■ 不満であるものが多い ■ 全般的に不満



		有効回答者数	講義実習満足度			
			全般的に満足している	満足しているものが多い	不満であるものが多い	全般的に不満
全体		300	59 19.7%	173 57.7%	43 14.3%	25 8.3%
学修面での充実度別	充実している	73	13 17.8%	44 60.3%	10 13.7%	6 8.2%
	まあまあ充実している	138	28 20.3%	80 58.0%	21 15.2%	9 6.5%
	どちらともいえない	62	14 22.6%	30 48.4%	9 14.5%	9 14.5%
	あまり充実していない	10	3 30.0%	6 60.0%	1 10.0%	0 0.0%
	全く充実していない	17	1 5.9%	13 76.5%	2 11.8%	1 5.9%